

スタンドアロン NVR シリーズ

日本語ユーザー・マニュアル

2.1.x.74/ 3.1.x.74

目次

1.0 はじめに	7
安全にお使いいただくために	9
本製品をお使いになる前に	14
1.1 ハードウェアの仕様	15
DS-1102 シリーズ	15
DS-2105 UHD シリーズ ※廃番	16
DS-2205 UHD シリーズ	17
DS-4120 UHD シリーズ ※廃番	18
DS-4220 UHD シリーズ	19
DS-16364-RM Pro+シリーズ ※受注生産品	20
MN-1105 Pro+シリーズ ※廃番	21
1.2 LED インジケータ	22
DS-1102 シリーズ	22
DS-2105 UHD シリーズ	24
DS-2205 UHD シリーズ	26
DS-4120 UHD シリーズ	28
DS-4220 UHD シリーズ	30
DS-16364-RM Pro+シリーズ ※受注生産品	32
1.3 デュアル・モニター仕様 : HDMI/VGA/DVI-I	34
2.0 NVR の準備	35
2.1 クライアント PC の要求仕様	35
2.2 電源アダプタの抜け防止 (UHD シリーズ及び DS1102 のみ)	36
DS-21(2)05 UHD シリーズ	36
DS-1102 シリーズ	38
DS-41(2)20 UHD シリーズ	40

2.3 NVR への接続	42
2.3.1 クイック・ガイド	42
2.3.2 EZ Search のインストール.....	42
2.3.3 S-NVR デコーダーのインストール	51
2.3.4 ユーザー・マニュアル.....	52
2.3.5 Browse CD	52
2.3.6 ライブ表示の実行	53
2.4 その他.....	55
2.4.1 ファイルの改ざんチェック（NVRCheck）	55
2.4.2 エクスポートした録画データの再生（NVRPlayer）	56
3.0 PC での操作.....	60
3.1 ライブ画面.....	60
3.1.1 表示モードの変更	60
3.1.2 ライブ画面の主な機能.....	61
3.1.3 オプション（映像ウィンドウ上の右クリック）	72
3.1.4 音声双方向機能	74
3.1.5 音声通話機能	74
3.1.6 マルチ・サーバー	75
3.1.7 ダイナミック E-map 機能.....	77
3.1.8 アラーム画像表示機能.....	85
3.1.9 マニュアル一括録画機能.....	86
3.2 録画再生.....	89
3.2.1 録画再生	89
3.2.2 録画再生画面の主な機能.....	92
3.2.3 スマートサーチ機能	97
3.2.4 アドバンスド検索機能.....	100

3.2.5 同一カメラの分割同時検索機能	104
3.2.6 ファイルのエクスポート	105
3.2.7 エクスポートしたファイルの再生	109
3.3 PC による録画フォルダへのアクセス (SMB/FTP)	111
3.3.1 Windows ネットワーク	111
4.0 ローカル・ディスプレイの操作	113
4.1 NVR へのログイン	113
4.1.1 バーチャル・キーボード	113
4.2 ライブ表示	114
4.2.1 ライブ表示モードの選択	114
4.2.2 ライブ表示の主な機能	115
4.2.3 映像設定	120
4.2.4 オプション (映像ウインドウ上の右クリック)	125
4.3 録画再生	128
4.3.1 録画再生	128
4.3.2 録画再生の主な機能	131
4.3.3 音声の再生	133
4.3.4 スナップショット	134
4.3.5 録画映像のエクスポート	135
4.3.6 ブックマーク機能	136
5.0 設定	137
5.1 カメラ設定	137
5.1.1 カメラ設定	137
5.1.2 映像設定	144
5.1.3 カメラの状態	145
5.2 録画とイベント	146

5.2.1 録画モード	146
5.2.2 録画スケジュール	148
5.2.3 スナップショットのスケジュール	149
5.2.4 イベントスマート録画.....	151
5.2.5 録画グループ	152
5.2.6 イベントと動作の管理.....	153
5.2.7 詳細設定	163
5.2.8 イベントと動作の情報.....	164
5.2.9 E メール.....	164
5.3 ディスク管理	166
5.3.1 ディスク管理	166
5.3.2 ストレージ管理	167
5.3.3 ファイル共有サービス.....	168
5.4 バックアップ	170
5.4.1 バックアップスケジュール.....	170
5.4.2 USB バックアップ	172
5.4.3 エッジバックアップ ※開発中の機能です。	174
5.4.4 バックアップサーバー機能.....	175
5.5 ネットワーク設定	176
5.5.1 ネットワークのセットアップ	176
5.5.2 ネットワーク・サービス.....	178
5.5.3 DDNS.....	181
5.5.4 YouTube ライブ.....	182
5.5.5 SNMP サーバー	183
5.6 管理	188
5.6.1 ユーザー管理	188

5.6.2 フェイルオーバー.....	191
5.6.3 定期通知機能.....	193
5.7 外部デバイス.....	194
5.7.1 PoE スイッチ制御.....	194
5.7.2 POS Syetem.....	194
5.7.3 Web リンク機能.....	194
5.7.4 Modbus IO Device.....	195
5.7.5 AXIS IO デバイス.....	195
5.7.6 Access Control.....	196
5.7.7 UPS 管理.....	196
5.7.8 パトライト.....	199
5.7.9 IP Controller.....	200
5.8 システム.....	201
5.8.1 機器情報.....	201
5.8.2 ログ・システム.....	202
5.8.3 設定の保存と読み込み.....	205
5.8.4 ブザー/IO 出力.....	206
5.8.5 システムのアップグレード.....	207
5.8.6 日付と時間.....	210
5.8.7 言語.....	211
5.8.8 再起動とシャットダウン.....	211
こんな時は？.....	215

1.0 はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

- 本製品は本書内で「NVR」または「DIGISTOR」と呼ばれます。
- 本ユーザー・マニュアル(バージョン 2.1.x.74<Pro+用> / 3.1.x.74<UHD用>)は、DIGISTOR ファームウェアの Ver74 にのみ適用されます。
DIGISTOR が古いバージョンのファームウェアで稼働している場合は、応じたバージョンのユーザー・マニュアルをご覧ください。
- 本書は DIGISTOR のすべての機能について解説を行っております。特定の機種によっては、その機能をサポートしていない場合があります。

= 保証の範囲 =

- 弊社は、本製品によってもたらされた（直接・間接を問わない）損害について、あらゆる意味で本製品の価格を超える金銭的保証の責任を負わないものとします。
- 弊社は、誤った使用・用途・不当な修理や改造によって生じた故障や損傷、想定外の環境で使用した場合、いかなる保証の責任も負わないものとします。
- 弊社は、予告なく、本製品、ソフトウェア、文書のアップデートを行う権利を有するものとします。

※すべての特徴、機能等の製品仕様は予告なしに変更することがあります。



注意：

1. 貴重なデータを保護するため、定期的にバックアップを行ってください。
弊社はデータの損失並びにデータの修復に関して、一切の責任を負わないものとします。
2. 返品または修理の際は、ご購入時と同じ梱包材を使って製品を発送してください。梱包の不備に起因する製品の破損について、弊社は責任を負いません。

安全にお使いいただくために

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています（次は図記号の例です）。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。
火災、感電、けが、器物損壊の
原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。



分解しない、改造しない

火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店に依頼
してください。

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や
感電の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店に連
絡してください。

異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、においがする、外部
が劣化するなど、そのまま使用
すると火災・落下によるけが、
器物損壊の原因となります。

- 放置せずにただちに電源を切り、販売店
に連絡してください。



機器の上や周囲に水などの 入った容器を置かない

水などが中に入った場合、火災
や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、
販売店に連絡してください。

電源プラグのほこりなどは 定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、
湿気などで絶縁不良となり、火
災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布
でふいてください。

不安定な場所に置かない

落下および転倒によるけがや事故の原因となります。

雷のときは工事、配線をしない

火災や感電の原因となります

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因となります

ぬれ手禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

●コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

傷つける、加工する、熱器具に近づく、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを乗せる、束ねるなど

アースを確実に取り付ける

アースは確実に行って使用してください。アースを取り付けないと、故障や漏電による感電の原因となります。

●販売店に相談してください（アース工事費は本製品の価格には含まれておりません）。

電源を入れたまま工事、配線をしない

火災や感電の原因となります

電源コードは、必ずプラグ本体を持った抜く

コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。


振動や強い衝撃を与えない

火災や感電の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない

火災や感電の原因となります。

注意

<p>通気孔をふさがない</p>  <p>内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>

機器設置の注意点

●取扱説明書を読む

製品を実際にご利用になる前に、必ずユーザー・マニュアルをお読みください。

●電源

必ず、製品付属の AC アダプターをご利用ください（※該当機種のみ）。

●修理

技術的に不明な点は販売店にお問い合わせください。事故、故障の原因になるので、絶対に分解しないでください。

●警告

漏電、感電の恐れがあるため、雨がかかる場所、湿度の高い場所での運用はおやめください。また本製品の上に何も置かないでください。

== 安全にお使いいただくために ==

1. 本製品は外気温 0-40 度、湿度 20-80%の環境下（※結露なきこと）でご利用いただけます。通気の良い場所に設置してください。
2. 故障の原因になりますので、本製品は定められた定格の電圧下でお使いください。
3. 直射日光が当たる場所、化学薬品の近くに置かないでください。また設置する場所の温度と湿度が適切であることを必ず確認してください。
4. 運用の障害や、過熱の原因になるため、本製品の上にものを置かないでください。
5. 本製品を水の近くに設置しないでください。

6. 落下やそれに伴う破損の危険性があるため、不安定な場所に本製品を設置しないでください。
7. 本製品に対し、正しい電圧が供給されていることを確認してください。電圧の状態がわからない時は、販売店にお問い合わせください。また、安定した電圧を供給するため、UPS の設置を推奨します。
8. 万が一の感電防止のためアース（接地）することをお勧めします。
9. レコーダー内部の時計は日を追うごとにずれが生じます、定期的（1-2 ヶ月）に時刻の補正を行うか、NTP サーバーを設置し同期を行うことを推奨します。
10. 電源コードの上にものを置かないでください。
11. 感電その他の危険があるため、本製品を分解、修理しないでください。故障と思われた時は販売店にご相談ください。
12. システム内のファンには決して触れないでください。重大な負傷を招く恐れがあります。

規制の通知



FCC（連邦通信委員会）通知

この機器はテストの結果、FCC Rules の Part 15 に規定されたクラス B デジタル機器の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地区で使用する際に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。この機器は無線周波エネルギーを生成、使用、および放射することがあるため、指示に従わずに取り付けたり使用したりした場合は、有害な干渉を発生させる恐れがあります。ただし、特定の設置環境で干渉が起きないことを保証するものではありません。この機器がラジオやテレビの受信を妨害していることを、機器のオフ/オン切り替えにより確認できる場合、次のいずれかを行って妨害に対処することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変える、または設置場所を移動する。
- 装置と受信機の距離を離す。
- この機器を、受信機が接続されている回線と別のコンセントに接続する。
- 販売代理店か、ラジオ、テレビに詳しい技術者に相談する。

準拠に関する責任当事者の明示的な承認なしに変更や修正を行うと、ユーザーは装置を操作する権利が無効になることがあります。

シールドインターフェイスケーブルが提供されている場合、FCC 規制に準拠するためにはそれらを使用する必要があります。



クラス B のみ。

本製品をお使いになる前に

本製品を開梱後、すべての同梱品が、すべて揃っているかご確認ください。

また、準備中のトラブルを避けるため、必ずマニュアルの内容をご確認ください。

1.1 ハードウェアの仕様

DS-1102 シリーズ



- ① LED インジケーター：電源
- ② LED インジケーター：システム
- ③ LED インジケーター：ネットワーク
- ④ LED インジケーター：HDD
- ⑤ USB 3.0 ×1
- ⑥ 電源ボタン
- ⑦ リセットボタン
- ⑧ USB 3.0 ×2
- ⑨ HDMI× 1
- ⑩ ギガビット LAN
- ⑪ 電源入力
- ⑫ K-lock

DS-2105 UHD シリーズ ※廃番



- ① 電源 LED インジケータ
- ② システム LED インジケータ
- ③ HDD LED インジケータ
- ④ ネットワーク LED インジケータ
- ⑤ USB バックアップ・ボタン
- ⑥ USB 3.0 x1 (自動バックアップで使用)
- ⑦ HDD1
- ⑧ HDD2
- ⑨ USB 3.0 type c
- ⑩ HDMI 1.4
- ⑪ HDMI 2.0
- ⑫ USB 3.0 ×2
- ⑬ ギガビット LAN
- ⑭ s/PDIF ポート (Reserved)
- ⑮ リセットボタン
- ⑯ 電源コネクタ
- ⑰ K ロック用スロット

DS-2205 UHD シリーズ



- ① 電源 LED インジケーター
- ② システム LED インジケーター
- ③ HDD LED インジケーター
- ④ ネットワーク LED インジケーター
- ⑤ USB バックアップ・ボタン
- ⑥ USB 3.2 x1 (自動バックアップで使用)
- ⑦ HDD1
- ⑧ HDD2
- ⑨ HDMI 2.0
- ⑩ USB 3.0 x2
- ⑪ 2.5 ギガビット LAN
- ⑫ リセットボタン
- ⑬ 電源コネクタ
- ⑭ K ロック用スロット

DS-4120 UHD シリーズ ※廃番



- ① 電源 LED インジケータ
- ② システム LED インジケータ
- ③ HDD LED インジケータ
- ④ ネットワーク LED インジケータ
- ⑤ USB バックアップ・ボタン
- ⑥ USB 3.0 x 1 (自動バックアップで使用)
- ⑦ HDD1
- ⑧ HDD2
- ⑨ HDD3
- ⑩ HDD4
- ⑪ USB 3.0 type c
- ⑫ HDMI 1.4
- ⑬ HDMI 2.0
- ⑭ USB 3.0 x2
- ⑮ ギガビット LAN
- ⑯ s/PDIF ポート (Reserved)
- ⑰ リセットボタン
- ⑱ 電源コネクタ
- ⑲ K ロック用スロット

DS-4220 UHD シリーズ



- ① 電源 LED インジケータ
- ② システム LED インジケータ
- ③ HDD LED インジケータ
- ④ ネットワーク LED インジケータ
- ⑤ USB バックアップ・ボタン
- ⑥ USB 3.0 × 2 (自動バックアップで使用)
- ⑦ HDD1
- ⑧ HDD2
- ⑨ HDD3
- ⑩ HDD4
- ⑪ HDMI 2.0 × 2
- ⑫ USB 3.2 × 2
- ⑬ 2.5 ギガビット LAN
- ⑭ リセットボタン
- ⑮ DC 入力
- ⑯ K-lock 用スロット

DS-16364-RM Pro+シリーズ ※受注生産品



- ① LED インジケーター : LAN / eSATA / HDD1~HDD4
- ② 電源ボタン
- ③ USB バックアップ・ボタン
- ④ USB 3.0 x1 (バックアップで使用)
- ⑤~⑳ HDD 1~16
- ㉑ LAN x 2
- ㉒ USB 2.0 x4
- ㉓ eSATA x2
- ㉔ VGA 出力
- ㉕ HDMI
- ㉖ DI/DO (入力 4 / 出力 2)
※左から右に : Vcc5V / GND / DI-1 / DI-2 / DI-3 / DI-4 / DO-1 / DO-2
- ㉗ リセットボタン
- ㉘ 電源スイッチ
- ㉙ 電源コネクタ

MN-1105 Pro+シリーズ ※廃番



- ① LED インジケーター
- ② 電源スイッチ
- ③ HDD1
- ④ ギガビット LAN×4
- ⑤ USB 2.0 × 4 (自動バックアップで使用)
- ⑥ アンテナポート×4
- ⑦ IO 入力・出力ポート
- ⑧ HDMI ×1
- ⑨ DVI-D ×1 (Reserved)
- ⑩ VGA × 1
- ⑪ DC12V 出力端子
- ⑫ DC9V - 36V 端子
- ⑬ Com ポート×2

1.2 LED インジケーター

DS-1102 シリーズ



参考図

LED	LED の色と状態	意味
電源	消灯	電源オフの状態
	グリーン	電源オンの状態
	オレンジ	スリープモード※UPS による
システム	消灯	システムがオフの状態
	グリーン点滅	システムが起動中または、シャットダウン中
	グリーン	システム稼働状態
	レッド	USB のデバイスエラー
LAN	消灯	LAN 接続が確立していない状態
	グリーン	LAN 接続が確立している状態
	グリーン点滅	LAN 接続が確立しアクセスを行っている状態
HDD	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD へアクセス中の状態

背面 RJ-45 の LED の状態 :

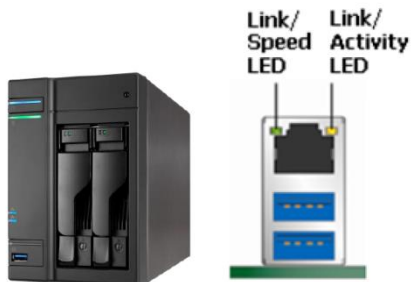
LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Speed (LED 上部)	消灯	10Mbps 接続か未接続の状態
		オレンジ	100Mbps 接続
		グリーン	1000Mbps 接続
	Link/Activity (LED 下部)	消灯	LAN が接続していない状態
		グリーンの消灯	LAN にアクセスしている状態

注意 :

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

DS-2105 UHD シリーズ



参考図

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
電源	消灯	電源オフの状態
	ブルー	電源オンの状態
	オレンジ	UPS から電源供給されている状態
システム	グリーン点滅	システム起動中またはシャットダウン中
	グリーン	システム稼働状態
	レッド	USB デバイスのエラー状態
LAN	消灯	LAN 接続が確立していない状態
	ブルー点滅	LAN 接続が確立している状態
USB	グリーン	USB 機器がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
HDD1 HDD2	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD にアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障している状態

背面 RJ-45 の LED の状態 :

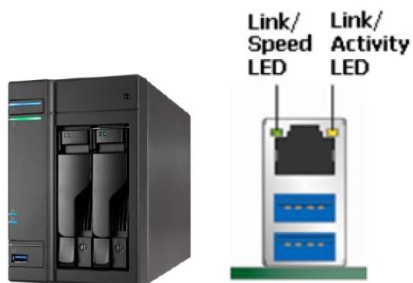
LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続されていない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10Mbps 接続か未接続の状態
		レッド	100Mbps 接続の状態
		オレンジ	1000Mbps 接続の状態

注意 :

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

DS-2205 UHD シリーズ



参考図

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
電源	消灯	電源オフの状態
	ブルー	電源オンの状態
	オレンジ	UPS から電源供給されている状態
システム	グリーン点滅	システム起動中またはシャットダウン中
	グリーン	システム稼働状態
	レッド	USB デバイスのエラー状態
LAN	消灯	LAN 接続が確立していない状態
	ブルー点滅	LAN 接続が確立している状態
USB	グリーン	USB 機器がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
HDD1 HDD2	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD にアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障している状態

背面 RJ-45 の LED の状態 :

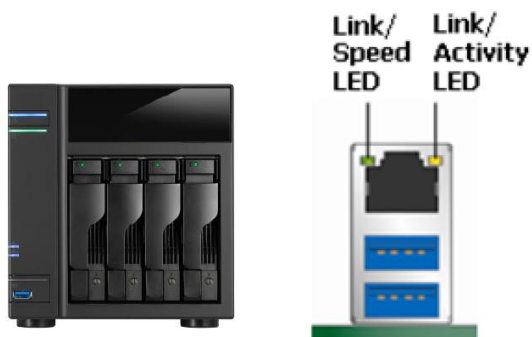
LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続されていない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10Mbps 接続か未接続の状態
		レッド	100Mbps 接続の状態
		オレンジ	1000Mbps 接続の状態

注意 :

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

DS-4120 UHD シリーズ



参考図

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
電源	消灯	電源オフの状態
	ブルー	電源オンの状態
	オレンジ	UPS から電源供給されている状態
システム	グリーン点滅	システム起動中またはシャットダウン中
	グリーン	システム稼働状態
	レッド	USB デバイスのエラー状態
LAN	消灯	LAN 接続が確立していない状態
	ブルー点滅	LAN 接続が確立している状態
USB	グリーン	USB 機器がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
HDD1 HDD2	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD にアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障し取り外しが必要な状態

背面 RJ-45 の LED の状態 :

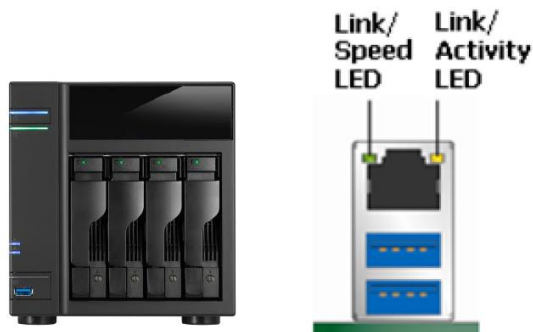
LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続されていない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10Mbps 接続か未接続の状態
		レッド	100Mbps 接続の状態
		オレンジ	1000Mbps 接続の状態

注意 :

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

DS-4220 UHD シリーズ



参考図

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
電源	消灯	電源オフの状態
	ブルー	電源オンの状態
	オレンジ	UPS から電源供給されている状態
システム	グリーン点滅	システム起動中またはシャットダウン中
	グリーン	システム稼働状態
	レッド	USB デバイスのエラー状態
LAN	消灯	LAN 接続が確立していない状態
	ブルー点滅	LAN 接続が確立している状態
USB	グリーン	USB 機器がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
HDD1 HDD2	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD にアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障し取り外しが必要な状態

背面 RJ-45 の LED の状態 :

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続されていない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10Mbps 接続か未接続の状態
		レッド	100Mbps 接続の状態
		オレンジ	1000Mbps 接続の状態

注意 :

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

DS-16364-RM Pro+シリーズ ※受注生産品



※参考図

正面のLEDの状態：

LED	LEDの色と状態	意味
LAN	消灯	LAN が接続していない状態
	オレンジ	LAN 接続が確立している状態
	オレンジ点滅	LAN にアクセスしている状態
eSATA	消灯	データの転送がない状態
	オレンジ点滅	eSATA 機器にアクセスしている状態
HDD1 ～ HDD16	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD にアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障して取り外しが必要な状態
電源	消灯	電源オフの状態
	グリーン	電源オンの状態
バックアップ	消灯	USB 機器がない状態
	ブルー	USB 機器がアクセス可能な状態
	ブルー点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
	レッド	バックアップでエラーが発生した状態

背面 RJ-45 の LED の状態 :

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続していない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10Mbps / 100Mbps 接続か 未接続の状態
		グリーン	100Mbps 接続の場合
		オレンジ	1000Mbps 接続の状態

注意 :

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

1.3 デュアル・モニター仕様 : HDMI/VGA/DVI-I

DIGISTOR シリーズ（※DS-1102 を除く）は、映像出力用に 2 ポートを持ちます*。その両方にローカル・ディスプレイを接続し、同時に映像を出力可能です（※複製モード、拡張モード、個別モードと画像表示モードの選択が可能）。

***映像出力用の端子は、機種によって異なります。**

DS-21(2)05 UHD・DS-41(2)20 UHD …… HDMI/HDMI

DS-16364-RM Pro+ …… HDMI/VGA

※DS-1102 は HDMI が 1 ポートのため、デュアル・モニター機能非対応です。

※複製モード／拡張モード／個別モード／画像表示モードは、ディスプレイ 2 台ともフル HD である必要があります。

***デュアル・モニター機能を使用する際は、ディスプレイの解像度を合わせてください。**

***4K モニター（解像度 3840×2160）使用時、デュアル・モニター機能は使用できません。**

複製モード：2 つのモニターに同じ映像を出力します。

拡張モード：2 つのモニターに異なる映像を出力します。 ※1

個別モード：2 つのモニターに異なる映像を出力します。 ※2

画像表示モード：モニター 2 にアップロードした画像データを表示することができます。 ※3

※1 同じカメラを 2 つのモニターに表示することはできません。

※2 同じカメラを 2 つのモニターに表示することができます。

※3 画像データアップロード後、ライブ画面の画像表示ボタンより画像を選択してください。

注意：デュアル・モニター機能使用時に著しく負荷率が上昇した場合は、カメラの表示台数を減少させ調整を行ってください。

2.0 NVR の準備

2.1 クライアント PC の要求仕様

DIGISTOR に接続して使用する PC に最低限必要な仕様は以下の通りです。

- オペレーティング・システム

Microsoft Windows 10/11 Professional

- ブラウザ

Microsoft® Edge

- CPU

Intel® Core i7 CPU 2.8 GHz 以上

- ネットワーク

1Gbps 程度

注意：カメラと NVR はギガビット・スイッチに接続してください。

- メモリ

8GB 程度

- グラフィックカード

NVIDIA® GeForce® GTX1660 Ti 相当

- ・ディスプレイの DPI 設定の初期値は 96DPI です。
- ・DPI 値を変更する時はデスクトップを右クリックし、
設定タブ > 詳細 > 一般 より変更してください。

- Adobe Reader

マニュアルなどを閲覧するのに必要です。

オーディオ機能を使用するためには PC にサウンド・カードが必要です。

2.2 電源アダプタの抜け防止 (UHD シリーズ及び DS1102 のみ)

付属の電源アダプタ抜け防止を使用することで、電源コードを固定できます。

DS-21(2)05 UHD シリーズ

① 付属品箱からコードブラケットを取り出してください (右写真)。



② 写真を参考にコードブラケットを電源コードに取り付けてください。



③ ファンのネジを反時計まわりに緩めて取り外します。



- ④取り外した箇所にはブラケットを合わせ、ブラケット用のネジで固定してください。



DS-1102 シリーズ

- ①付属品箱からコードブラケットを取り出してください（右写真）。



- ②写真を参考にコードブラケットを電源コードに取り付けてください。



- ③ファンのネジを反時計まわりに緩めて取り外します。



- ④取り外した箇所にブラケットを合わせ、ブラケット用のネジで固定してください。



DS-41(2)20 UHD シリーズ

①付属品箱からコードブラケットを取り出してください（右写真）。



②写真を参考にコードブラケットを電源コードに取り付けてください。



③ファンのネジを反時計まわりに緩めて取り外します。



- ④取り外した箇所にはブラケットを合わせ、ブラケット用のネジで固定してください。



2.3 NVR への接続

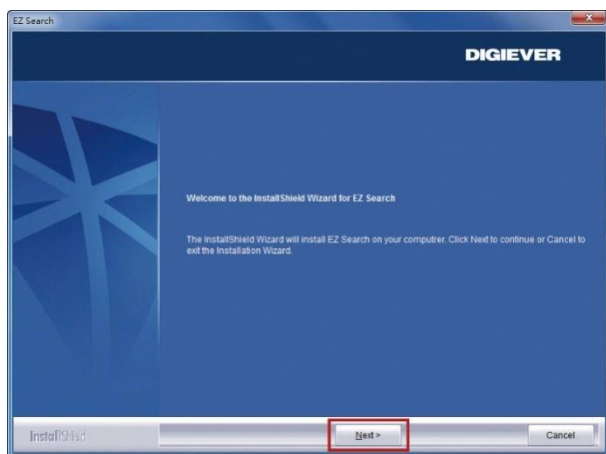
まず、クイック・ガイドやマニュアルを参照し、ユーティリティをインストールするために、PC に CD-ROM を入れます。

2.3.1 クイック・ガイド

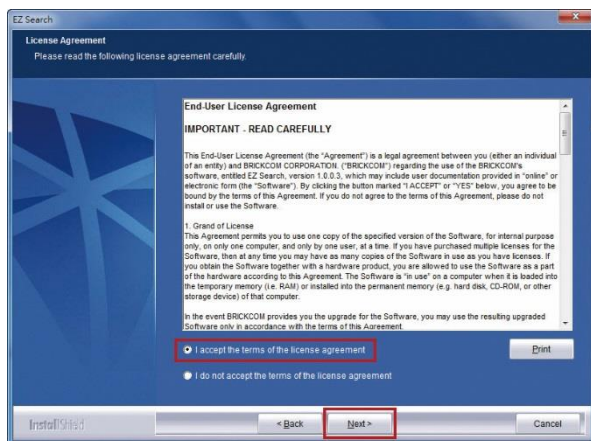
「Quick Guide」をクリックし、クイック・ガイドをご覧ください。

2.3.2 EZ Search のインストール

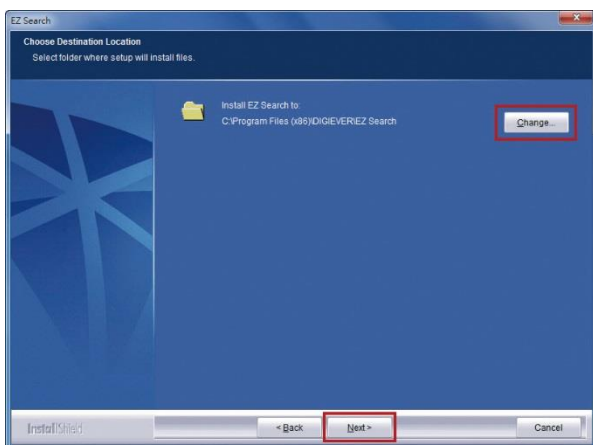
「Install EZ Search」をクリックして NVR 検索ユーティリティを PC にインストールします。



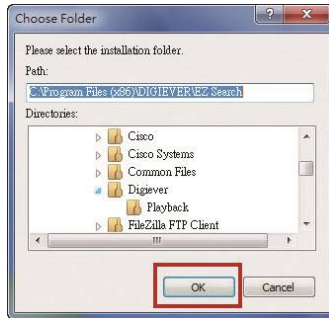
インストールウィザードが起動するので、
「Next」をクリックしてインストールを続行します。



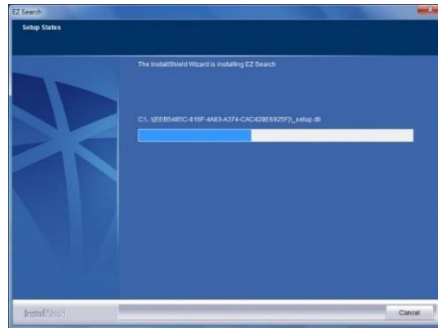
内容を確認の上、「Next」をクリックしてください。



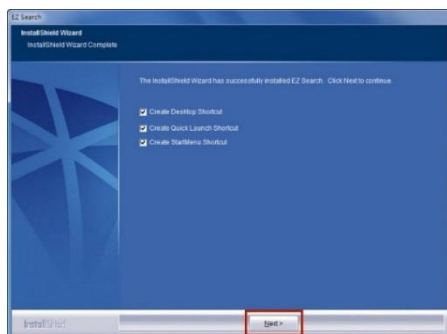
EZ Search は C:\Program Files (x86) \DIGIEVER\EZ Search にインストールされます。インストール先を変更したい時は「Change」をクリックして任意のフォルダにインストールすることも可能です。



インストール先のフォルダを指定したら、「OK」をクリックしてインストール作業を続行します。

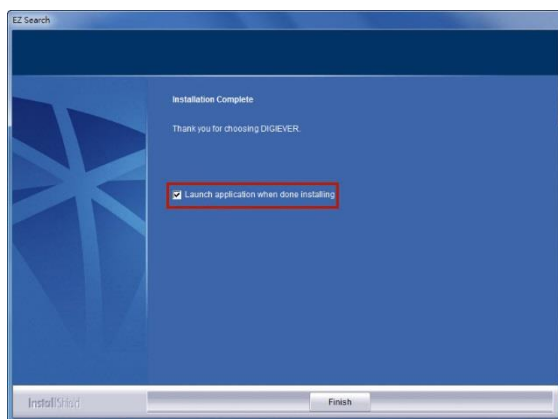


EZ Search のインストール中は、上記のようなウィンドウが表示されます。インストールが完了するまでお待ちください。

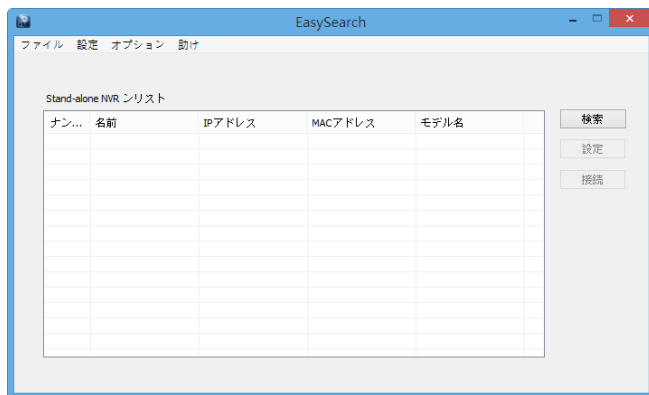


インストールが完了しました。

「Create Desktop Shortcut」「Create Quick Launch Shortcut」「Create Start Menu Shortcut」を選択して「Next」をクリックします。



「Launch application when done installing」にチェックを入れ、「Finish」をクリックすると EZ Search が起動します。

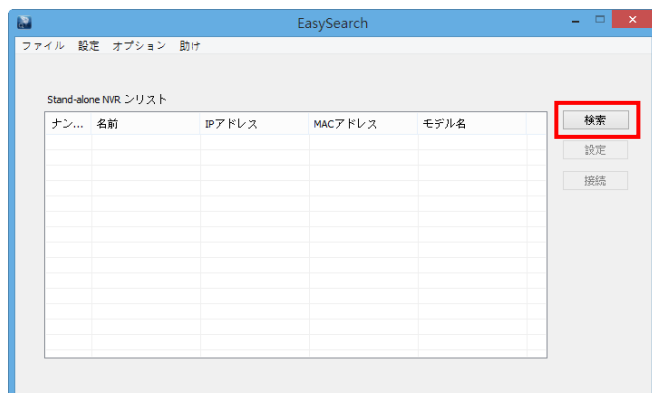


EZ Search は同一サブネット上の DIGISTOR を検出し、名称、IP アドレス、Mac アドレス、機種名を表示します。「検索」をクリックすると検出を開始します。

EZ Search の使い方

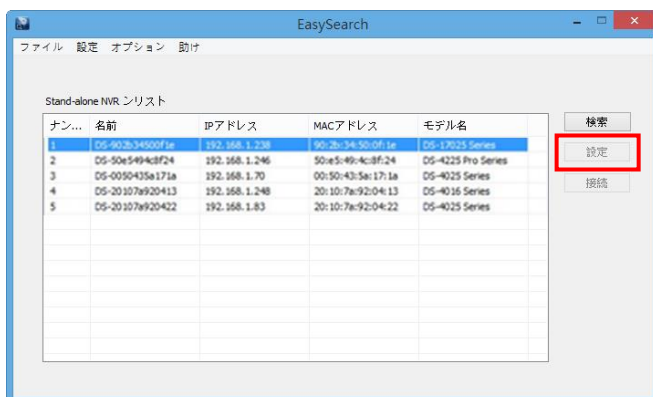
EZ Search 上の 3 つのツールバー

1. 検索



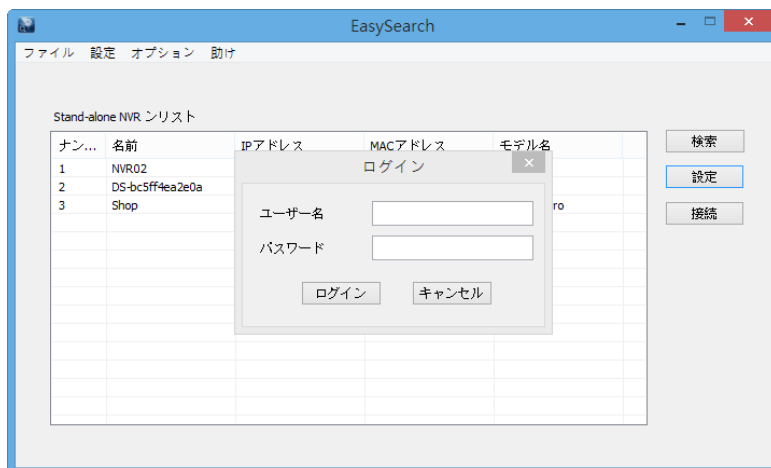
「検索」ボタンを押すと、検索を行います。

2. 設定



「設定」ボタンをクリックすると、次ページのログイン画面が表示され、ネットワーク設定を変更することができます。

注意: 設定を変更するためには NVR の管理者 ID とパスワードが必要です。



NVR の設定を変更する際、上記のようなダイアログが表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力します。入力後、「ログイン」をクリックします。

※初期設定：ユーザー名、パスワード共に「admin」

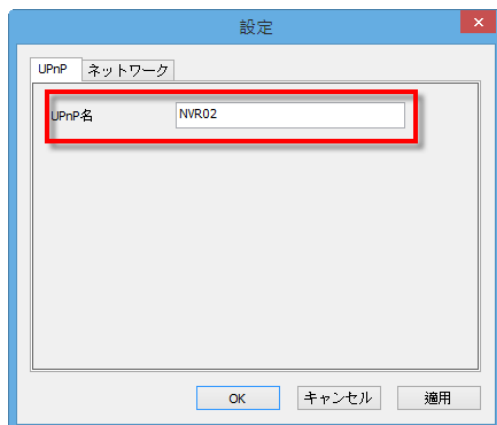
3.接続

NVR を選択し、「接続」ボタンを押すと、NVR に接続します。

右上の「×」をクリックすると、EZ Search は終了します。

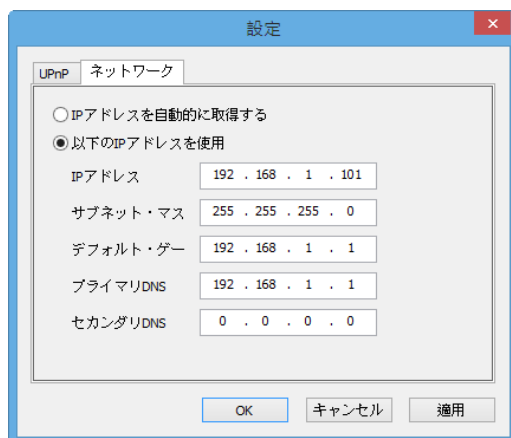
1) UPnP

UPnP (Universal Plug and Play) で表示される名称を変更できます。
変更後、「適用」をクリックして設定を適用してください。



2) ネットワーク

ネットワーク設定では、DHCP による自動取得と固定 IP の設定による手動設定が選可能です。



The screenshot shows the 'EasySearch' application window. The title bar contains the text 'EasySearch' and standard Windows window controls. The menu bar includes 'ファイル' (File), '設定' (Settings), 'オプション' (Options), and '助け' (Help). The 'オプション' (Options) menu item is highlighted with a red rectangle. Below the menu bar, the text 'Stand-alone NVR リスト' is displayed. A large table with five columns is shown below this text. The column headers are 'ナン...', '名前', 'IPアドレス', 'MACアドレス', and 'モデル名'. To the right of the table, there are three vertically stacked buttons labeled '検索' (Search), '設定' (Settings), and '接続' (Connect).

EasySearch

ファイル 設定 オプション 助け

語

Stand-alone NVR 名リスト

ナン...	名前	IPアドレス
1	Shop	192.168.1.1
2	DS-bc5ff4ea2e0a	192.168.1.2
3	NVR02	192.168.1.3

English
繁體中文
日本語
Deutsch
Nederlands
Português
Français
Italiano
Polski
Español
简体中文
ภาษาไทย

モデル名

DS-4216 Pro
VD-0016
MX-1016

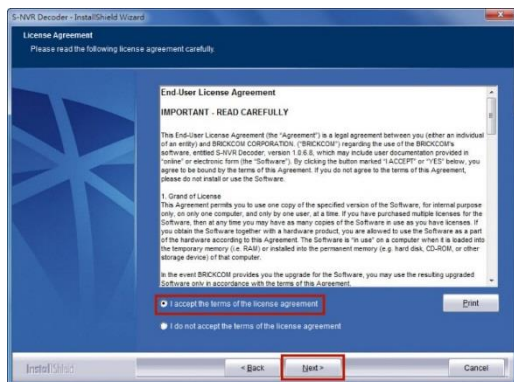
検索
設定
接続

2.3.3 S-NVR デコーダーのインストール

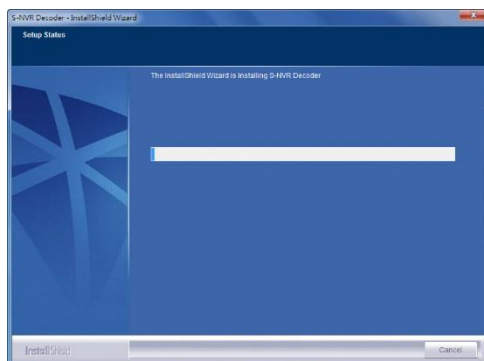
「Install S-NVR Decoder」をクリックし、以下の手順でインストールを行います。



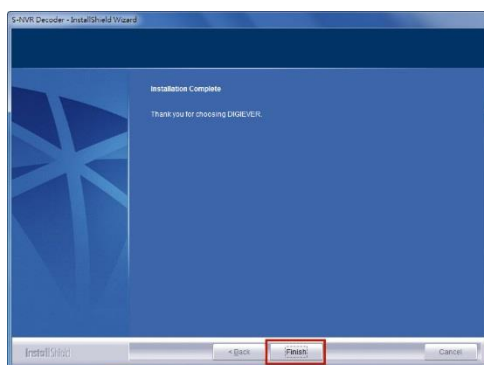
インストールウィザードが起動するので、「Next」をクリックしてインストールを開始します。



内容を確認した上で、「Next」をクリックしてください。



S-NVR デコーダーのインストールが開始されます。



インストールが完了したら、「Finish」をクリックしてウィンドウを閉じます。
※H.265 には対応しておりません。

2.3.4 ユーザー・マニュアル

「User Manual」をクリックしてマニュアルを参照できます。

2.3.5 Browse CD

Autorun.exe file があるフォルダを開く時は「Browse CD」をクリックしてください。

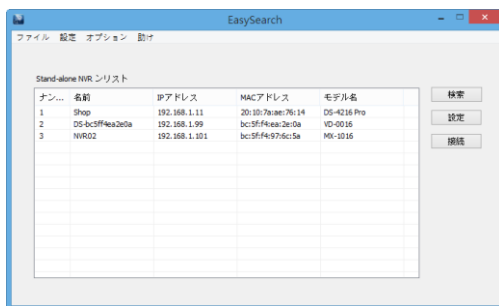
2.3.6 ライブ表示の実行

1. NVR への接続

EZ Search と S-NVR デコーダーのインストールが終わったら、ブラウザを用いて NVR に接続できます。

1) EZ Search を使って接続する

リストから NVR を選んで「接続」をクリックする、またはリストをダブルクリックすることでブラウザが起動し、NVR へ接続します。



2) ブラウザを立ち上げてから接続する

NVR の IP アドレスを入力して接続してください。

2. ユーザー名とパスワードの入力

ユーザー名/パスワードを入力し、ログインを行ってください。

3. 表示言語の選択

ドロップダウンリストで言語を指定してください。

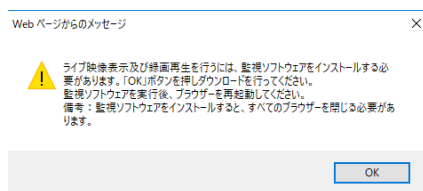


4. NVR-Client の実行

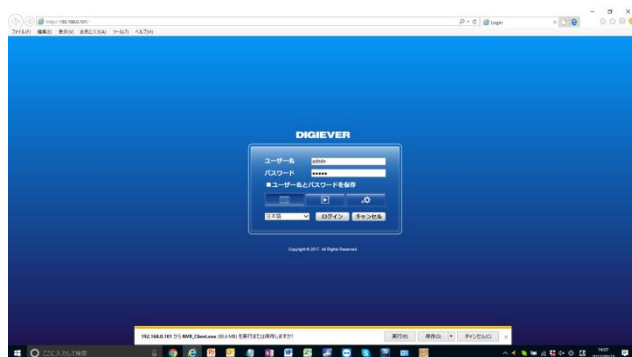
初めて NVR に接続した際、NVR-Client をインストールする必要があります。

注意： NVR の IP アドレスを、ブラウザの「信頼済みサイト」に登録してください。

1) 下記のメッセージが表示されますので「OK」を押してください。



2) 「実行」をクリックし、ソフトウェアのダウンロードを行ってください。



3) 「実行」をクリックし、ソフトウェアをインストールしてください。

NVR-Client をインストールすると PC を使用してモニタリングが行えます（※ネットワークの状況によっては、時間がかかることがあります）。

2.4 その他

2.4.1 ファイルの改ざんチェック (NVRCheck)

録画ファイル及び取得したスナップショットには自動的にウォーターマークがつき、NVRCheck を使用することで、不正なファイルでないかのチェックができます。

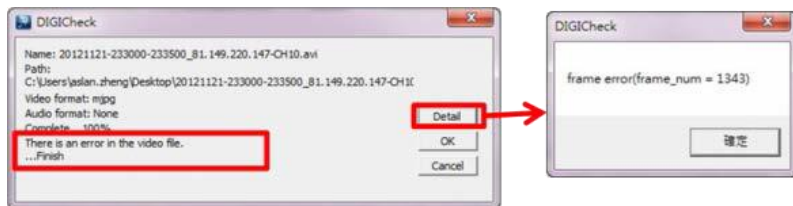
- ①ダブルクリックしてプログラムを起動してください。
- ②確認を行いたいファイルを選択し、OK をクリックしてください。



改ざんされていないファイルの場合、「No error occur.」と表示されます。



改ざんされたファイルの場合は、「There is an error in the video file.」と表示されます。



より詳しい情報が必要な場合は「Detail」ボタンをクリックし、内容を明記の上、販売店までお問合せください。

2.4.2 エクスポートした録画データの再生

(NVRPlayer)

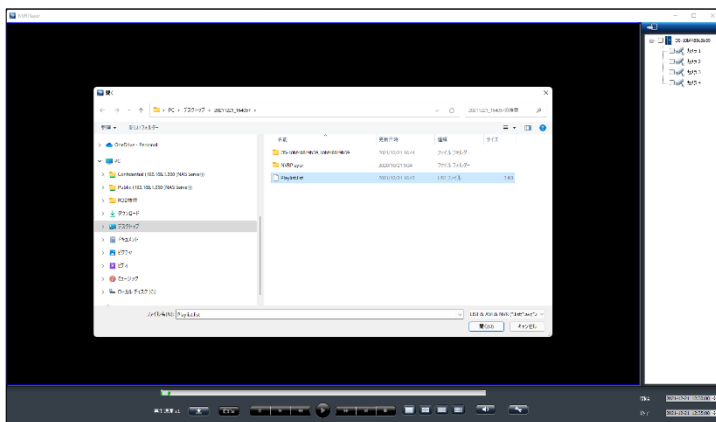
NVRPlayer はエクスポートした録画データの再生を行うことができるプログラムです。

(※Windows へのインストールは必要ありません)

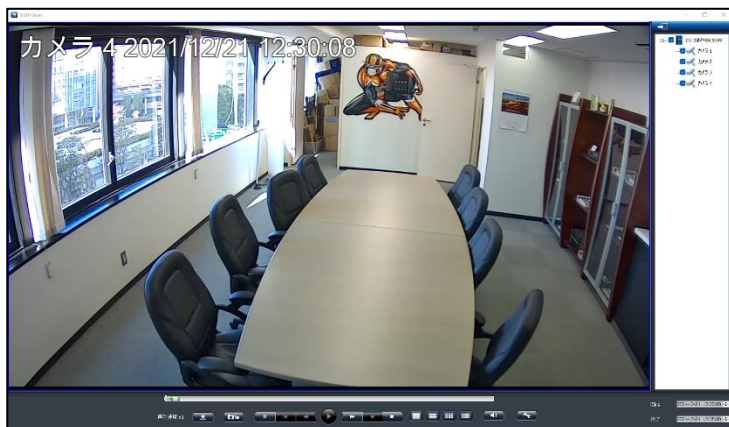


実行ファイルを選択し、右クリック→管理者として起動を行ってください。

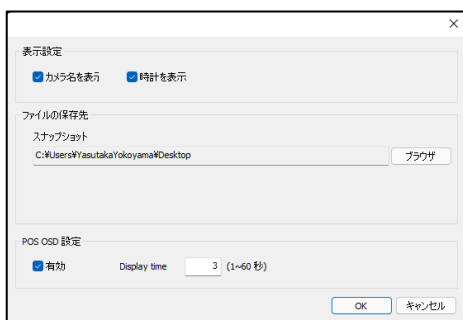
「開く」ボタンをクリックし、取得したエクスポートフォルダ内の **Playlist.list** ファイルを選択し再生を行ってください。



また、再生時には左上にタイムスタンプが表示されます。

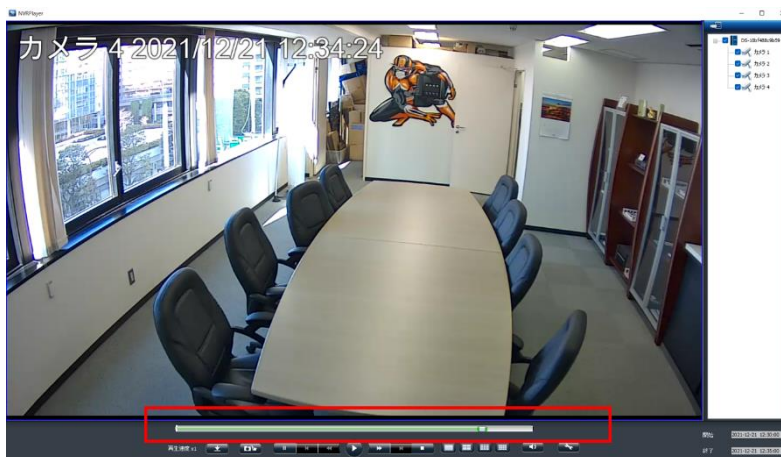


表示設定をクリックすることで、カメラ名、時計の表示／非表示、スナップショットの保存先を変更可能です。

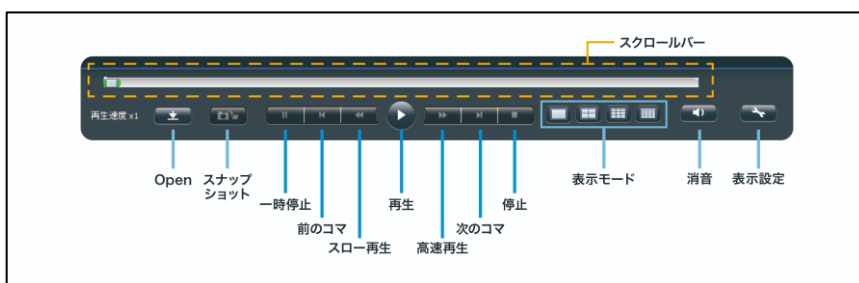


さらに、NVRPlayer の下部にあるタイムバーを動かすことで、選択したファイル内の時間検索を行えます。

※対応している魚眼カメラの展開も可能です（※右クリックでメニューが表示されますので、表示条件を指定して再生を行ってください）。



アイコンの説明



●コマ送り機能

「一時停止」ボタンを押し「次のコマ」or「前のコマ」をクリックすることで、コマ送り／戻しを行います。

●スナップショット

「スナップショット」をクリックすることで PC にスナップショットを保存します。

Ver.74 より、複数の録画データファイルを選択し、ドラッグ&ドロップを行うことで、それらの複数ファイルの読み込み、再生できるようになりました。






3.0 PC での操作

3.1 ライブ画面

3.1.1 表示モードの変更



右上 5 つのボタンで表示モードを切り替えます。

モード	内 容
	ウェブリンク： ウェブリンクで設定したリンクにアクセスできます。
	ライブ表示： ライブ映像を表示します。
	録画再生： 録画した映像を再生するページを表示します。
	設定： カメラ、録画、イベント、管理、ネットワークなどを設定するページを表示します。
	ログアウト： NVR からログアウトする時にクリックします。

3.1.2 ライブ画面の主な機能



1. カメラの状態

アイコン	内 容
	カメラ名： 映像ウインドウ左上にカメラの名称が表示されます。 「設定 > カメラ > カメラ設定」で名称を変更できます。
	オーディオ： カメラがオーディオ機能をサポートしていると、アイコンが青色で表示されます。サポートしていない時は灰色で表示されます。
	イベント： イベントが発生するとアイコンで通知します。
	録画状態： 録画状態を示します。
	青色の枠： ウインドウを選択するとその枠が青色で強調表示されます。

2.NVR の情報

1) ファームウェア・バージョン

NVR のファームウェア・バージョンを表示します。

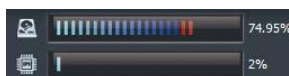


2) ディスク・システム負荷率

ディスクとのシステム負荷率を確認できます。



※使用量が 70%以下なら青色で、70%以上になると赤色で表示されます。



※解像度や FPS、画質の設定により、システム負荷率が高くなります。

安定処理の目安は、常時 80%以下です。

※HDD の上書き中は負荷率が 90%以上になることがありますが、全体のパフォーマンスに影響はありません。

3.基本機能

アイコン	内 容
	<p>スナップショット： 選択したカメラの静止画像を撮影します。ボタンをクリックするとウインドウがポップアップします。</p> <p>1) クリップボード 画像をクリップボードにコピーします。コピーしたデータはペイント・ツールなどにペーストできます。</p> <p>2) 保存 画像を設定したフォルダに保存します。</p> <p>3) キャンセル スナップショットした画像を破棄します。</p>
	<p>デジタル・ズームイン / アウト： 選択したカメラのデジタル・ズームを操作します。</p>
	<p>マニュアル録画開始： マニュアル録画を開始します。</p>
	<p>マニュアル録画停止： マニュアル録画を停止します。</p>
	<p>表示停止： 選択したカメラの表示を停止します。</p>
	<p>全てを表示停止： 全てのカメラの表示を停止します。</p>
	<p>全てを表示： 全てのカメラのライブ映像を表示します。</p>
	<p>選択されていない状態：ON 選択されて青くなっている状態：OFF</p>
	<p>日付と時間： 現在の日付と時間を表示します。</p>

4.ライブ表示モード

アイコンをクリックすると、表示レイアウトを変更できます。

アイコン	内 容
	全画面表示
	シングル表示
	4 分割表示
	9 分割表示
	12 分割表示
	16 分割表示
	20 分割表示
	1×2/2×1/3×1/3×2/5×1/5×5/6×5/6×6/7×6/ 7×7/8×4/ 8 ×7/8×8 分割表示
	5+1 分割表示
	8 分割画面

	12+1 分割画面
	8+2 分割画面
	シーケンシャル・モード。特定ページを表示したい時はドロップダウン・メニューから選択してください。ページ切り換え間隔は「オプション > 一般設定」で変更できます。

5.PTZ 制御

PTZ 機能を持つカメラは、ライブ画面でその操作を行います。

下記が、そのアイコンの内容となります（※対応カメラのみ）。

アイコン	内 容
	PTZ 操作： 選択したカメラのパン、チルト、ズーム操作を行います。クリックした矢印の方向にカメラが向きを変えます。中央の「家（ホーム）」ボタンをクリックすると、ホーム・ポジションに戻ります。
	プリセット・ポジション： カメラにプリセット・ポジションを登録していたら、その位置情報に基づいてカメラの向きを変えます。
	光学ズームイン / アウト： 選択したカメラのズームイン / アウトを制御します。
	フォーカスの手動調整 カメラが PTZ 機能をサポートしている場合、マニュアルでフォーカスの調整が可能です。
	オートフォーカス： フォーカスを自動調整します。 ※オートフォーカス対応カメラ使用時に使用します。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： プリセット・ポジションを元に自動巡回設定を行います。巡回回数及びプリセット・ポジション間の移動間隔を設定してください。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： 巡回を開始します。

6. イベント・ログ

カメラの接続不良や、モーション検知機能等のイベントのログを表示します。検知するとアイコンが点滅し、アイコンをクリックするとログ・ウィンドウが表示されます。



警告音を有効にすると、イベント動作時に警告音が鳴動します。

(オプション > 一般設定の“警告音の有効／無効”からの設定変更も可能です)

ログのエクスポートを選択すると、NVR のログデータが一括で取得できます。

7. オプション

1) 一般設定



●ライブ映像表示の自動整列

この機能を有効にすると、表示しないカメラを詰めて（＝間を詰めて）表示します。

●アスペクト比及び警告線表示の設定を全カメラに適用する

この機能をチェックすると、すべてのカメラの表示サイズ（※アスペクト比を維持するか？ 枠一杯に最大化するか？）を一括で変更できるようになります。

●リレーサーバー設定時、全カメラに設定を適用する

●イベント発生時にウインドウを強調表示


設定によりイベントを検知するとウインドウが強調表示されます。
当該映像ウインドウをクリックすると強調表示を停止します。

●警告音

この機能を有効にすると、カメラのイベント時に警告音が鳴ります。

●イベント発生時にポップアップ

この機能を有効にすると、イベント発生時に映像のポップアップを行うことができます。1 分割もしくは 4 分割表示でポップアップすることが可能です。※Ver70-3.1～

確認後、 ボタンを押してポップアップ画面を閉じてください。

●” “秒後にウインドウを閉じる（5-180 秒）

自動的にポップアップを閉じる場合は、上記メニュー内の” “にて秒数の指定を行ってください（※デフォルトは 10 秒です）。

●登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします

“登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします”を有効にすると、NVR のすべてのカメラにおいて、イベント発生時にポップアップを行います（※表示されていないカメラも含む）。

使用しない場合は、現在表示されているカメラに対してポップアップを行います。

注意：ポップアップには最新のイベントの画像が表示されます。

●DG デコードを有効にする（GPU ハードウェアアクセラレーションデコード）

チェックが入った状態で DG デコードが有効になります。

※DG デコード非対応の PC の場合、項目はグレイアウトします。

●自動ミュート機能（指定時間マウス操作がない場合音声はミュートになります）：30 秒から 300 秒

●Snapshot Setting

スナップショットで使用する拡張子を[.bmp]と[.jpg]で選択できます。

●マニュアル録画ボタンの設定

- 選択したカメラをマニュアル録画する
- すべてのカメラをマニュアル録画する

録画モード設定の「マニュアル録画」を有効にすると、モニタリング画面での手動録画機能が使用できます。

この画面では、マニュアル録画ボタンを押下した際の動作の設定が可能です。

●ストリームを自動判別：

PC でのモニタリングで、X 分割以下はストリーム 1 を取得する設定が可能です。※自動判別使用時 デフォルトは 12

2) マルチ・サーバー

マルチ・サーバー使用時のレイアウト情報を本機に保存します。



3) シーケンシャル設定

ページの切り替え間隔（秒単位）を設定します。（4-6000 秒）



4) ジョイスティック

PC に USB 接続されたジョイスティックで PTZ カメラを制御できます。
ジョイスティックの機種を選択して「適用」をクリックしてください。
※ジョイスティックの項目にて、該当するジョイスティックのモデル名
を選択し、「適用」を押してください。



適用後、ジョイスティックによりカメラを操作できます。

3.1.3 オプション（映像ウインドウ上の右クリック）

アスペクト比	➤
ストリーミングの変更	➤
カメラの設定ページ	
NVRの設定ページ	
再生画面を開く	
全画面表示	
✓ カメラステータスバー	
ROI	➤
魚眼の展開	➤
インスタント再生	

1.アスペクト比：原寸サイズ、または最大サイズ（ウインドウに合わせる）を切り替え表示できます。

2.ストリーミングの変更：表示しているストリーミングの切り換えを行います。

※マルチ・ストリームに対応するカメラであれば、二つの映像ストリームを取得できます。通常、ストリーム 1 は高画質（録画用）、ストリーム 2 は低画質（小サイズのウインドウ表示用）に使用します。



「ストリームを自動判別」が有効の場合、選択中のレイアウトに合わせて最適なストリームが表示されます。

また、ストリームをサーバーから配信の場合は、常に NVR 経由でストリームを配信します。

3.カメラの設定ページ：カメラの設定ページへ移動します。

4.NVR の設定ページ：新規ページで NVR のカメラ設定ページを表示します。

5.再生画面を開く：新規ページで録画再生ページを表示します。

6.全画面表示：全画面表示を終了します。

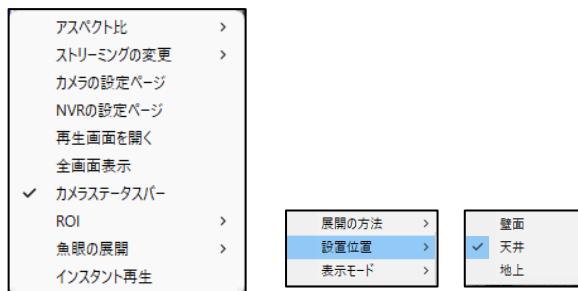
7.カメラステータスバー：カメラ情報などのステータスを表示／非表示の切り替えができます。

8.ROI：ROI を使用します。

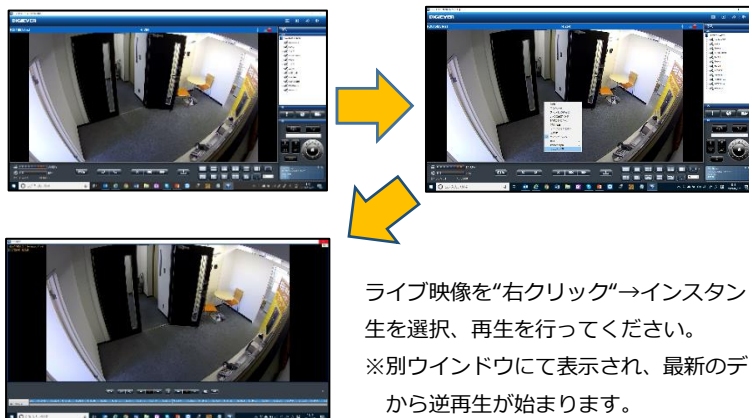
9.魚眼の展開：全方位カメラ、または ImmerVision レンズを取り付けたカメラの映像を補整する際に使用できます。

(1) 全方位カメラの展開

カメラを選択後、右クリック→下記画面内容にて全方位カメラの設定位置、表示方法の変更を行ってください。



10.インスタント再生：選択したカメラの即時再生を行います。



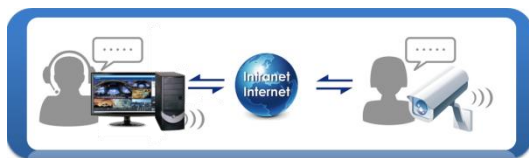
ライブ映像を“右クリック”→インスタント再生を選択、再生を行ってください。
※別ウインドウにて表示され、最新のデータから逆再生が始まります。

11. カメラ IO 制御機能（※対応カメラのみ）：モニタリング画面にて、カメラを選択→右クリックにて「カメラ IO」の出力：ON・OFF の制御ができます。

12. ANPR：開発中の機能です。

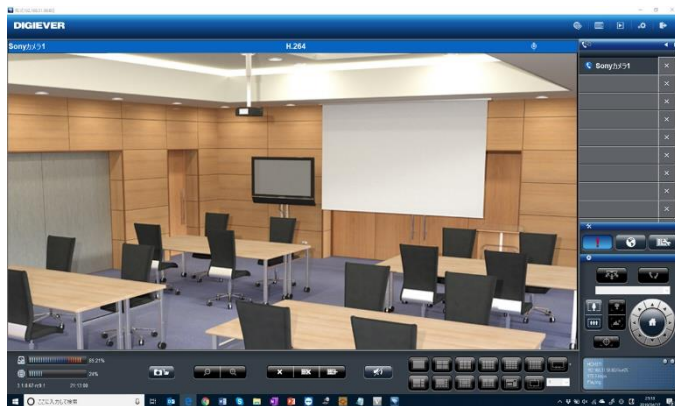
3.1.4 音声双方向機能

音声双方向の機能が使用できます。（※対応機種のみ）



3.1.5 音声通話機能

カメラの IO 入力が入ると（※要設定）、画面を対話モードに切り替えて表示できる機能です。※対応カメラのみ ※PC のみの機能



「イベントと動作」設定にて、対応カメラの IO 入力をクリック、「双方向通話」を選択します。ライブ映像に移行し、カメラの IO に入力が入ると、上記のように画面が切り替わって単画面表示になります。他、拠点からボタンを押されるとリストに追加され、クリックすることで拠点を切り替えて対話ができます。

対話完了時はxを押して完了します。すべての対話が終了すると、通常のレイアウトへ戻ります。

注意：カメラ側のマイクの音声の録音は行いますが、PC もしくは NVR から送信される音声は録音を行いませんのでご注意ください。

3.1.6 マルチ・サーバー

他の NVR を、今アクセスしている NVR に登録して、まとめて管理できます。カメラリストの上にあるアイコンをクリックしてください。

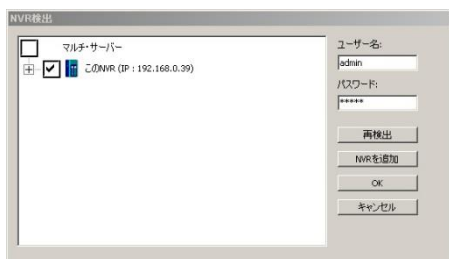
※閲覧用、録画再生用別に設定が必要です。

※最大 256 台の DIGISTOR チャンネルを登録・管理できます。

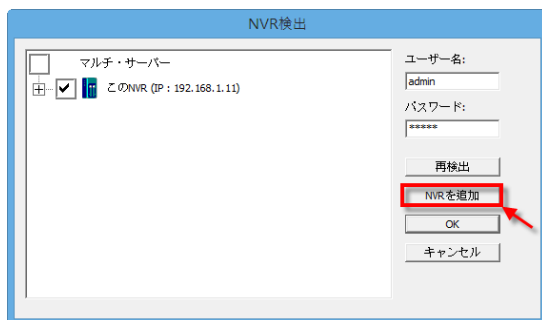
※マルチ・サーバー使用時は基本、すべてのレコーダーのファームウェアを同じ ver にしてください。



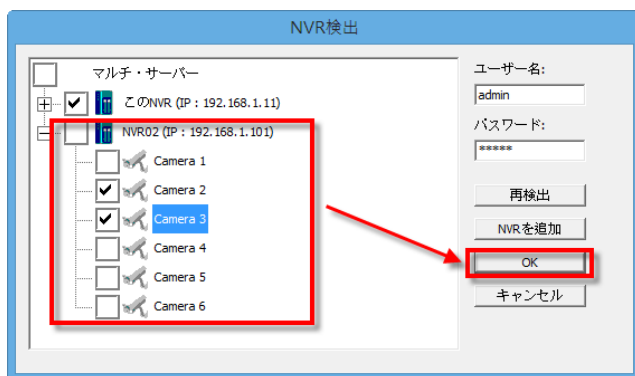
再検出のボタンを押すと NVR を自動的に検索します。追加したい NVR にチェックを入れ、ユーザー名、パスワードを入力して「OK」をクリックしてください。



手動で追加する際は、「NVR を追加」をクリックすると下記のウィンドウが表示されます。NVR のアドレス、ポート番号、ユーザー名とパスワードを入力することで NVR の追加が可能です。



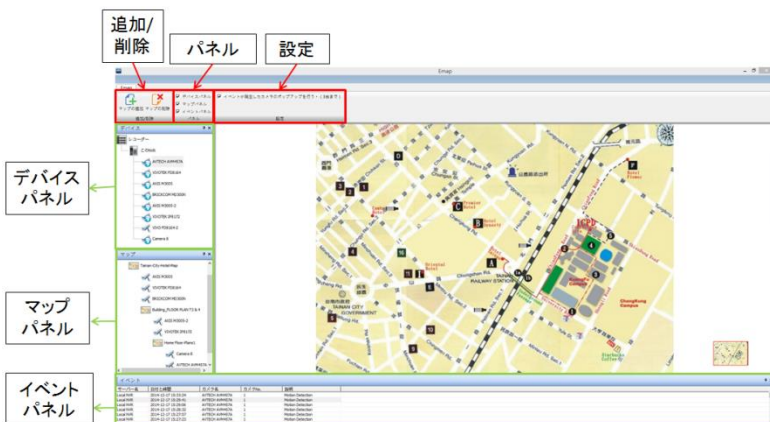
追加したい NVR とカメラを選択して「OK」ボタンを押してください。



※最大256台のチャンネル登録が可能です（5チャンネルのDIGISTOR使用時は51台まで）。

3.1.7 ダイナミック E-map 機能


PC を使用してのモニタリングにて、マップ機能が使用できます。ユーザーは、マップを貼り付けてカメラを配置することにより、視覚的にカメラの監視を行うことができます。また、イベント発生時に該当カメラをポップアップ表示させることも可能です。







ライブ表示上の E-Map ボタンをクリックし、E-Map の画面に移行してください。



1. アイコンの状態

アイコン	内容
	<p>パネルの固定：パネルを固定します。</p> 
	<p>パネルを隠す：ウインドウの端にパネルを隠し、非表示にする（※再度パネルを表示するには、パネル名をクリックしてください）。</p> 
	<p>削除：パネルを閉じます。</p>

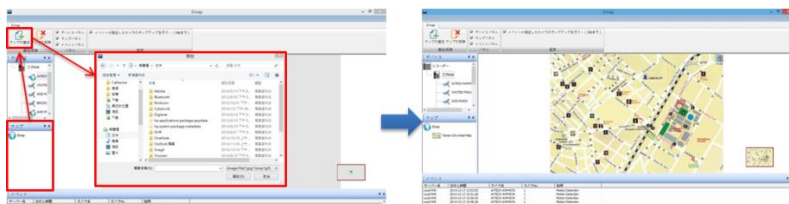
	Map の追加 : E-Map を追加します。
	Map の削除 : E-Map を削除します。
	追加可能なカメラ : デバイスパネル上にあるカメラをドラッグすることにより追加可能です。
	Map 上に既にあるカメラ : すでに Map に登録されているため、そのカメラの追加はできません。

2. Map の階層の追加と削除

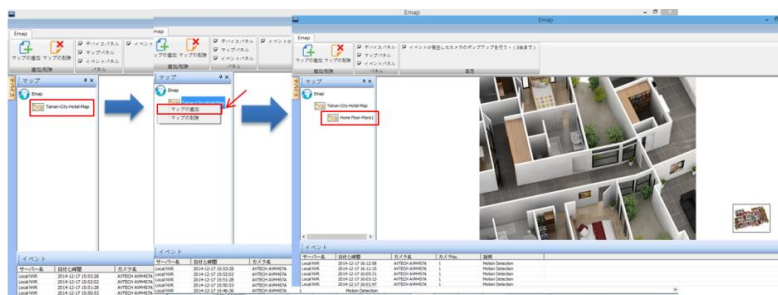
(1) **Map の追加**: マップを追加するには“マップパネル”上のマップをクリックし“マップの追加”をクリックしてください。

⚠ **注意**: PNG, BMP 及び JPEG の画像のみ使用できます。

⚠ **追加できる画像ファイルは 100 枚迄です。**



(2) Mapの右クリック: マップを右クリックすることでサブレイヤー（サブ階層）の作成が可能です。

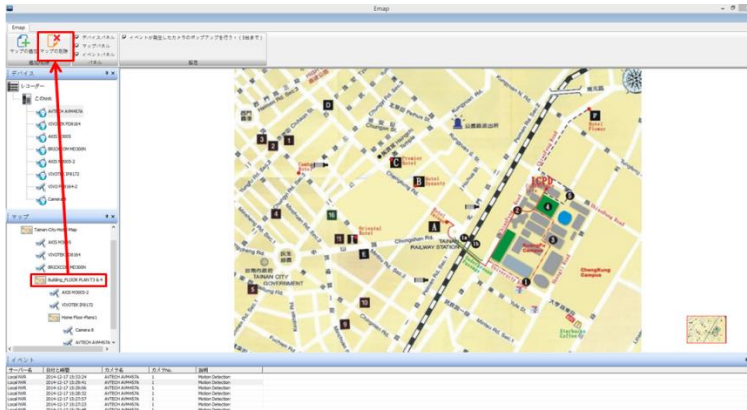


E-Map の拡大／縮小

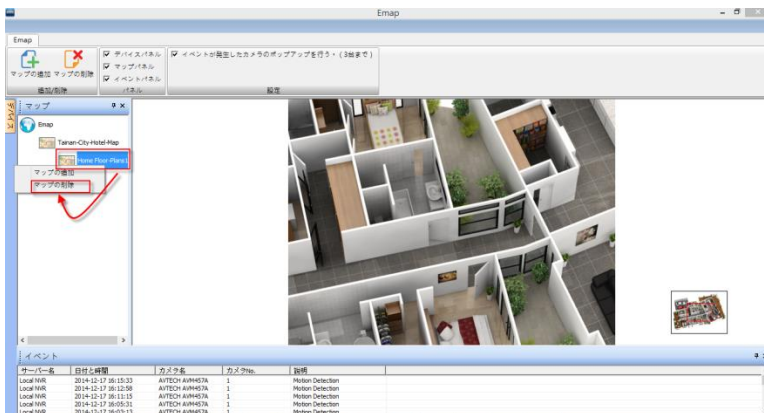
マウスのスクロールを使用し、Map の拡大／縮小ができます。

Map の削除



(1) Map の削除ボタンによる削除: マップパネルよりマップを選択し、“マップの削除”をクリックしてください。

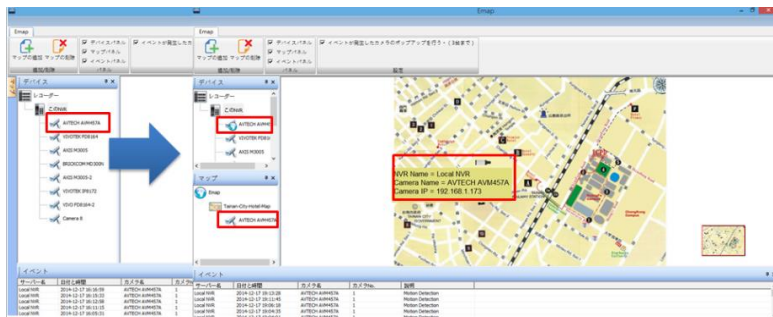


(2) マップパネル上でのマップの削除: 直接マップを選択し、右クリック → “マップの削除”よりマップの削除を行ってください。



カメラの配置

- (1) **カメラの配置:** 配置したいマップの場所にカメラをドラッグし、カメラの配置を行ってください。カメラの配置が正常に行われると、デバイスパネル上のカメラのアイコンが  (配置可能なカメラ) から  (配置済みのカメラ) へと表示が変わります。



カメラ情報

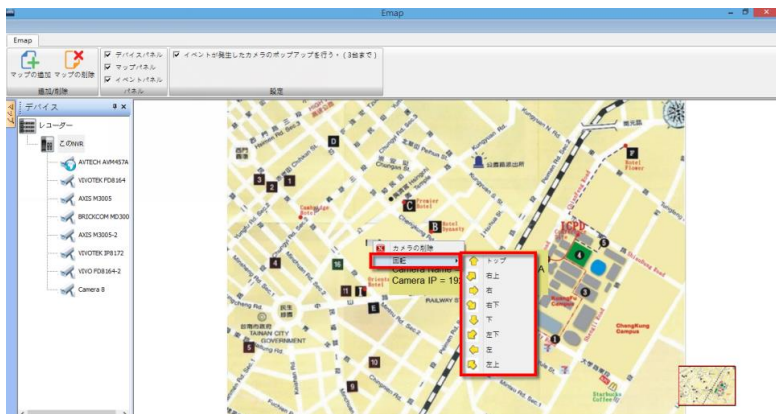
マウスの矢印をマップ上にあるカメラアイコンへ移動すると、黄色のコラムに IP アドレス等のカメラの情報が表示されます。

- (2) **カメラの削除:** 右クリックをして「カメラの削除」を選択することでカメラの削除が可能です。



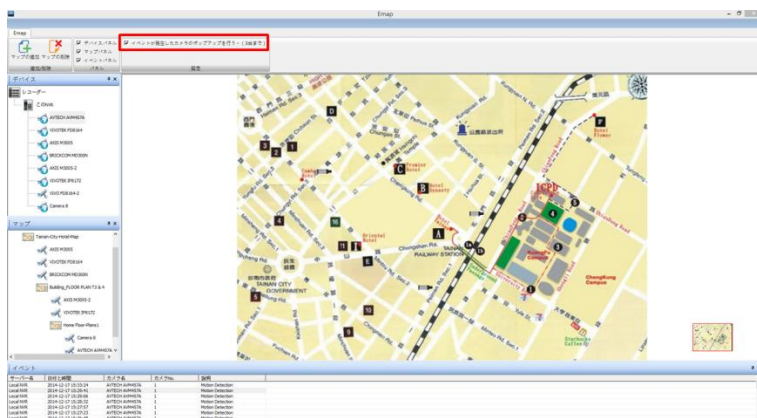
カメラアイコンの向きの変更

カメラアイコンを右クリックすることで、カメラの向きを変更できます。



E-map 上でのポップアップ機能

動体検知などのイベント発生時に、別ウインドウにてカメラのライブ映像を表示させることができる機能です。この機能を有効にするには、“イベントが発生したカメラのポップアップを行う”のチェックをONにしてください。



注意:同時にポップアップできるカメラの最大数は4台までです。

ポップアップされたカメラのウィンドウを閉じるには、右上の「×」をクリックしてください。



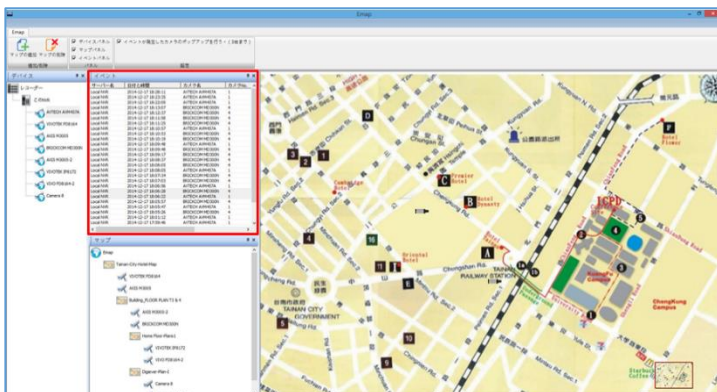
また、対応している PTZ カメラの場合、ポップアップされたウィンドウを選択すると、下記のアイコンが画面下に表示されます。

左から、デジタル・ズーム、光学ズーム、ピント調整、オートフォーカスボタン、スナップショット、保存先へのリンク、プリセット、PTZ コントローラーボタンとなります。



イベント (ログ)

イベントの状態を確認することで、イベントの詳細な履歴をより正確に確認することができます。



3.1.8 アラーム画像表示機能

アラーム等が入った際に、モニタリング画面上で、その時点の状況が右ペインに静止画として表示される機能です。



「イベントと動作の管理」にて、イベント設定を行い、モーション検知や、IOが入ると最新の画像が表示されます。※対応カメラのみ

①の矢印をクリックしてアラーム画像表示モードに変更します。

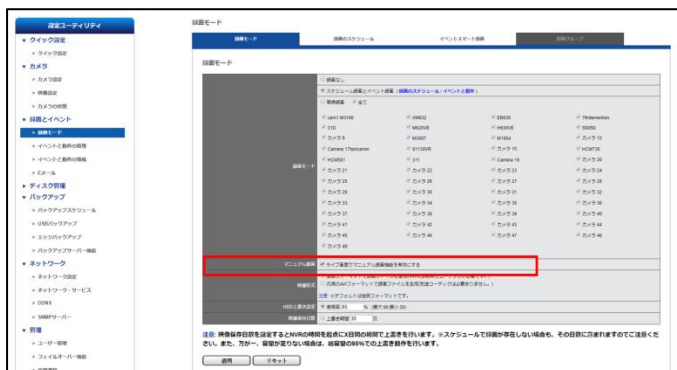
②アラームが発報すると、最新の画像が表示されます。



- また、画像にマウスを合わせて右クリックし、
- ③「スナップショット」を選択すると、画像のスナップショットを PC に保存します。
 - ④「ビデオ・クリップの再生」を選択すると、クリップ設定で設定を行った期間の録画再生が行えます。

3.1.9 マニュアル一括録画機能

ライブ画面下のマニュアル録画ボタンを押すことで、手動にて、選択したすべての録画を開始、終了することができる機能です。



1. 「設定」→「録画モード」にて、“ライブ画面でマニュアル録画機能を有効にする”をチェックします。



2. モニタリング画面の「オプション」ボタンをクリックし、「マニュアル録画ボタンの設定」にて
 - ① “選択したカメラをマニュアル録画する”を選択すると、青枠で選択したカメラのマニュアル録画を開始します。
 - ② “すべてのカメラをマニュアル録画する”を選択すると、登録されているすべてのカメラのマニュアル録画を開始します。



3. マニュアル録画ボタンを押すと、マニュアル録画が開始します。
※停止する場合は停止ボタンを押してください。

3.2 録画再生

録画再生画面では、NVR に記録した録画映像を再生できます（※16 台までのカメラの記録映像を同時に再生できます）。



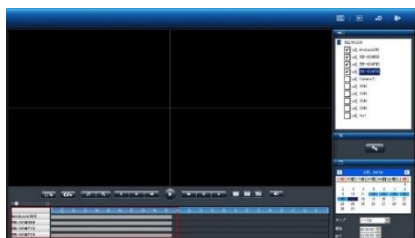
3.2.1 録画再生

録画再生は次の手順で行います。

1. 再生したいカメラをリストから選択します。
2. 再生したい日付と時刻を選択します。
3. 再生したい録画映像のタイプを選択します。
4. 「再生」ボタンをクリックします。

1. カメラの選択

再生を行いたいカメラにチェックを入れてください。



※再生したいカメラにチェックを入れると、タイム・テーブルにそのカメラの名称と録画している時間帯を示すグラフが表示されます。

2. 日付と時刻の選択

再生したい日付と時刻を指定してください。選択したカメラが録画を行っている日付が、カレンダー上で青色（通常録画）表示されます。再生する日付をカレンダーで指定し、開始時刻と終了時刻を選択します。



3. 録画タイプの選択

通常録画（灰色）、イベント録画（赤色）、ビデオ・クリップ（黄色）、修復ファイル（青色）、重複している時間帯（緑色）、フェイルオーバー設定（青）を選択してください。

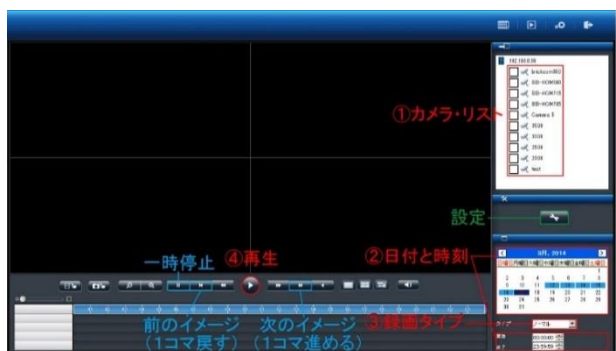


4. 「再生」をクリック

「再生」ボタンをクリックして再生を行ってください。

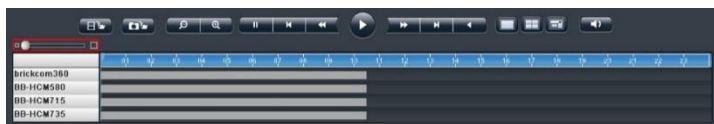
フレーム単位の再生（コマ送り再生）

1. 「一時停止」ボタンをクリックします。
2. 「1 コマ戻す（前のイメージ）」または「1 コマ進める（次のイメージ）」ボタンをクリックします。



●スケール・バー

スケール・バーを操作することでタイム・テーブルの表示を拡大／縮小できます。



●スクロール・バー

スクロール・バーを操作することで、任意の時間の録画映像を再生できます。

注意：スクロール・バーは再生中のみ使用できます。



●サムネイル機能

グラフにマウス・オーバーすることで、その時間の静止画像が表示されます。

⚠ 注意：この機能は一時停止中のみ使用できます。



3.2.2 録画再生画面の主な機能



1. 表示モード

分割表示を変更する場合は、再生バーの右のアイコンで変更を行ってください。また、各カメラの録画映像の時間は、カメラの左上に表示されます。

2. デジタル・ズームイン / アウト

選択したカメラの再生映像を電子ズームすることができます。再生バー左側の虫眼鏡のマークをクリックして使用してください。

3. 録画再生時の操作



①一時停止：録画再生を一時的に停止します。

②前のイメージ：1コマ前に戻ります。

③スロー再生：再生速度を落とします。

④再生：録画映像を再生します。

⑤高速再生：倍速再生を行います。

⑥次のイメージ：コマ送りを行います。

⑦逆再生：録画映像を逆再生します。

※再生速度はスクロール・バーの右上に表示されます。

4. 消音



「消音」ボタンをクリックすると、音声のミュートをを行います。
もう一度ボタンを押すことでオーディオ再生のオン／オフを切り換えられます。

5. スナップショット

「スナップショット」ボタンをクリックすると、選択しているカメラの静止画像を保存します。
ファイルの保存先は、「設定」→「スナップショットの保存先」で変更してください。



●録画再生時の連続スナップショット

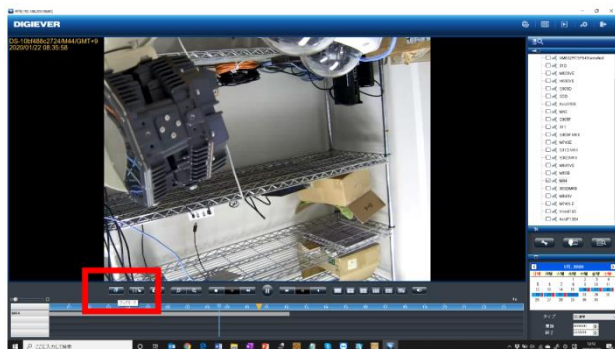
複数のスナップショットを1度のクリックで取得できます。
デフォルトは「1」で、画面右の再生設定ボタンより変更可能です。
最大5枚の連続静止画像をワンクリックで撮影できます。

●画像形式

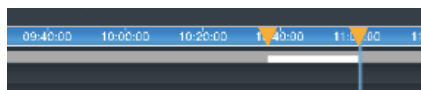
「スナップショット設定」にて、取得する画像形式(「bmp」または「jpg」)を選択できます。

6. ブックマーク

ブックマーク機能を使用すると、検索を行った日時範囲を保存して、あとからでもイベント検索から再生できるようになります。

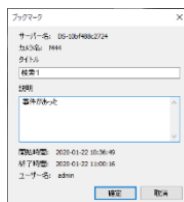


- ①保存したいカメラを選択し、再生ボタンを押して再生を開始します。
その後、ブックマークボタンをクリックします。



ブックマークボタンをクリックすると、黄色の矢印で始点が表示されます。

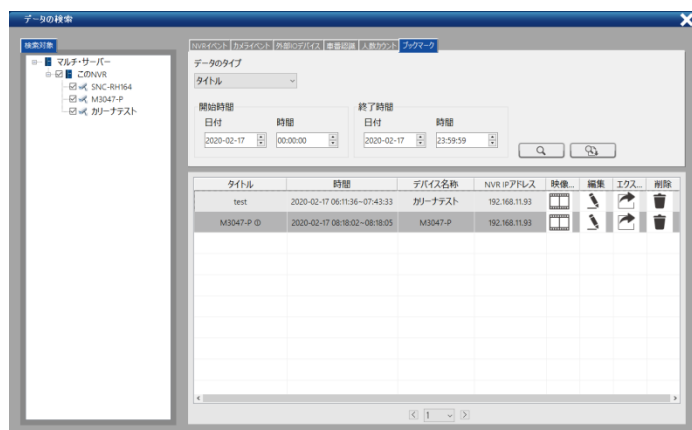
その後、再生を行い、終了させたいポイントでもう一度ブックマークを押して終点を決定します。



- ②終点を決定すると上記のダイアログが表示されるので、タイトル、およびその説明を入力してください。



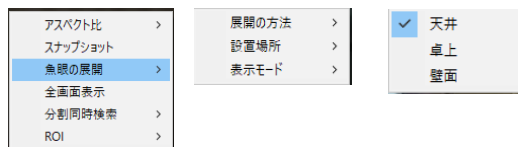
③ブックマークが設定された時刻範囲は、上記のように表示されます。



④ブックマークを検索したい場合は、再生画面より「イベント検索」→「ブックマーク」タブを選択してください。検索結果のリストから、映像の再生、エクスポート等が可能です。

7. 全方位カメラの映像補正

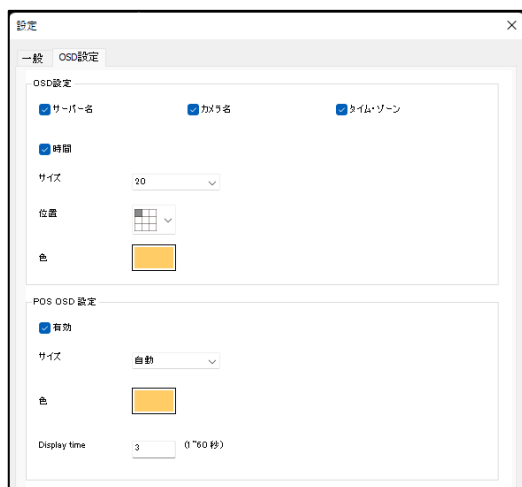
カメラを右クリックし、メニューにて全方位カメラを選択すると、補正したカメラの映像を表示できます。



8. OSD の色とサイズの変更

録画映像で表示される OSD (On Screen Display) の設定を変更できます。

1) 画面内右下の「設定」→「OSD 設定」をクリックします。



- 2) 表示したいものをチェックし、文字の大きさをドロップダウン・メニューから選択してください。
- 3) 「位置」をクリックすると、表示したい場所を選択できます。
- 4) 「色」をクリックすると、パレットが表示されます。表示したい文字の色を選択してください。

※POS OSD 設定は使用しません。

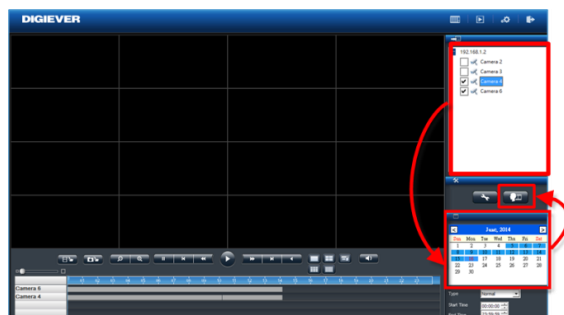
3.2.3 スマートサーチ機能

録画再生映像を元に、**モーションの検知**、**持ち込み検知**、**持ち去り検知**、**いたずら検知**、**ピンボケ検知**を行えます。

※録画再生を行いながら再度、検索動作を行いますので、PCのスペックや録画データ受信状況により相当な時間がかかることがあります。

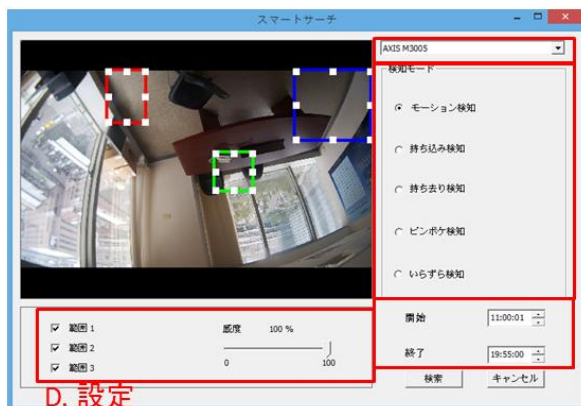


リストからカメラを選択し、スマートサーチを行いたい日付を選択→「スマートサーチ」ボタンを押して画面を移行してください。





カメラを選択して、カメラの検知モード、開始時間、終了時間を入力し、「検索」ボタンを押してください。



A. カメラ

B. 検知モード

C. 時間

D. 設定

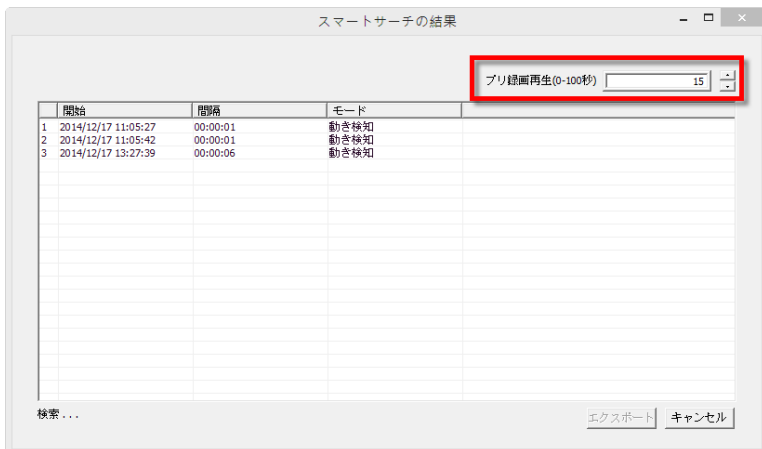
設定の概要:

- (1) **物体の大きさ** : 検知する物体の大きさ

注意 : モーションの検知, 持ち込み検知, 持ち去り検知には物体の大きさの調整が必要です。

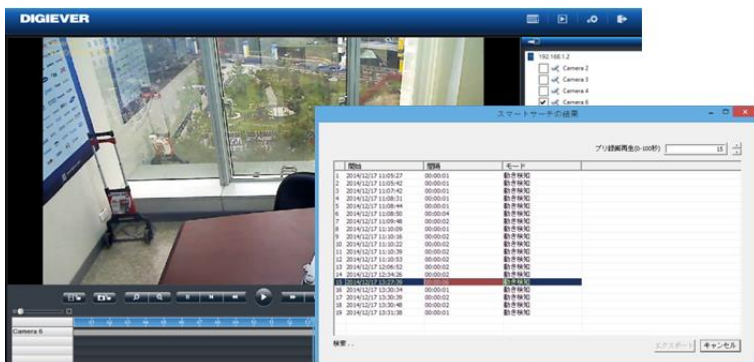
- (2) **感度** : 検知する感度

- (3) **インターバル** : その物体が指定した領域に存在する (しない) 期間



スマートサーチの結果が表示されます（※録画の再生を行う前にプリ録画再生の秒数の変更をしたい場合、右上の“プリ録画再生”にて 0 秒～100 秒の間で期間の変更を行ってください）。

その後、再生を行いたいリストをダブルクリックすることにより再生を行ってください。

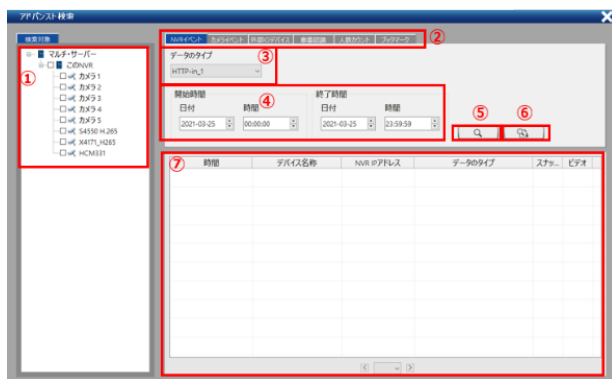


3.2.4 アドバンスド検索機能

NVR で設定を行ったイベントをリスト化したものを表示し、検索を行う機能です。



上記アイコンをクリックすると、イベント検索の画面が表示されます。



- ① カメラ選択 : 検索を行いたいカメラにチェックを入れ、カメラを選択してください。
- ② イベントタブ
- ③ イベントタイプ ※次頁参照
- ④ 検索時間の範囲指定
- ⑤ 検索ボタン
- ⑥ CSV の切り出しボタン → 検索結果を CSV で表示します。
- ⑦ 結果ウインドウ

※イベントのタイプ

NVR イベント

■ Http-in ■ Digital Input

カメライベント

■ 音声検知 ■ 方向検知 ■ モーション検知 ■ 侵入検知
■ Digital Input

外部 IO デバイス

※開発中

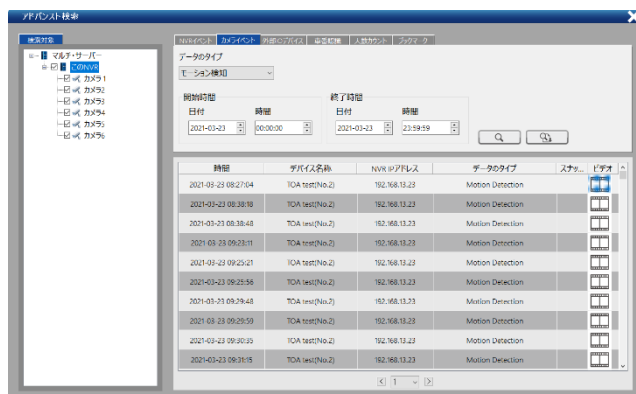
車番認識

※開発中

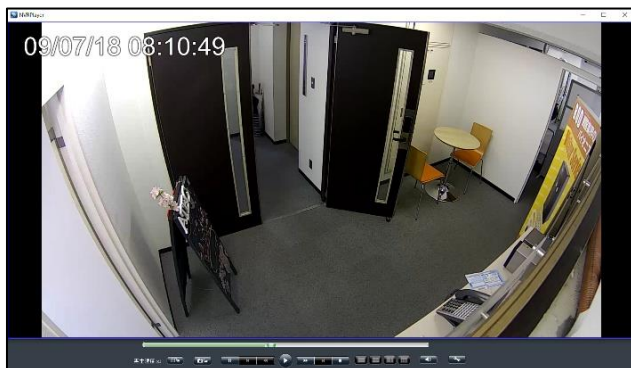
ブックマーク

+++++

イベント検索を使用するには、検索を行いたいカメラを選択し、イベント→イベントタイプを選択した後、時間範囲を指定して「検索」ボタンを押してください。検索ボタンを押すと下記のように検索結果が表示されます。



また、ビデオボタンを押すと、別ウインドウで録画再生を行います。



人数カウント

※Vivotek 製 SC8131 を使用すると、範囲時間を指定した統計機能が使用できます

データ表示: 15分

開始時間: 2020-01-30 00:00:00 終了時間: 2020-01-30 23:59:59

時間範囲	総In数	総Out数	合計 (総In数-総Out数)
2020-01-30 00:00:00~2020-01-30 23:59:59	13	10	3

時間	デバイス名称	NVR IPアドレス	In数	Out数	In数-Out数
2020-01-30 10:35:00~	SC8131(Na.5)	192.168.11.201	2	1	1
2020-01-30 10:40:00~	SC8131(Na.5)	192.168.11.201	4	2	2
2020-01-30 10:45:00~	SC8131(Na.5)	192.168.11.201	0	0	0
2020-01-30 10:50:00~	SC8131(Na.5)	192.168.11.201	1	1	0
2020-01-30 10:55:00~	SC8131(Na.5)	192.168.11.201	2	2	0
2020-01-30 11:00:00~	SC8131(Na.5)	192.168.11.201	0	0	0
2020-01-30 11:05:00~	SC8131(Na.5)	192.168.11.201	1	0	1
2020-01-30 11:10:00~	SC8131(Na.5)	192.168.11.201	1	1	0

また、検索結果を CSV としてエクスポートできます。

時間範囲	総In数	総Out数	合計 (総In数-総Out数)		
2020-01-30 00:00:00~2020-01-30 23:59:59	13	10	3		
時間	デバイス名称	NVR IPアドレス	In数	Out数	In数-Out数
2020-01-30 10:35:00~	SC8131	192.168.11.201	2	1	1
2020-01-30 10:40:00~	SC8131	192.168.11.201	4	2	2
2020-01-30 10:45:00~	SC8131	192.168.11.201	0	0	0
2020-01-30 10:50:00~	SC8131	192.168.11.201	1	1	0
2020-01-30 10:55:00~	SC8131	192.168.11.201	2	2	0
2020-01-30 11:00:00~	SC8131	192.168.11.201	0	0	0
2020-01-30 11:05:00~	SC8131	192.168.11.201	1	0	1
2020-01-30 11:10:00~	SC8131	192.168.11.201	1	1	0
2020-01-30 11:20:00~	SC8131	192.168.11.201	2	1	1
2020-01-30 11:25:00~	SC8131	192.168.11.201	0	2	-2
2020-01-30 11:30:00~	SC8131	192.168.11.201	0	0	0
2020-01-30 11:35:00~	SC8131	192.168.11.201	0	0	0

温度検知対応カメラ

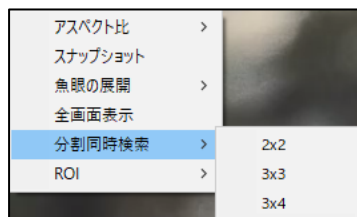
※FLIR: FC-324-R, FC-334-R, FC-632-R, FC-645-R-PAL

再生したい時間のビデオクリップをクリックして選択し、映像の再生を行ってください。

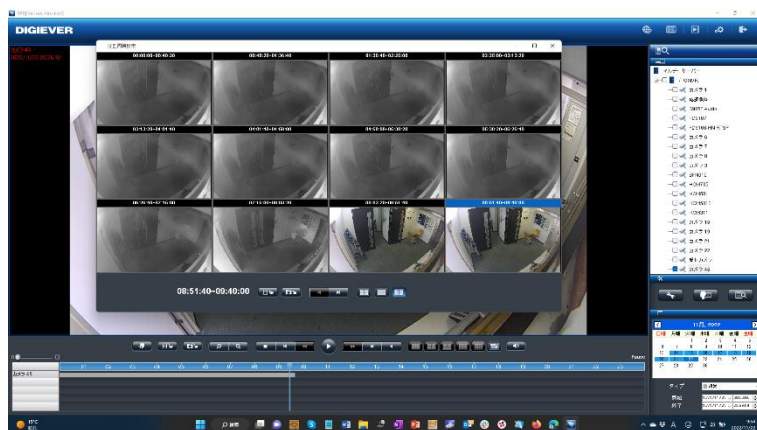
※別ウインドウにて再生画面が表示されます。

3.2.5 同一カメラの分割同時検索機能

再生時にカメラ上で右クリックすると下記のメニューが表示され、同一カメラの分割同時表示が行えます。



まずはじめに、1日のデータを分割して画像表示します。



その中の1つの画面をダブルクリックすると、その時間範囲がさらにx分割されて録画画像が表示され、絞り込みが可能です。

「戻る」のボタンを押すと、クリック前の状態の画面に戻ります。

また、1つの画像をクリックし、異なった分割表示を選択、ダブルクリックすると、その選択した範囲をx分割した画像が表示されます。



画像をクリックし1画面を再生することも可能です。

その後、画像の枠を選択し、エクスポートの開始ボタンを押すと、該当する5分間のファイルのコピーを行います。

3.2.6 ファイルのエクスポート

エクスポート機能を用いることで、録画データをNVRから取り出せます。

1) 映像のエクスポート先の決定

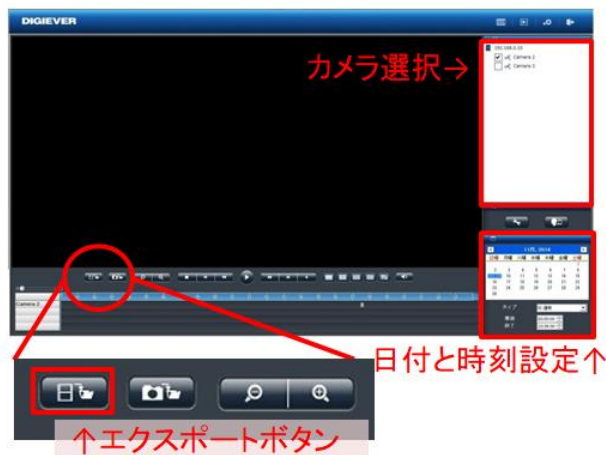
再生画面右下にある「設定」ボタンをクリックして設定ウインドウを表示してください。「映像のエクスポート先」に示されるフォルダに保存されます。



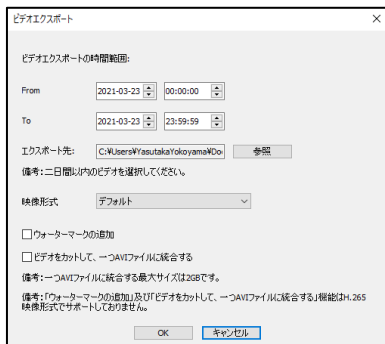
2) 録画ファイルのエクスポート

- ① 録画再生と同様にエクスポートしたいカメラをチェック
- ② カレンダーで日時を選択
- ③ バックアップを行いたい時間を選択します。

※カメラ台数は最大 16 台まで選択・バックアップ可能です。



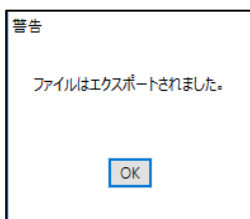
④エクスポートボタンをクリックすると、下記の画面が表示されます。



⑤「OK」を押すと、DIGIPlayer と DIGICheck を録画映像とともにダウンロードするかどうかを確認するウインドウが表示されます。

※再生中にボタンを押した場合、上のような画面は表示されません。
(PC の場合)

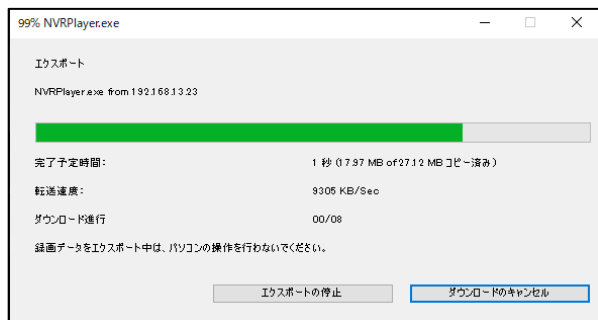
- NVRPlayer は NVR に保存された録画映像を再生するプレイヤーです。
- NVRCheck は、録画映像ファイルが DIGISTOR で作成されたものかどうかを確認するためのツールです。



上記のダイアログが表示されると、ファイルのエクスポートの完了です。

4) エクスポートの停止

データ転送中に「エクスポートの停止」をクリックすることで中止できます。



※通常のバックアップは、指定した区間の 5 分ファイル（生成されたレコーダー内部のファイル）を取得する構造のため、指定された何分秒の範囲のバックアップはできません。

3.2.7 エクスポートしたファイルの再生

- 1) エクスポートを行うとフォルダが生成され、フォルダにアクセスすると下記のフォルダが確認できます。

(※エクスポート時に NVRPlayer 及び、NVRCheck をダウンロードした場合)

名前	更新日時	種類	サイズ
DS-4205test_fcaa14f737e4	2017/10/04 10:52	ファイル フォルダー	
NVRCheck.exe	2017/10/04 10:53	アプリケーション	515 KB
NVRPlayer.exe	2017/10/04 10:53	アプリケーション	17,770 KB
Playlist.list	2017/10/04 10:53	LIST ファイル	1 KB

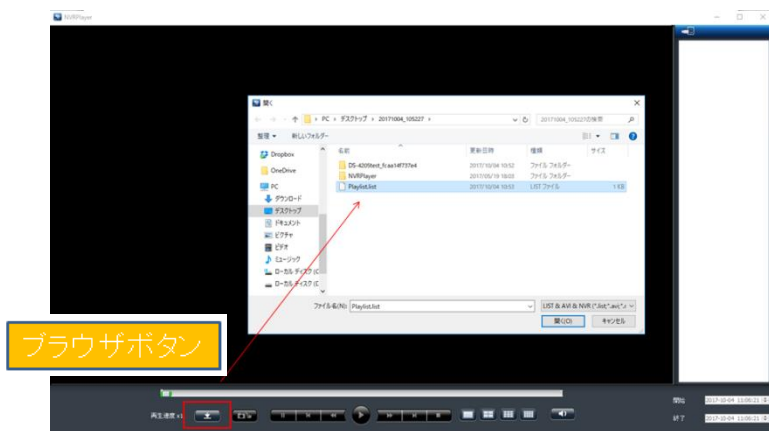
- 2) NVRPlayer.exe を選択、PC にコピーし、そのフォルダを展開してください。
- 3) 「.7z」フォルダを展開すると下記のフォルダが現れるので、そのフォルダをクリックしてください。

NVRPlayer	2017/05/19 18:03	ファイル フォルダー
-----------	------------------	------------

- 4) NVRPlayer.exe をクリックして Player を起動してください。

名前	更新日時	種類	サイズ
mplayer	2017/05/19 18:02	ファイル フォルダー	
IMV1.dll	2015/12/14 1:35	アプリケーション拡張	512 KB
Language.ini	2016/07/06 15:29	構成設定	4 KB
NVRPlayer.exe	2017/05/23 18:40	アプリケーション	2,349 KB

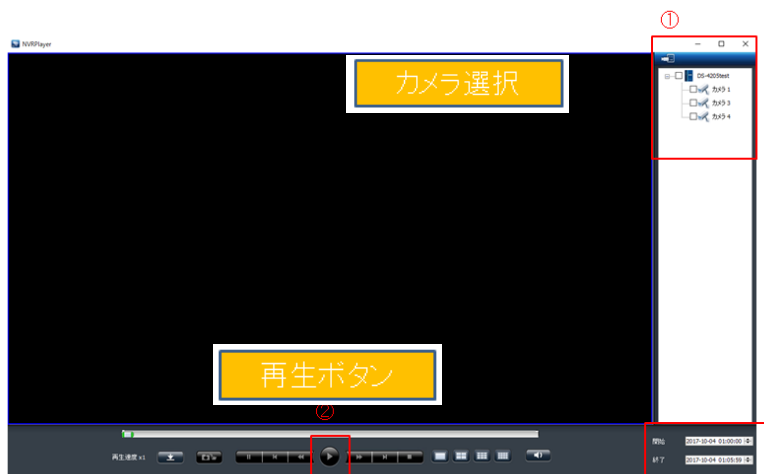
NVRPlayer の起動後、左下のブラウザボタンを押し、ダウンロードしたフォルダ内にある Playlist.list を選択してください。



5) 選択すると、エクスポートを行ったカメラが右に表示されます。

再生を行いたいカメラを選択し、再生ボタンをクリックすると録画の再生を行います。

※スナップショットを取得したい場合は、再生ボタン左のスナップショットボタンを押してください。



3.3 PC による録画フォルダへのアクセス (SMB/FTP)

Windows ネットワーク、または FTP サービスを使って映像ファイルにアクセスできます。

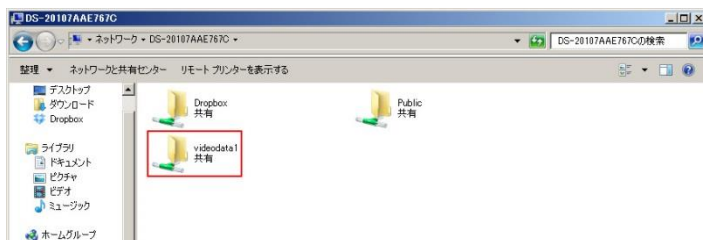
注意：使用するサービスは、「ネットワーク共有サービス」ページで有効にしてください。

ファイル共有ページの「リンク」ボタンをクリックすると、ダイアログが開きます。



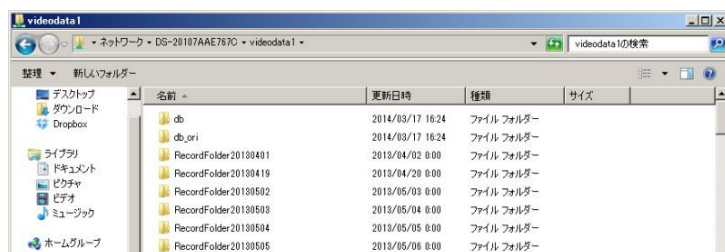
3.3.1 Windows ネットワーク

Windows のエクスプローラーにて、**¥¥ (IP アドレス)** を入力し、直接録画ファイルにアクセスできます。



「videodata1」のフォルダの中に録画映像が保存されています。クリックすると日付ごとのフォルダが表示され、フォルダ内には「RecordFolder」という名のフォルダが時系列で並んでいます。録画映像は 5 分ごとのファイルで保存されています。
(※削除はできません)

また、コピーしたファイルは、「NVRPlayer」にて再生をしてください。



4.0 ローカル・ディスプレイの操作

4.1 NVR へのログイン

NVR にログインを行います。ユーザー名とパスワードを入力してください。
※デフォルトの管理者ユーザー名、パスワードは admin/admin となります。



解像度：解像度 1920 x 1080 または 1024 x 768 を選択できます。

※UHD モデルは、3840×2160 まで対応 ※HDMI 1 のみ

4.1.1 バーチャル・キーボード

ユーザー名、パスワード入力時は、USB キーボードを NVR の USB に接続するか、バーチャル・キーボードを使用してください。下記の赤枠をクリックすることでバーチャル・キーボードを表示します。







バーチャル・キーボードには小文字、大文字、記号の 3 モードがあります。

4.2 ライブ表示

4.2.1 ライブ表示モードの選択



右上にある 4 つのボタンで、表示モードを切り替えます。

モード	内 容
	ライブ表示： ライブ映像を表示します。
	録画再生： 録画した映像を再生するページを表示します。
	設定： カメラ、録画、イベント、管理、ネットワークなどを設定するページを表示します。
	ログアウト： NVR からログアウトする時にクリックします。

4.2.2 ライブ表示の主な機能



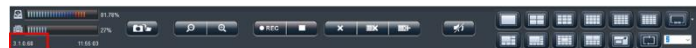
1. カメラの状態

アイコン	内 容
	カメラ名： 映像ウインドウ左上にカメラの名称が表示されます。「設定 > カメラ > カメラ設定」で名称を変更できます。
	オーディオ： カメラがオーディオ機能をサポートしていると、アイコンが青色で表示されます。サポートしていない時は灰色で表示されます。
	イベント： イベントが発生するとアイコンで通知します。
	録画状態： カメラが録画中かそうでないかを表示します。
	青枠： ウインドウを選択すると枠が青色で強調表示されます。

2.NVR の情報

1) ファームウェア・バージョン

ライブ表示ページに NVR のファームウェア・バージョンが表示されています。

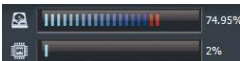


2) ディスク・NVR 負荷率

設定ページへ移動しなくても、ディスクと NVR 負荷率を確認できます。






使用量が 70%以下なら青色で、70%以上になると赤色で表示されます。



解像度や FPS、画質の変更や、RAID を作成中は CPU の使用量が大きくなります。常時 80%以下になるよう、設定に注意してください。

3. 基本機能

アイコン	内 容
	スナップショット： 選択したカメラの静止画像を撮影します。 「Public > liveview_snapshot」に保存されます。 Windows ネットワークまたは FTP でアクセスできます。
	デジタル・ズームイン / アウト： 選択したカメラのデジタル・ズームを操作します。
	マニュアル録画開始： マニュアル録画を開始します。
	マニュアル録画停止： マニュアル録画を停止します。
	表示停止： 選択したカメラの表示を停止します。
	全てを表示停止： 全てのカメラの表示を停止します。

	全てを表示： 全てのカメラのライブ映像を表示します。
	消音： カメラのオーディオ・ボリュームをゼロにします。
	日付と時間： 現在の日付と時間を表示します。

4.表示モード

表示レイアウトを変更できます。アイコンをクリックしてください。
選択中のレイアウトはアイコンが青色で表示されます。

アイコン	内 容
	全画面表示
	シングル表示
	4 分割表示
	9 分割表示
	12 分割表示
	16 分割表示
	20 分割表示
	1×2/2×1/3×1/3×2/5×1/5×5/6×5/6×6/7×6/7×7/ 8×4/8×7/8×8 分割表示




	5+1 分割表示
	8 分割表示
	12+1 分割表示
	8+2 分割表示
	シーケンシャル・モード。特定ページを表示したい時はドロップダウン・メニューから選択してください。

※表示分割は 64ch まで可能ですが、1 カメラあたりの大きさを考慮すると最大 16 分割程度までの閲覧をお勧めします。

5.PTZ 制御

PTZ 機能を持つカメラは、ライブ表示ページでその操作を行えます。以下はその制御アイコンです。ただし、カメラの機種によって対応していない機能もあります。

アイコン	内 容
	PTZ 操作： 選択したカメラのパン、チルト、ズーム操作を行えます。クリックした矢印の方向にカメラが向きを変えます。 中央の「家（ホーム）」ボタンをクリックすると、ホーム・ポジションに戻ります。
	プリセット・ポジション： カメラにプリセット・ポジションを登録していたら、その位置情報に基づいてカメラの向きを換えます。
	光学ズームイン / アウト： 選択したカメラのズームイン / アウトを制御します。

	<p>フォーカスの調整： カメラが PTZ 機能をサポートしている場合、マニュアルでフォーカスの調整が可能です。 ※また、対応しているカメラではオートフォーカス機能が使用できます。</p>
	<p>スケジュール PTZ (巡回モード)： 巡回するプリセット・ポジションを「セット」で選択します。巡回回数及びプリセット・ポジション間の移動間隔を設定してください。</p>
	<p>スケジュール PTZ (巡回モード)： 「Go」をクリックすると巡回が始まります。</p>

6. イベント・ログ

「イベントと動作の管理」の設定を使用している時、検知するとアイコンが点滅します。アイコンをクリックするとログ・ウィンドウがポップアップします。



ログのエクスポートをクリックすると、ログを一括で取得できます。

※USB メモリを差し込み、ボタンを押すと、保存先を指定してログファイルの保存が可能です。

また、インスタント再生アイコンをクリックすると、クリップ映像の再生が可能です。※イベント時

4.2.3 映像設定

警告設定やウインドウ設定、シーケンシャル・モード設定など、ライブ表示全般の設定を行います。

1) 一般設定

●アスペクト比及び警告線表示の設定を全カメラに適用する。

映像ウインドウ上での右クリック→アスペクト比→「オリジナルのサイズ」または「ウインドウのサイズ」をすべて一括で切り替えます。

●イベント発生時にウインドウを強調表示

モーション検知など、カメラがイベントを検知するとウインドウが強調表示されます。

※映像ウインドウをクリックすると強調表示は終了します。

●イベント発生時にポップアップ通知

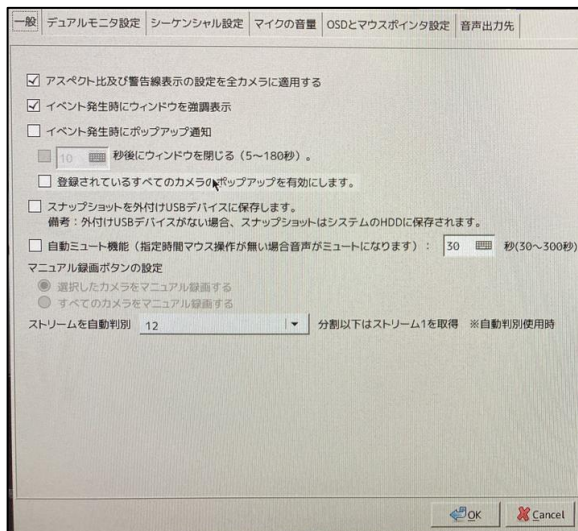
ポップアップの設定を有効にすると、イベントが発生したカメラのポップアップを行います。複数同時にイベントが発生すると4分割表示になりカメラを割り当てます。※ver70-3.1～

※対応していないカメラもあります。



ポップアップのウインドウをクリックすることで、手動でポップアップを閉じます。

自動でポップアップを閉じる場合は「設定」内で設定を行ってください（デフォルトは10秒です）。



“登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします”

を選択した場合、すべてのカメラでポップアップ動作を行います（チェックを行わない場合は表示されているカメラのみポップアップを行います）。



普通



登録されているすべてのカメラの
ポップアップ

⚠ 注意: 同時にイベントが発生した場合、最新のカメラのイベントがポップアップとして表示されます。

●スナップショットを外付け USB デバイスに保存します

スナップショット画像を外付け USB に保存します。

※通常、モニタリング画面のスナップショットは本体に保存されます。

●自動ミュート機能

※指定時間経過後、マウス操作がない場合、音声がミュートします。

※30-300 秒

●マニュアル録画ボタンの設定

マニュアル録画を使用する場合に、

①選択したカメラのみ

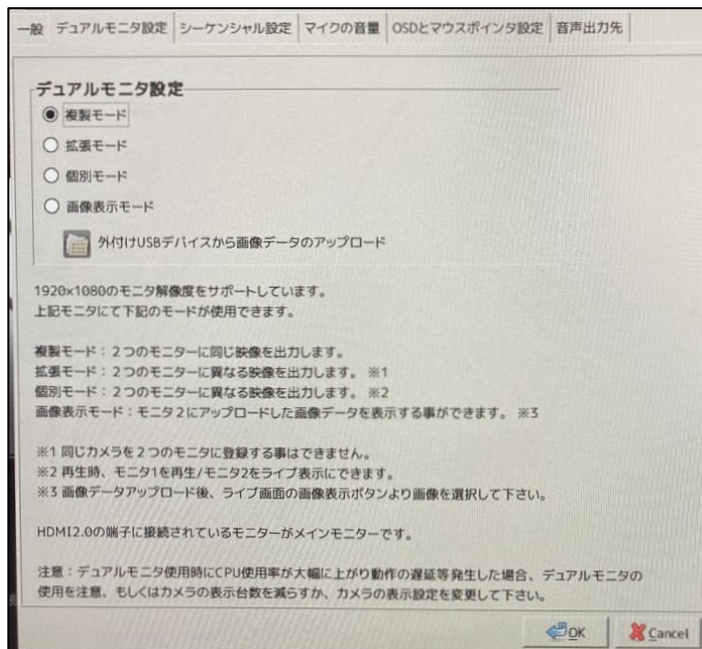
②すべてのカメラ

のマニュアル録画を行うか選択してください。

●ストリームを自動判別

「12/10/9/8/6/5/4/3/2/1/ライブ映像をストリーム 2 で表示」分割以下の場合に、ストリーム 1 を取得して表示する設定です。

※自動判別使用時の表示設定です。



3) デュアルモニタ設定

●複製モード

※2つのモニターに同じ映像を出力します。

●拡張モード

※2つのモニターに異なる映像を出力します。

※同じカメラを2つのモニターに出力できません。

●個別モード

※2つのモニターに異なる映像を出力します。

※同じカメラを2つのモニターに出力できます。

※再生時にモニター1を再生／モニター2をライブ表示にできます。

※負荷率が70%を超えないようにしてください。

●画像表示モード

※モニター2にアップロードした画像データを表示することができます。

※1024×768の解像度には対応していません。

2) シーケンシャル・モード設定

ページの切換間隔（秒単位）を設定します。

3) マイクの音量

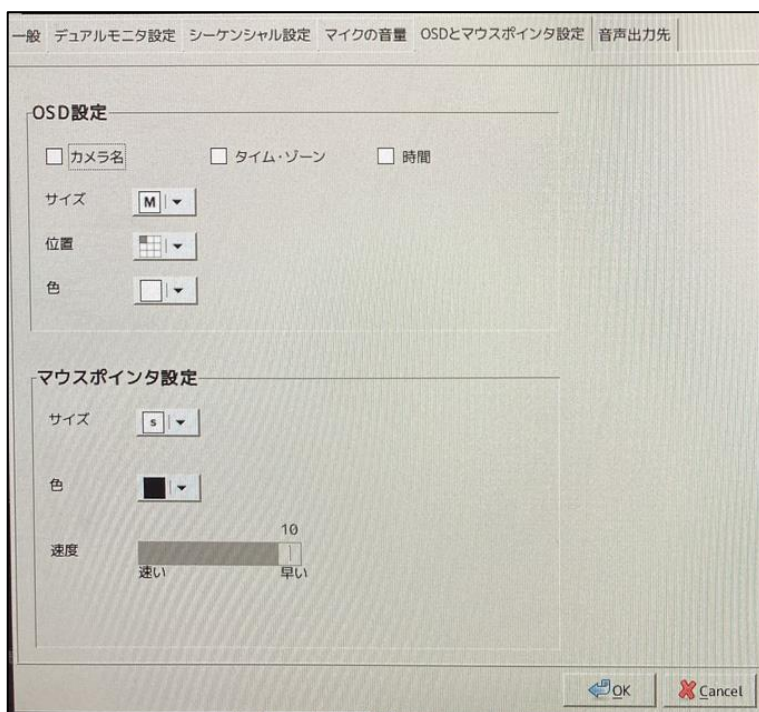
本体に接続したマイクの音量を調整できます。

4) OSD とマウスポインタ設定

OSD 設定が可能です。

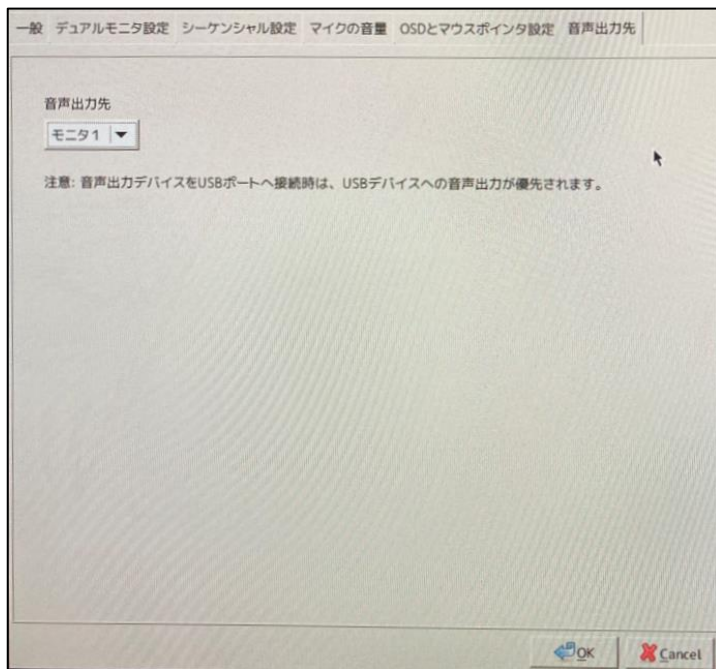
表示したい名称をチェックし、文字サイズ、表示位置、色を選択してください。

マウスポインタ設定では、マウスの大きさ(大・中・小)、色(白・黒)、速度（10 段階）の設定が可能です。

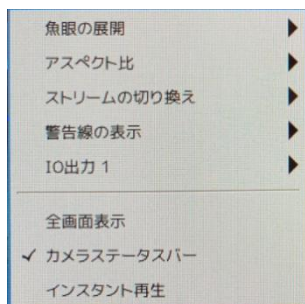


5) 音声出力先

HDMI を使用したモニターを 2 台接続した際に使用する機能です。
音声の出力先を「モニター 1」、「モニター 2」いずれか選択ができます。



4.2.4 オプション（映像ウインドウ上の右クリック）



7.カメラステータスバー: カメラ情報などのステータスの表示／非表示の切り替えができます。

8.インスタント再生: 選択した 1 台のカメラの即時再生を行います。

4.3 録画再生

録画再生画面に移行すると、NVR に記録した録画映像を再生できます。

※16 台までのカメラの記録映像を同時に再生できます。

※カメラの台数や解像度、コマ数設定によっては、うまく再生できないことがあります。その際は、再生分割数を下げて再生を行ってください。

4.3.1 録画再生

録画再生は次の手順で行います。



- 1.再生したいカメラをリストから選択します。
- 2.再生したい日付と時刻を選択します。
- 3.再生したい録画映像のタイプを選択します。
- 4.「再生」ボタンをクリックします。

1.カメラの選択



5 台以下のカメラを選択して再生できます。

2. 録画タイプの選択



再生したい日付と時刻を指定してください。

選択したカメラが録画を行っている日付がカレンダー上で青色（通常録画）表示されます。

再生する日付をカレンダーで指定し、開始時刻と終了時刻を選択します。

3. 録画タイプの選択

録画のタイプには、通常録画（灰色）、イベント録画（赤色）、ビデオ・クリップ（黄色）、修復されたファイル（青色）、重複している時間帯（緑色）があります。選択した録画のタイプによって日付の色が変化します。

4. 「再生」をクリック

「再生」ボタンをクリックすると再生が始まります。

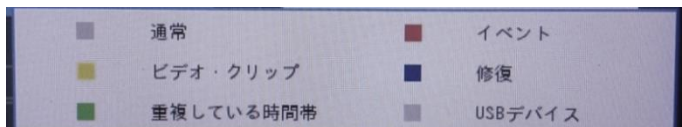
フレーム単位の再生（コマ送り再生）

1. 上記 4 つの手順に従います。
2. 「一時停止」ボタンをクリックします。
3. 「1 コマ戻す（前のイメージ）」または「1 コマ進める（次のイメージ）」ボタンをクリックします。



録画タイプの選択:

イベント録画等で録画されたデータを再生するには、通常録画（グレー）、**イベント（赤）**、**ビデオ・クリップ（黄）**、**修復ファイル（青）**、**重複している時間帯（緑）**、USB デバイス（グレー）を選択した上で検索を行います。



検索上の録画データの色帯に関しても上記の色により種別されます。

= 録画タイプ =

1) 通常録画（グレー）:

通常録画: 常時録画やスケジュール等で設定を行い、録画を行ったファイル。（※イベント、重複した時間帯等以外の録画ファイル）

2) イベント（赤）:

イベントファイル: 動体検知などのイベントが発生した際の録画ファイル。（※詳細は **5.2.6 イベントと動作の管理を参照**）

3) ビデオ・クリップ（黄）:

ビデオ・クリップ: 設定>イベントと動作の管理>詳細設定内で設定されたビデオ・クリップファイル。

4) 修復（ブルー）:

修復ファイル: 不意に NVR の電源が落ちた場合など、バッファされている出来る限りのデータを保全し、修復を行ったファイルです。（※電源が落ちている間の録画データは修復できません）

5) 重複している時間帯（緑）:

重複している時間帯: 録画時間の変更を行った際に重複される時間の録画データを表示します。

6) USB デバイス（グレー）:

バックアップを行った録画ファイルをチェック用に確認できます。クリックするとフォルダが表示され、**フォルダ内（playlist.list）**をクリックすることでバックアップファイルを再生できます。

4.3.2 録画再生の主な機能



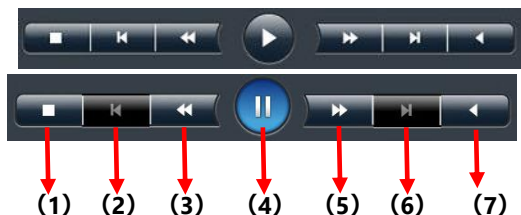
1.表示モード

再生バー右の表示モードアイコンにて分割画面の変更が行えます。
また各カメラの録画映像の時間は、カメラの左上に表示されています。

2.デジタル・ズームイン/アウト

選択したカメラの映像を拡大／縮小する際に使用します。元のサイズに戻す時はデジタル・ズームアウトを使用してください。

3.録画再生時の操作



- ①停止：録画再生を停止します。
- ②前のイメージ：1コマ前に戻ります。
- ③スロー再生：再生速度を落とします。

- ④再生と一時停止：録画映像を再生します。もう一度押すと録画再生を一時停止します。
 - ⑤高速再生：再生速度を上げます。
 - ⑥次のイメージ：1コマ先に進めます。
 - ⑦逆再生：録画映像を逆再生します。
- 再生速度はスクロール・バーの左に表示されています。



4.スケール・バー

スケール・バーを操作することで、タイム・テーブルの表示を拡大／縮小できます。



5.スクロール・バー

スクロール・バーを操作することで、任意の時間の録画映像を再生できます。

⚠ 注意：スクロール・バーは再生中のみ有効になります。






4.3.3 音声の再生

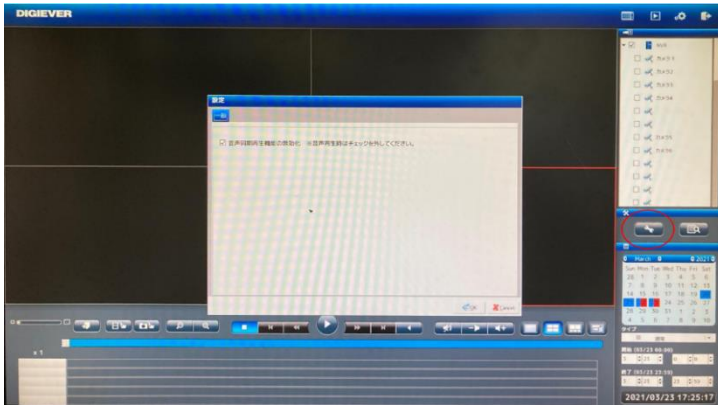


選択中のカメラの音声を再生できます。

※映像と音声が同期しない場合がございます。

アイコン	内 容
	消音： 再生中の録画映像の音声をミュートします。 再度クリックすると音声を ON にします。
	音量ダウン： 再生中の記録映像の音声ボリュームを下げます。
	音量アップ： 再生中の記録映像の音声ボリュームを上げます。

●音声同期再生機能の無効化



分割再生時の同期再生機能を無効にし、映像と音声のずれを調整・軽減する機能です。

4.3.4 スナップショット

ローカル・ディスプレイでの再生中にもスナップショットを撮影できます。USBの保存メディアをNVRのUSBポートに接続してください。

「スナップショット」ボタンをクリックすると静止画像が保存されます。



4.3.5 録画映像のエクスポート

録画映像のエクスポートは USB デバイス(フラッシュメモリ)、USB-DVD
(※推奨品) 等を使用してバックアップが可能です。



カメラ、日付、時間を選択し、エクスポートボタンを押してください。
※USB デバイスのフォーマットは「メニュー」より「設定ユーティリティ」
→「USB バックアップ」にて行ってください。



エクスポートボタンを押すと上記の画面が表示されます。エクスポートを
行いたい日付と時間を選択してください。

※USB を差し込むとそのアイコンがハイライトされ、コピーできるよう
になります。

※想定容量をクリックすると USB メモリとコピー容量を確認できます。

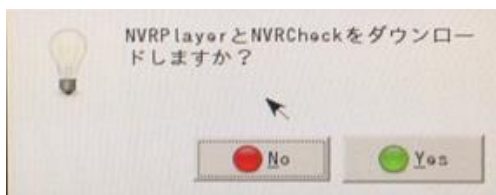
「OK」をクリックすると、エクスポートが開始されます。

※パスワード保護の設定を行っている場合は、ここでパスワードを入力する画面が表示されます。

※NVRPlayer は、録画再生を行うための再生専用プログラムです。

※NVRCheck は、録画ファイルの改ざんをチェックするチェックツールです。

USB DVD を使用する場合は、録画検索と同様に日付、時間を選択した後、バックアップボタンを押してください。その後、下記のようなメッセージが表示されます。



「YES」を選択後、エクスポートがはじまります。

※パスワード保護の設定を入れている場合は、ここでパスワードを入力する画面が表示されます。

“録画映像をエクスポートしました”というダイアログが表示されると、エクスポート完了です。

※エクスポートファイルの再生方法は、3.2.7「エクスポートしたファイルの再生」をご参照ください。

4.3.6 ブックマーク機能

ブックマークを使用すると、検索を行った日時範囲を保存して、あとからイベント検索より再生が行える機能です。

※P.94 参照

5.0 設定

注意：設定ページを表示してから待機時間が 10 分を経過すると、セキュリティのために自動的にログアウトします。

5.1 カメラ設定

▼ カメラ

> カメラ設定

> 映像設定

> カメラの状態

5.1.1 カメラ設定

手動または UPnP/Onvif 検索でカメラを NVR に登録します。

1.カメラ設定

カメラ設定

手動で IP アドレスを入力し、メーカー名を選択します。その後、「適用」をクリックしてカメラを登録してください。

カメラ名（任意）、ユーザー名、パスワードを入力してください。

※カメラのユーザー名、パスワードは管理者のものを使用してください
(カメラによっては、自動的にユーザー名、パスワードにデフォルト値が入力されるものもあります)。

※ID とパスワードは 1 文字から 32 文字の間で入力してください。

カメラ設定

通常設定モード ▾

カメラNo.	9 ▾	カメラ登録時の設定	<input checked="" type="radio"/> NVRによる初期値設定 <input type="radio"/> カメラの設定を取得
カメラ名	カメラ 9	ポート	80
IPアドレス	192.168.11.1 ①	型番	
メーカー	Auto ▾	パスワード	*****
ユーザー名	admin ②	RTSP port	
Generic URL		Stream2 RTSP port	
Stream2 Generic URL			
録画実行	<input checked="" type="checkbox"/> このカメラで録画を行う		
ビデオオーバー	<input type="checkbox"/> 有効 1CH ▾	Immersion SDK デフォルト	<input type="checkbox"/> 有効 ASBTRT-H.Q.O ▾

注) ストリームの自動判別時、ライブビュー画面は12分割以下はストリーム1を使用し、16分割以上はストリーム2を使用します。(※ただし、1ストリームのカメラの場合は、すべての表示においてストリーム1を使用します)

注) カメラ登録については必ずカメラリストを確認した上で登録をしてください。対応していないカメラも表示されますのでご注意ください。

UPnP検索 ONVIF検索 VB検索 適用 ③

リスト

再適用 削除

No.	カメラ名	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	追加されました (0%) 全て ▾
1	カメラ 1	192.168.0.123	80	Toshiba	CI8001-D	<input type="checkbox"/>
2	カメラ 2	192.168.0.125	80	Toshiba	CI8101-D	<input type="checkbox"/>
3	カメラ 3	192.168.0.39	80	AXIS	M3047-P	<input type="checkbox"/>
4	カメラ 4	192.168.0.124	80	Toshiba	CI8601-D	<input type="checkbox"/>
5	カメラ 5	192.168.0.90	80	HikVision	DS-2DE4220-AE	<input type="checkbox"/>
6	カメラ 6	192.168.0.40	80	AXIS	M3048-P	<input type="checkbox"/>
7	カメラ 7	192.168.0.138	80	Sony	SNC-XM632	<input type="checkbox"/>
8			80			<input type="checkbox"/>
9	カメラ 9	192.168.0.206	80	Canon	VB-S805D	<input type="checkbox"/>

登録が完了すると、リストにカメラ名、IP アドレス、ポート番号、メーカー名、機種名が表示されます。

カメラの登録が完了したら、「適用」をクリックしてください。

また、カメラリスト右のチェックボックスにチェックを入れ、「削除」ボタンをクリックすることで、NVR からカメラの登録の削除を行えます。

2. 事前設定モード

事前設定モードを使用することにより、前もってカメラの概要設定を行うことが可能です。

カメラ設定

カメラ設定 - 事前設定モード

カメラ名: 12 12

カメラID: 12

IPアドレス: 192.168.162

ポート: 80

メーカー: Auto

ユーザー名: admin

パスワード: *****

Camera URL: http://192.168.162:80/cam1.cgi

Stream 1 URL: http://192.168.162:80/cam1.cgi

Stream 2 URL: http://192.168.162:80/cam2.cgi

録画設定: ☒ このカメラで録画を行う ☐ 録画しない

録画形式: H.264

録画圧縮: GBR、25FPS

録画圧縮: H.264、25FPS

注) ストリームの自動判別時、ライブビュー画面は12分以下はストリーム1を使用し、18分以下はストリーム2を使用します。(ただし、1ストリームのカメラの場合は、すべての表示においてストリーム1を使用します)

注) カメラ登録については必ずカメラリストを確認した上で登録をしてください。対応していないカメラも表示されますのでご注意ください。

保存

右上の「事前設定モード」を選択すると、画面が青になり、事前設定モードへ移行します。

=使用方法

- (1) カメラ情報を入力してください。
カメラ名、IP アドレス、ポート、メーカー名、ユーザー名、パスワードを入力してください。
- (2) 「適用」ボタンを押してください。
- (3) 適用されると、リスト上に赤字で、事前登録されたカメラが表示されます。

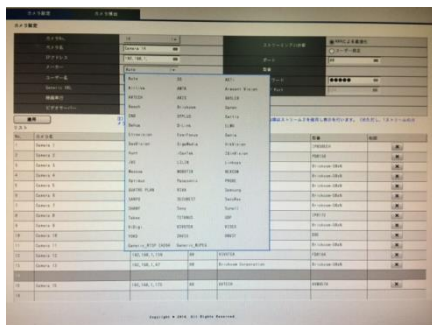
=現地で行う作業

- (1) カメラと接続できる環境に DIGISTOR を設置してください
- (2) カメラリストよりカメラを選択し、「再適用」ボタンを押してください。

※カメラの登録作業にはしばらく時間がかかります。完了後、映像設定にてカメラの録画フレーム等の設定を行ってください。

●Generic RTSP/ Generic M-JPEG

DIGISTOR は、正式対応していないカメラであっても、RTSP/ M-JPEG のストリーミングを取得するための URL がわかれば、Generic 登録できます。取得したストリーミングはライブ表示、録画に用いられます（※あくまでテスト用の機能です）。



Generic URL の欄に、URL を入力してください。RTSP を使用する時は RTSP ポートの欄も入力する必要があります。



「適用」をクリックすると、設定が反映されます。

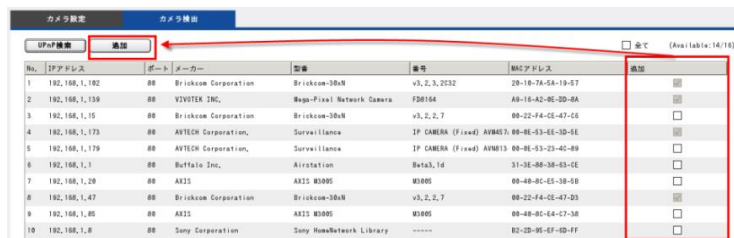
詳細は営業担当にお問い合わせください。

3.UPnP/Onvif 検索

「UPnP/Onvif 検索」をクリックすると、同一サブネット上のカメラを検索します。検索できるのは UPnP/Onvif 機能を持つカメラだけです。一部のカメラ（Panasonic iPro など）は起動後、一定時間のみ UPnP で検索できます。



検索中の画面です。しばらくお待ちください。



登録可能なカメラが一覧表示されます。

リストから「追加」をクリックして、必要なカメラを追加してください。



登録したカメラはカメラ名、IP アドレス、ユーザー名、パスワード、ポート、メーカー名、機種名が表示されます。

「適用」をクリックしてカメラを登録します。

注意：カメラ名、ユーザー名、パスワードは変更できます。ユーザー名とパスワードは初期値が表示されますが、変更すると NVR 側はそれを初期値として登録します。

登録が終わったら「次へ」をクリックします。

4.VB 検索（※特定の Canon 製カメラのみ）

VB 検索をクリックすると、カメラが検索されリストとして表示されます。

※Canon 製カメラとの組み合わせで使用できる初期設定検索となります。

※使用できるカメラ等の内容は弊社 HP にてご確認ください。検索を実行できても設定できないカメラもあります。

カメラ設定

カメラ設定

カメラNo. 9	カメラ名 カメラ 9	ストリーミングの状態	<input checked="" type="radio"/> NVRによる最適化 <input type="radio"/> ユーザー指定
IPアドレス 192.168.0.	ポート 80	型番	
メーカー Auto	パスワード *****	RTSP port	
ユーザー名 admin	Stream2 RTSP port		
Generic URL			
Stream2 Generic URL			
自動実行 <input checked="" type="checkbox"/> このカメラで録画を行う			
ビデオオーバー <input type="checkbox"/> 有効 1CH	Immovision SDKデフォルト	<input type="checkbox"/> 有効 ASSTR-H.Q.O.	

注）ライブビューにおいて単画面から16分割はストリーム1を使用し、16分割以降はストリーム2を使用し表示を行います。（※ただし、1ストリームのカメラの場合は、すべての表示にてストリーム1を使用します。）

注）カメラリストを参照してください。

UPnP検索 ONVIF検索 **VB検索** 適用

①登録を行いたいカメラを選択します。

カメラ設定

The screenshot shows the 'カメラ設定' (Camera Settings) page. The 'すべてのカメラの追加' (Add all cameras) button is highlighted with a red dashed box. The 'カメラ設定へ' (Go to camera settings) button is also visible. The page includes fields for camera name, IP address, port, user name, and password, as well as checkboxes for 'このカメラで検索を行う' (Search with this camera) and 'ABTRT-H.Q.O.'.

②カメラ名、IP アドレス、ユーザー名を任意で入力してください。

カメラ設定

The screenshot shows the 'カメラ設定' (Camera Settings) page. The '追加' (Add) button is highlighted with a red dashed box. Below the button is a table with columns: No., IPアドレス, ポート, メーカー, 型番, 番号, MAC, and 追加されました。(秒) (Added). The table contains one entry for a Canon camera.

No.	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	番号	MAC	追加されました。(秒)
1	192.168.0.20	80	Canon	VB-S910F	Canon_VB-S910F	---	<input type="checkbox"/>

③「すべてのカメラの追加」ボタンを押すと、設定を開始します。
カメラの登録にはしばらく時間がかかります。

※ローカルネットワークのみで使用できる機能です。

※カメラは初期状態である必要があります。

※ネットワーク設定内にある DHCP の機能を使用すると、より簡単に設定することが可能です。

5.1.2 映像設定

映像設定

カメラNo. 1

カメラ名 IOA-N-C5820

ストリーム1

録画

圧縮方式

MPEG4 H264 MJPEG H265

解像度

1280x720

フレームレート

30fps

画質

VBR CBR

音声

映像設定用スナップショット

ストリーム2

録画

有効

圧縮方式

MPEG4 H264 MJPEG H265

解像度

1280x720

フレームレート

15fps

画質

VBR CBR

音声

注）ストリームの自動判別時、ライブビュー画面は12分割以下はストリーム1を使用し、16分割以上はストリーム2を使用します。（※ただし、1ストリームのカメラの場合は、すべての表示においてストリーム1を使用します）

適用

リセット

メニューの中の「映像設定」を選択してください。

カメラがマルチ・ストリームに対応している場合、NVR は 2 本のストリームを取得できます。ストリーム 1 は録画用（※1～12 分割表示に使用するライブ映像用）、ストリーム 2 は 16 分割以上のライブ映像を表示するために使い、通常は低画質設定を行います。それぞれ最適な解像度、フレームレート、画質を設定してください。

リスト					
No.	カメラ名	IPアドレス	メーカー	型番	カメラへのリンク
1	Brickcom360	192.168.0.80	Brickcom Corporation	Brickcom-360N-360	ブラウズで開く
2	BB-HCM580	192.168.0.201	Panasonic	BB-HCM580	ブラウズで開く
3	BB-HCM715	192.168.0.73	Panasonic	BB-HCM715	ブラウズで開く
4	BB-HCM735	192.168.0.253	Panasonic	BB-HCM735	ブラウズで開く
5	Camera 5	192.168.0.70	Takex	NcC-130P	ブラウズで開く
6	Camera 6	192.168.0.81	Takex	NBC-130P	ブラウズで開く
7	3300	192.168.0.143	SANYO	VCC-HD3500	ブラウズで開く
8	3300	192.168.0.105	SANYO	VCC-HD3300	ブラウズで開く
9	2500	192.168.0.144	SANYO	VCC-HD2500	ブラウズで開く
10	take3	192.168.0.82	Takex	NBC-130	ブラウズで開く
11	2300	192.168.0.105	SANYO	VCC-HD2300	ブラウズで開く
12	test	192.168.0.135	KenTek	test360P4	ブラウズで開く
13	take4	192.168.0.79	Takex	NcC-130P	ブラウズで開く
14					ブラウズで開く
15					ブラウズで開く
16					ブラウズで開く

映像設定を行う時は、先に下段にあるカメラリストから、設定したいカメラを選択してください。上段に設定情報が読み込まれます。

●映像形式

ライブ映像表示／録画で使用する映像形式を選択してください。

注意：選択可能な形式は機種によって異なります。

●フレームレート

ライブ映像表示／録画時のフレームレートを選択してください。実際に表示／録画できるフレームレートはネットワークの環境に依存します。

●解像度

ライブ映像表示／録画で使用する解像度を選択してください。

●画質

VBR（流動的なビットレート）か CBR（固定的なビットレート）を選択し、画質を選んでください。

●音声

音声機能を使用する際はチェックを入れてください。

「カメラの設定」ページから、カメラの設定ページへ移動することができます。

5.1.3 カメラの状態

「カメラの状態」をクリックすると、NVR に登録しているカメラのステータスを確認できます。

No.	カメラ名	IPアドレス	接続状態	接続方式	フレームレート(Fps)	ビットレート(Kbps)	映像形式	解像度	画質	音声
1	AXIS P1425-E	192.168.0.201	接続中	RTSP	15 Fps	2142.5 Kbps	H264	1280/720	—	—
2	AXIS M6605	192.168.0.202	接続中	RTSP	15 Fps	2376.4 Kbps	H264	1280/720	—	—
3	AXIS P1347-P	192.168.0.203	接続中	RTSP	6 Fps	2595.4 Kbps	H264	720/720	—	—
4	Canon VB-600P	192.168.0.204	接続中	RTSP	15 Fps	3139.4 Kbps	H264	1280/720	—	—
5	AXIS M1166-L	192.168.0.205	接続中	RTSP	10 Fps	2344.7 Kbps	H264	1280/720	—	—

接続状態が「接続しました」は、カメラと NVR が正常に接続できている状態、「接続不良」は何らかの理由で接続できていない状態です。ただし、イベント録画でイベントが発生していない時やスケジュールされていない時間帯は録画状態が「停止」状態になります。

※ストリーミングサーバー等を使用し、再配信されている場合は、「デバイス経由で」カメラの IP アドレスが記載されます。

5.2 録画とイベント

5.2.1 録画モード

録画モードには「録画なし」「スケジュール録画とイベント録画」「常時録画」の3タイプあります。

録画モード

録画モード	録画のスケジュール	スナップショットのスケジュール	イベントスマート録画	
録画グループ				
録画モード				
録画モード	<input type="radio"/> 録画なし			
	<input checked="" type="radio"/> スケジュール録画とイベント録画（録画のスケジュール/イベントと動作）			
	<input type="radio"/> 常時録画 <input checked="" type="checkbox"/> すべて			
	<input checked="" type="checkbox"/> Vivo edge	<input checked="" type="checkbox"/> XM632RTSP64iframetest	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 3	<input checked="" type="checkbox"/> sonyテスト 2
	<input checked="" type="checkbox"/> 31D	<input checked="" type="checkbox"/> M620VE	<input checked="" type="checkbox"/> H630VE	<input checked="" type="checkbox"/> S805D
	<input checked="" type="checkbox"/> Camera 9	<input checked="" type="checkbox"/> 応接魚眼	<input checked="" type="checkbox"/> Camera 1	<input checked="" type="checkbox"/> M42
	<input checked="" type="checkbox"/> S905F	<input checked="" type="checkbox"/> 905test2	<input checked="" type="checkbox"/> 905test4	<input checked="" type="checkbox"/> 905test5
	<input checked="" type="checkbox"/> 905test6	<input checked="" type="checkbox"/> 311	<input checked="" type="checkbox"/> 905test7	<input checked="" type="checkbox"/> 905test8
	<input checked="" type="checkbox"/> 905test9	<input checked="" type="checkbox"/> 905test10	<input checked="" type="checkbox"/> 905test11	<input checked="" type="checkbox"/> 905test12
	<input checked="" type="checkbox"/> AXIS M1054	<input checked="" type="checkbox"/> FD8169A	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 27	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 28
	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 29	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 30	<input checked="" type="checkbox"/> Camera 31	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 32
	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 33	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 34	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 35	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 36
	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 37	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 38	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 39	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 40
	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 41	<input checked="" type="checkbox"/> PanasonicEx	<input checked="" type="checkbox"/> Vivo9165	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 44
	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 45	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 46	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 47	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 48
<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 49				
マニュアル録画	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ画面でマニュアル録画機能を有効にする			
映像形式	<input checked="" type="radio"/> 独自フォーマットで録画ファイルを生成(NVRのplayerとコーデックが必要です。) <input type="radio"/> 汎用のAVIフォーマットで録画ファイルを生成(別途コーデックは必要ありません。) 注意 ※デフォルトは独自フォーマットです。			
HDD上書き設定	<input checked="" type="radio"/> 使用率 90 % (最大:95 最小:20)			
映像保存日数	<input type="radio"/> 上書き期間 400 日			

注意: 映像保存日数を設定するとNVRの時間を起点にX日間の期間で上書きを行います。※スケジュールで録画が存在しない場合も、その日数に含まれますのでご注意ください。また、万が一、容量が足りない場合は、総容量の95%での上書き動作を行います。

- **録画なし**：すべてのカメラで録画をしないモードです。
- **スケジュール録画とイベント録画**：決められたスケジュールに従って録画を行うモードです。「録画スケジュール」タブでスケジュールを作成します。
※アラーム録画を行う場合もこちらを選択します。
- **常時録画**：連続的に録画するモードです。

●**マニュアル録画**：ライブ画面でマニュアル録画を使用する場合はチェックを入れます。

●**映像形式**：NVR の録画形式を変更できます。

※デフォルトは独自フォーマットです。

●**HDD 上書き設定**：HDD の使用率が一定の値に達すると古いファイルを削除する方法です。20～90 までの値（%）を設定してください。

例えば「90」を設定した場合、HDD の使用量が 90%に達すると、古いファイルから削除していき、使用率 90%を保つようにします。

（※初期値 90%）

●**映像保存日数**：録画ファイルを保存する日数を決め、その設定した期日が過ぎたファイルを削除していきます。ただし、HDD の容量が足りず、その期日が訪れるまでに HDD の容量が一杯な状態になると、録画が停止する恐れがあるので注意してください。

※この設定を ON にすると録画グループの設定が可能です。

設定が終わったら「適用」をクリックして設定を反映させてください。

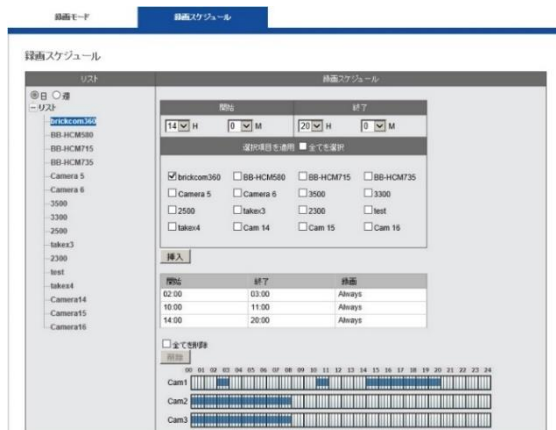
5.2.2 録画スケジュール

録画スケジュールの設定を行います。



1) スケジュールの設定

カメラを選択し、開始時間と終了時間を決めて「挿入」をクリックしてください。



2) スケジュールの削除

削除したいスケジュールのバーをクリックし、「削除」をクリックすると、そのスケジュールが削除されます。

5.2.3 スナップショットのスケジュール

スケジュールスナップショットの設定を行います。

録画モード

録画モード

録画のスケジュール

スナップショットのスケジュール

イベントスマート録画

録画グループ

スナップショットのスケジュール

スナップショット保存日数

上書き期間: 30 日 (1-999)

スケジュールNo.

3

開始時間

終了時間

間隔

0 H 0 M

8 H 0 M

1 Min

適用するカメラを指定 ■ すべてを選択

☐ 1. Vivo edge
 ☐ 2. XM632RTSP64IframeTest
 ☐ 3. カメラ 3
 ☐ 4. sonyテスト 2

☐ 5. 31D
 ☐ 6. M620VE
 ☐ 7. H630VE
 ☐ 8. S805D

☐ 9. Camera 9
 ☐ 10. 応接魚眼
 ☐ 11. Camera 1
 ☐ 12. M42

☐ 13. S905F
 ☐ 14. 905test2
 ☐ 15. 905test4
 ☐ 16. 905test5

☐ 17. 905test6
 ☐ 18. 311
 ☐ 19. 905test7
 ☐ 20. 905test8

☐ 21. 905test9
 ☐ 22. 905test10
 ☐ 23. 905test11
 ☐ 24. 905test12

☐ 25. AXIS M1054
 ☐ 26. FD8169A
 ☐ 27. カメラ 27
 ☐ 28. カメラ 28

☐ 29. カメラ 29
 ☐ 30. カメラ 30
 ☐ 31. Camera 31
 ☐ 32. カメラ 32

☐ 33. カメラ 33
 ☐ 34. カメラ 34
 ☐ 35. カメラ 35
 ☐ 36. カメラ 36

☐ 37. カメラ 37
 ☐ 38. カメラ 38
 ☐ 39. カメラ 39
 ☐ 40. カメラ 40

☐ 41. カメラ 41
 ☐ 42. PanasonicEx
 ☐ 43. Vivo9165
 ☐ 44. カメラ 44

☐ 45. カメラ 45
 ☐ 46. カメラ 46
 ☐ 47. カメラ 47
 ☐ 48. カメラ 48

☐ 49. カメラ 49

適用

スナップショットの保存日数：上書きの周期を入力します。

※スケジュールごとでの保存日数の変更はできません。

スケジュールNo.：最大 20 個までのスケジュールが入力できます。

開始時間、終了時間、間隔（※スナップショット取得間隔）を入力してください。

※スナップショットの取得間隔は、10、12、15、30 秒ごと、1、2、3、4、5、6、12、15、30、60、120 分ごとになります。

※スナップショットの保存先は、¥¥(NVRIP)内の「Snapshot」フォルダになります。

※常時録画の設定が行われているカメラで使用できます。

リスト

削除

No.	開始時間	終了時間	間隔	カメラNo.	追加したいカメラ(0/2) すべて <input type="checkbox"/>
1	00:00	00:00	10 sec	2	<input type="checkbox"/>
2	00:00	00:00	10 sec	3	<input type="checkbox"/>
3					<input type="checkbox"/>
4					<input type="checkbox"/>
5					<input type="checkbox"/>
6					<input type="checkbox"/>
7					<input type="checkbox"/>
8					<input type="checkbox"/>
9					<input type="checkbox"/>
10					<input type="checkbox"/>
11					<input type="checkbox"/>
12					<input type="checkbox"/>
13					<input type="checkbox"/>
14					<input type="checkbox"/>
15					<input type="checkbox"/>
16					<input type="checkbox"/>
17					<input type="checkbox"/>
18					<input type="checkbox"/>
19					<input type="checkbox"/>
20					<input type="checkbox"/>

注意：

1. スナップショットのスケジュールを利用するのは、カメラを常時録画にしてください。
2. スナップショットの保存容量は合計容量の10%までです。
3. スナップショットのスケジュールを利用するのは、カメラのI-frameを1秒にしてください。
4. スナップショットの保存先はSambaのSnapshotフォルダーです。

5.2.4 イベントスマート録画

イベントスマート録画の設定を行います。

録画モード

録画モード

録画のスケジュール

スナップショットのスケジュール

イベントスマート録画

録画グループ

イベントスマート録画

カメラの選択
■ すべて

☐ Vivo edge
☐ 31D
☐ Camera 9
☐ S905F
☐ 905test6
☐ 905test9
☐ AXIS M1054
☐ カメラ 29
☐ カメラ 33
☐ カメラ 37
☐ カメラ 41
☐ カメラ 45
☐ カメラ 49

☐ XM632RTSP64Iframetest
☐ IM620VE
☐ 応接魚眼
☐ 905test2
☐ 311
☐ 905test10
☐ FD8169A
☐ カメラ 30
☐ カメラ 34
☐ カメラ 38
☐ PanasonicEx
☐ カメラ 46

☐ カメラ 3
☐ H630VE
☐ Camera 1
☐ 905test4
☐ 905test7
☐ 905test11
☐ カメラ 27
☐ Camera 31
☐ カメラ 35
☐ カメラ 39
☐ Vivo9165
☐ カメラ 47

☐ sonyテスト 2
☐ S805D
☐ M42
☐ 905test5
☐ 905test8
☐ 905test12
☐ カメラ 28
☐ カメラ 32
☐ カメラ 36
☐ カメラ 40
☐ カメラ 44
☐ カメラ 48

注意: イベントスマート録画:

- スマート録画機能とは、通常は低解像度で録画し、イベントが入ると設定された高解像度で録画をする機能です。
- スマート録画を使用するには、H.264もしくはH.265をサポートかつ、異なる2本のストリームを使用できるカメラを使用する必要があります。
- 同時に3つ以上のストリームを配信できるカメラを使用して下さい。
- カメラを選択し、「イベント録画」にてイベント設定を行ってください。(イベントと動作)
- 設定するとこの機能が使用できます。

適用

リセット

5.2.5 録画グループ

録画グループの「選択保存日数」を選択した後、その日数で保存したいカメラを選択し、カメラごとに保存日数を変更できる機能です。



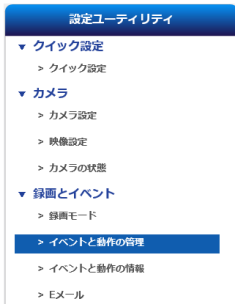
録画グループの設定を行います。

※映像保存日数での録画を選択した場合のみ使用できます。

注意：想定録画容量を超えた場合は、上記のように赤文字になります。

5.2.6 イベントと動作の管理

イベントと動作の機能を使用すると、下記イベント内容に対してポップアップ通知を行ったり、動体検知時に録画を開始するなどの機能が使用できます。



1) イベントと動作



画面左側よりイベントを選択し、右上の「追加」をクリックして設定を行ってください。トリガーイベントと動作の内容は、下記の通りです。

=カメラのイベント=

1.接続不良

カメラとの接続が途切れた時、設定した動作を行います。

2.モーション検知

カメラがモーションを検知した時、設定した動作を行います。

3.FPS 通知

指定した FPS の値を下回った場合、イベントを発生させることができます。

4.音声検知（※対応 AXIS カメラのみ）

音声を検知した際、設定した動作を行います。

5.IO 入力

カメラのデジタル入力に信号が入ると、設定した動作を行います。

6.コールボタン（※アイホン製 IX-DA・EA のみ）

ドアホンのコールボタンを押下した際に設定した動作を行います。

=NVR のイベント=

1.接続不良

NVR がネットワーク接続を失うと、設定した動作を行います。

2.録画エラー

NVR が録画（※書き込み）に失敗すると、設定した動作を行います。

3.UPS の警告（※対応 UPS のみ）

UPS の容量が設定値を下回ると、設定した動作を行います。

4.HDD の容量不足通知

HDD の容量が設定値を下回ると、設定した動作を行います。

5.異常シャットダウン

異常シャットダウンのログが確認されると、設定した動作を行います。

6.DigitalInput（※対応機種のみ）

NVR 側の IO 入力が入った際、設定した動作を行います。

=ハードウェアのイベント=

1.CPU 温度警告（CPU Temperature Warning）

CPU の温度が規定値を超えると、この動作を行います。

2.CPU ファン警告（CPU Fan Warning）

CPU ファンに異常があると、この動作を行います。

3.システムのファン警告（System Fan Warning）

システムのファンに異常があると、この動作を行います。

4.HDD エラー警告

HDD の SMART 警告が発生した場合、この動作を行います。

5.HDD Failed

HDD が故障し使用できなくなった場合、この動作を行います。

6.低バッテリー警告

7.eSATA の接続不良

8.RAID デグレード

RAID が格下げの状態になった場合、この動作を行います。

9.RAID 障害

RAID 障害が発生した場合、この動作を行います。

10.RAID の構築中

RAID 構成中にこの動作を行います。

- ①新しく HDD を入れた際
 - ②RAID の構成が終了した際
 - ③RAID の再構成が停止した場合
- に動作を行います。

11.外部イベント (HTTP-in)

外部の機器から NVR に対して HTTP-in CGI command が送信されると、設定した動作を行います。全部で 5 種類の CGI command とそれに対応する動作を設定できます。

HTTP-in CGI command は次のように記述します：

`http://<NVR_IP>/login.cgi/cgi_main.cgi?cgiName=event_ipc.cgi
&eventName=Defined_<int>`

<NVR_IP>は、外部機器が NVR にアクセスできる IP アドレスです。

<int>は、外部イベントの番号（1-5）です。

例：

`http://192.168.1.245/login.cgi/cgi_main.cgi?cgiName=event_ip
c.cgi&eventName=Defined_3`

※外部イベントは 32 個まで作成できます。※ver69 より

最後に「適用」をクリックして設定を保存します。

=動作=

●イベント録画

イベント録画とビデオ・クリップの2種類があります。

イベント録画：イベントが発生すると5分間の映像を記録します。イベントが継続的に発生するとその間、録画も継続されます。

ビデオ・クリップ：Eメールでビデオ・クリップを送信します。詳細設定で、イベント発生前後に記録する時間（秒数）を設定できます。

設定するカメラを選択したら「適用」をクリックします。

イベント録画設定

イベント録画							
<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効							
ビデオクリップ	注意: Eメールでビデオクリップを送信する時は、録画とイベント>Eメールで受信者を設定します。						
	<table border="1"><thead><tr><th>選択</th><th>受信者名</th><th>Eメール</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="3"><div>件名 DS-4205test - モーション検知 - カメラ 1 (最大数: 64文字)</div><div>メッセージ test1 (最大数: 127文字)</div></td></tr></tbody></table>	選択	受信者名	Eメール	<div>件名 DS-4205test - モーション検知 - カメラ 1 (最大数: 64文字)</div> <div>メッセージ test1 (最大数: 127文字)</div>		
選択	受信者名	Eメール					
<div>件名 DS-4205test - モーション検知 - カメラ 1 (最大数: 64文字)</div> <div>メッセージ test1 (最大数: 127文字)</div>							

●Eメールを送る

「Eメールを送る」を選択すると、Eメールの受信者を設定する画面がポップアップします。まだ受信者の設定を行っていない時は、「録画とイベント > Eメール」で設定します。

「スナップショットを添付」にチェックを入れていたら、イベント発生時にスナップショットを撮影してメールに添付します。

注意: カメラが接続不良の時は正常にスナップショットを撮影できないことがあります。

最後に「適用」をクリックして設定を登録します。

Eメール送信は 20 秒間隔で行われます。例えば 1 分間イベントが続いたとしたら、メールは 3 通送信されることになります。

●本体 IO 出力（※対応機種のみ）

デジタル出力を選択すると、「デジタル出力」設定ウインドウが表示されます。

ブザーは、60 秒間鳴らすことができます。

注意：NVR 正面の USB バックアップ・ボタンを 1 秒間押せばブザーを止めることができます。

デジタル出力 1 とデジタル出力 2 は最長 60 秒間有効になります。適用するカメラを選択してください。

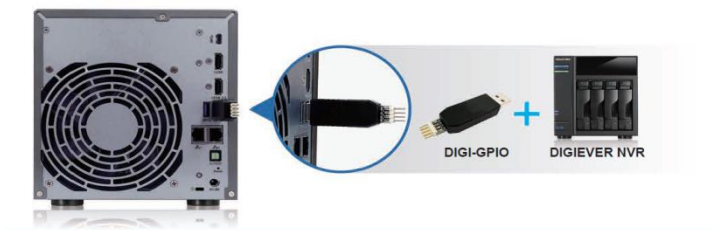
接点出力設定

ブザー		<input type="checkbox"/> 有効 / 時間: 60 秒		
Digital Output1 有効		<input type="checkbox"/> 有効 / 時間: 継続 秒		
Digital Output2 有効		<input type="checkbox"/> 有効 / 時間: 継続 秒		
適用するカメラを指定 <input type="checkbox"/> 全て	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 1	<input type="checkbox"/> カメラ 2	<input type="checkbox"/> カメラ 3	<input type="checkbox"/> カメラ 4
	<input type="checkbox"/> カメラ 5	<input type="checkbox"/> カメラ 6	<input type="checkbox"/> カメラ 7	<input type="checkbox"/> カメラ 8
	<input type="checkbox"/> カメラ 9			
	注意: 指定したカメラにこのオプションが設定されます。			
<input type="button" value="OK"/>				

●USB I/O 出力（※対応機種のみ ※別途オプション）

別途オプションで、USB I/O をご購入いただくと、本体背面 USB ポートに差し込むことで本体での I/O 入出力機能が使用できます。

※オープンコレクタ出力



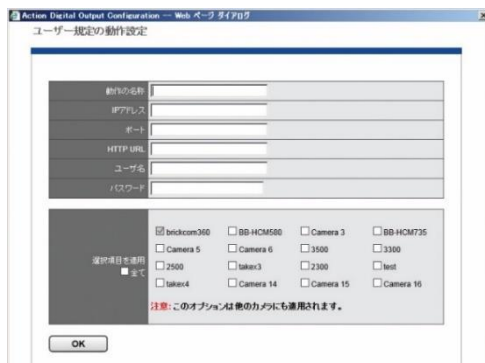
- ①USB I/O の接続状態を確認してください
- ②それぞれの I/O 入出力の設定が可能です。
- ③上記の写真は、HDD 故障時に I/O の出力を行う設定例です。
- ④詳細の設定で、どの出力を動作させるか選択してください。

■継続/3 秒/10 秒/20 秒/30 秒/60 秒の設定が可能です。

継続選択時の出力を OFF にするには、本体のシステムメニューより
→ブザー→OFF を行い、出力のリセットを行ってください。

●ユーザー規定の動作

イベントがトリガーされた時、HTTP command をネットワーク機器に送信するよう設定できます。送信先となる機器の IP アドレスとポート番号、送信する HTTP command を「HTTP URL」に入力してください。また、その機器にログインする際に必要になるユーザー名とパスワードも入力してください。



●SMS

本機能は日本国内の SMS には対応していません。

●カメラプリセットポイント

PTZプリセット設定

PTZカメラがありません。	<input type="radio"/> カメラ 1	<input type="radio"/> カメラ 2	<input type="radio"/> カメラ 3	<input type="radio"/> カメラ 4
	<input type="radio"/> カメラ 5	<input type="radio"/> カメラ 6	<input type="radio"/> カメラ 7	<input type="radio"/> カメラ 8
	<input type="radio"/> カメラ 9			
カメラプリセットポイント	▼	追加	削除	全てを削除

OK

※カメラプリセット数は同時に 3 点まで指定可能です。

●カメラの IO 出力（※対応機種のみ）

●パトライト

パトライト製ネットワークパトライトを使用することで、NVR のハードウェアのエラーなどをわかりやすく表示できます。

パトライト

機器設定

機器番号	1	IPアドレス	rodweb.dip.
機器名称	Device 1	ポート	80
		パスワード	

適用

機器リスト

No.	機器名称	IPアドレス	ポート	全て
1			80	<input type="checkbox"/>
2			80	<input type="checkbox"/>
3			80	<input type="checkbox"/>
4			80	<input type="checkbox"/>

Delete

上記設定を入力し、ネットワークパトライトを NVR に登録してください。登録後にハードウェアのイベントにて設定を行うと、詳細な設定が可能です。

パトライト設定

パトライト動作 ☐赤 ☐黄 ☐緑 ☐ブザー

パトライト ☐デバイス 1 ☐デバイス 2 ☐デバイス 3 ☐デバイス 4

適用するカメラを指定 ☐カメラ 1 ☐カメラ 2 ☐カメラ 3 ☐カメラ 4
☐Camera 5

注意: 指定したカメラにこのオプションが設定されます。

注意: 設定画面へいってください。

OK

※イベントの解除は、パトライト本体のボタンを押して手動でキャンセルしてください。

●ネットワークスピーカー（※対応機種：Axis C3003-E のみ）

対応しているネットワークスピーカーであれば、イベント発生時に録音されている音声を鳴らすことができます（※ネットワークスピーカーをカメラとして登録する必要があります）。

ネットワークスピーカー動作設定

スピーカー	<input type="radio"/> カメラ 1	<input type="radio"/> カメラ 2	<input type="radio"/> カメラ 3	<input type="radio"/> カメラ 4
	<input type="radio"/> カメラ 5	<input type="radio"/> カメラ 6	<input type="radio"/> カメラ 7	<input type="radio"/> カメラ 8
	<input type="radio"/> カメラ 9			

音声ファイルリスト
<div><div>▼</div><div>追加</div><div>削除</div><div>全てを削除</div></div> <div></div>

OK

●ライブ映像での通知

NVR やカメラの外部 IO 等と連動し、選択したカメラの強調表示、及びポップアップ表示と連動させることができる機能です。

※**注意**：もし、強調表示やポップアップさせたくないカメラがある場合は、この設定で☑を入れず、☐のままにしてください。

※Ver70-3.1 からの機能です。

5.2.8 イベントと動作の情報

イベントと動作の情報をクリックすると、設定されたイベントの情報及び設定可能なイベント、動作情報の一覧が表示されます。

▼ 録画とイベント

- > 録画モード
- > イベントと動作の管理

> イベントと動作の情報

- > Eメール

5.2.9 Eメール

「録画とイベント」の「Eメール」を選択してEメールに関する設定を行います。

▼ 録画とイベント

- > 録画モード
- > イベントと動作の管理

> Eメール

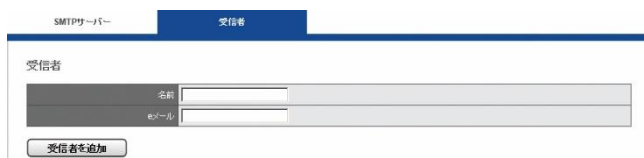
SMTP サーバー

- **サーバー・アドレス** : SMTP サーバーのアドレスを入力します。
- **送信者** : 送信者の E メール・アドレスを入力します。
- **件名と本文** : メールの件名と通知文面を入力します。
- **認証** : お使いになる SMTP サーバーに応じた認証形式を選択してください。
- **ユーザー名とパスワード** : SMTP サーバーで使用する情報を入力します。

「適用」をクリックして完了するか、「テスト・メールを送信」をクリックして設定が有効かどうかを確認してください。

受信者

「受信者」タブをクリックして E メールを受信するアドレスを追加します。



「名前」と対応する「E メール」を入力して「受信者を追加」をクリックしてください。追加すると「受信者リスト」に名前とアドレスが表示されます。

「適用」をクリックして設定を保存します。

※使用しているメールサーバーによってはセキュリティの関係でこの機能が使用できない場合があります。

5.3 ディスク管理

5.3.1 ディスク管理

「ディスク管理」メニューの「ディスク管理」を選択してください。

- ▼ ディスク管理
 - > ディスク管理
 - > ストレージ管理
 - > ファイル共有サービス

ディスク情報

下記画面にて、HDD の状態の確認ができます。また、HDD 稼働時間によりライブ画面上でのポップアップを行いたい場合は、右下の閾値より時間の設定を行ってください。

The screenshot shows the 'ディスク管理' (Disk Management) interface. On the left, under 'RAIDリスト' (RAID List), 'RAID 1 [linear, 465.76 GB]' is expanded, showing 'HDD1' and 'DIGIARRAY 1 [raid5, 3725.93 GB, eSATA-1]'. On the right, 'RAID詳細' (RAID Details) for RAID 1 is displayed:

RAID詳細	
プロットナンバー	1
名前	MD0 WDS000ADYX-0TWERA1
シリアル番号	WDC-HMAYPS139904
容量	465.76 GB
状態	正常完了
SMART 設定	有効
SMART 状態	正常
消費時間合計	7334
起動回数合計	88
ユーティリティ	データの削除

●フォーマット

フォーマットを選択するとすべての録画データが消去されます。

※フォーマットを行うには、録画の停止を行う必要があります。

The screenshot shows the 'ディスク管理' (Disk Management) interface. On the left, under 'RAID管理' (RAID Management), 'RAID A' is selected. On the right, 'RAID詳細' (RAID Details) for RAID A is displayed:

RAID詳細					
RAID名	RAIDタイプ	容量	状態	RAID Aの状況	
RAID A	ビックドライブリニア	931.51 GB	動作中	ボリュームは使用されていません。	

注意: ボリュームの状態とは、RAIDがストレージボリュームグループでの使用状態を示します。使用中の場合は、操作できません。

削除 フォーマット

5.3.2 ストレージ管理

「ディスク管理」メニューの「ストレージ管理」を選択してください。

- ▼ ディスク管理
 - > ディスク管理
 - > **ストレージ管理**
 - > ファイル共有サービス

ストレージボリュームでは、ディスク・ボリュームの容量、使用している容量、HDD の状態などが表示されます。

ストレージ管理

ストレージボリューム	ボリュームの追加	ボリュームの削除	フォーマット
ストレージボリュームリスト ④ ストレージボリュームプール [4125.64 GB, 310.65 GB, 8.42%] Volume Main [458.32 GB, NVR 1] Volume 1 [3667.32 GB, DIGIARRAY 1]		ボリューム情報 名前: Volume Main 容量: 458.32 GB 使用容量: 310.57 GB, 71.89% デバイス: NVR 1 状態: マウント済み	

5.3.3 ファイル共有サービス

「ディスク管理」メニューの「ファイル共有サービス」を選択してください。

▼ ディスク管理

> ディスク管理

> ストレージ管理

> ファイル共有サービス

NVR が対応しているファイル共有サービスには「Windows ネットワーク」と「FTP」の二つがあります。

情報			
Windowsネットワーク		FTPサービス	
サービスリスト	状態	動作	リンク
Windowsネットワーク	ON	<input type="button" value="無効"/>	<input type="button" value="リンク"/>
FTPサービス	ON	<input type="button" value="無効"/>	<input type="button" value="リンク"/>

1. 情報

ファイル共有サービスの状態と有効／無効の切り換え、FTP 及び共有フォルダを開くことができます。

2. Windows ネットワーク

サービスの有効／無効の切り換え、コンピューター名の変更などを行えます。

情報		Windowsネットワーク	FTPサービス
Windows設定			
サービス	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効		
コンピューター名	DS-20107Aae767c		
コンピューターの説明	NVR		
ドメインまたはWorkgroup名	Surveillance		
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="リセット"/>			

3.FTP サービス

サービスの有効／無効の切り換え、使用するポートの変更などを行います。

情報	Windowsネットワーク	FTPサービス
----	---------------	---------

FTP設定

サービス	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
コマンド・ポート	<input type="text" value="21"/>	
パッシブ・ポート	<input type="text" value="1024"/>	<input type="text" value="~65535"/>

注意: ポート1234~1362とその他一部のポートはシステムがリザーブしています。

5.4 バックアップ

▼ バックアップ

> バックアップスケジュール

- > USBバックアップ
- > エッジバックアップ
- > バックアップサーバー機能

5.4.1 バックアップスケジュール

DIGIARRAY を使用したバックアップ設定になります。
(※リモートデバイスでのバックアップは開発中です)

バックアップ

デバイス

録画スケジュール

手動設定

☐ ローカルデバイス—
設定

デバイス	DIGIARRAY 1 ▼
空き容量/合計	NaN GB / NaN GB
状態	接続不良

接続する

取り外す

リセット

☒ リモートデバイス—
設定

リモートデバイスのIPアドレス	
リモート先のパス	
空き容量/合計	-
状態	接続不良

ヒント: リモートバックアップを行う際、はじめにリモートデバイスのNFSのパス・フォルダ・権限等の設定を行ってください。

接続

切断

リセット

アーカイブ情報

タスクID	NVR ID	モード	タスクの開始	タスクの停止	状態	データ容量	タスク内容	情報
-------	--------	-----	--------	--------	----	-------	-------	----

1. ローカルデバイスを選択します。
※正常に認識されているか確認してください。

バックアップ

デバイス

スケジュール設定

手動設定

録画データの選択

日 月 火 水 木 金 土

録画データの指定 開始 0 時 0 分 終了 0 時 0 分

カメラの選択

☐すべて
☒TOA N-C5820
☒カメラ5
☐カメラ9
☐VB-C80
☐H43
☒CanonS910S
☒AlghomeXEA
☐HCM715
☐VB-C300
☐カメラ18
☒S1130 pana
☒SC306
☐HCM527
☐BT165
☐HCM531
☒TOA audio test
☒カメラ8
☐カメラ12
☐Vivo 9167
☐Hanuiha AIカメラ

録画タイプ ☒すべて ☐連続 ☐イベント ☐ビデオクリップ

スケジュール

バックアップスケジュール

☐自動バックアップ

開始 1 時 0 分 終了 6 時 0 分

ヒント:

1. 自動バックアップチェック時、「録画データの指定」の終了時間後にバックアップ動作を開始します
2. 手動で開始/終了時刻を選択した場合、バックアップ未完了でも終了時刻にてバックアップ動作を停止します。
3. バックアップ中に、転送先のデバイスの容量が足りなくなった場合、古いデータより上書きを行います。

適用

リセット

バックアップ開始

バックアップ停止

2. バックアップを行いたいカメラと時間帯を入力／選択してください。

「自動バックアップ」にチェックを入れると、その時間帯のデータを自動的にバックアップします。

また、「自動バックアップ」にチェックを入れない場合は、開始時間と終了時間を決定し動作させることができますが、ネットワークの帯域によりバックアップが完全に完了しないことがありますのでご注意ください。

※設定を適用した後、バックアップ開始ボタンを押してタスクを開始してください。

バックアップ

デバイス 録画スケジュール 手動設定

○ すべてのカメラ

※ 設定

ビデオ

バックアップ時間	Start Date: 2017-10-02 12:46	End Date: 2017-10-02 12:46
指定時間	開始: 0 0 0	終了: 0 0 0
カメラの選択	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ 1 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ 2 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ 3 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ 4 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ 5 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ 6 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ 7 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ 8 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ 9	
録画タイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> 連続 <input type="checkbox"/> イベント <input type="checkbox"/> ビデオクリップ	

タスク

バックアップ動作時間	<input checked="" type="checkbox"/> すべてにバックアップを行います 開始: 0 0 0 終了: 0 0 0
------------	--

ヒント: バックアップ中に、バックアップデバイスの容量をオーバーした場合は、一番古いデータから上書きされます。

適用 リセット バックアップ開始 バックアップ停止

手動のタブをクリックして手動モードにすると、バックアップボタンを押した際にこの機能が動作します。

5.4.2 USB バックアップ

1.USB バックアップ

USB ストレージを NVR 本体正面の USB ポートに接続すると、「デバイス情報」に USB ストレージの情報が表示されます。

USB/バックアップ DVDへのバックアップ 詳細設定

デバイス情報

製造情報	Generic Model: Flash Disk Rev: 8.07
容量	3841 MBytes (9枚) 1 MBytes)
状態	準備完了
情報	フォーマット

USB ストレージが「準備完了」になると、USB インジケータは青色で点灯します。バックアップを開始すると、状態が「作業中」となり、「情報」にはコピー中のファイル数が表示されます。

USB ストレージを初期化する時は「フォーマット」ボタンをクリックします。

注意：USB バックアップ・ボタンを有しているのは、DS-21(2)05 UHD シリーズ、DS-41(2)20 UHD シリーズ、DS-16364-RM Pro+シリーズです。

注意: 録画ファイルとともに NVRPlayer と NVRCheck がダウンロードされます。

2.DVD へのバックアップ

USB 接続できる DVD ドライブを NVR に接続し、正常に認識されると、USB インジケータは青色で点灯して「状態」が準備完了になります。



注意: DVD ドライブに対応しているのは DS-21(2)05 UHD、DS-41(2)20 UHD、DS-16364-RM Pro(+)シリーズのみです。

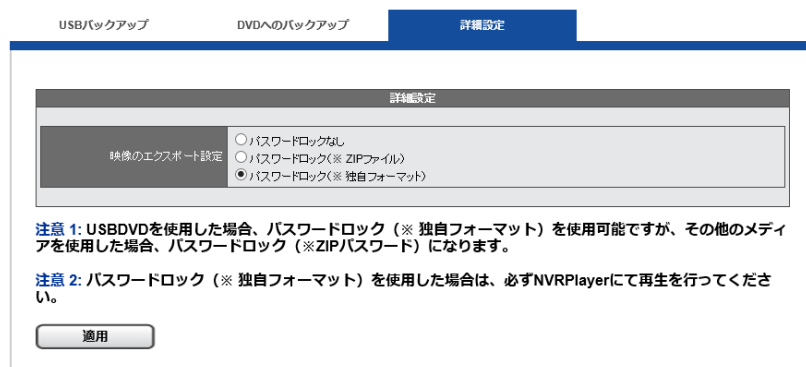
注意: DVD ドライブ内に DVD メディアが挿入されていない時は USB 機器として認識されません。

注意: DVD ドライブに対してバックアップが行われると、録画ファイルとともに NVRPlayer と NVRCheck が DVD にコピーされます。

注意: ロジテック INA ソリューションズ株式会社ポータブル DVD ドライブ「LDR-PMG8U2LBK」で動作確認を行っております。

3.詳細設定

詳細設定



録画ファイルをエクスポートする際、パスワードによる保護を行えます。録画ファイルは設定に基づき、パスワードつき zip ファイルもしくは、独自ファイルにて圧縮されます。

※パスワード独自フォーマットを使用した場合は、NVRPlayer にて再生を行った際にパスワードの入力画面が表示されるので、入力を行い再生してください。その際、他の汎用プレイヤーは使用できません。

注意：パスワードによる保護を行えるのはエクスポート時のみです。バックアップ・ボタンを用いた時はパスワードによる保護は行われません。該当欄にチェックを入れた後、「適用」をクリックしてください。

※zip ファイルを解凍する時、バックアップ時に決めたパスワードを使用し解凍を行ってください。

5.4.3 エッジバックアップ ※開発中の機能です。

5.4.4 バックアップサーバー機能

この機能を使用することで、NVR が録画バックアップ用の装置となり、NVR のバックアップを 10 分おきに行います。また、バックアップされたデータはローカル・ディスプレイでも再生が可能です。

※バックアップできるカメラの台数は、バックアップサーバーに変更する前の NVR のチャンネル数です。

バックアップサーバー画面

バックアップ設定

録画スケジュール

有効 ☐

カメラ No. 1

IP アドレス redweb.dip

ポート 80

ユーザー名 admin

パスワード *****

注意: NVR とバックアップサーバーの時間を同じにしてください。
 注意: 全ての保存容量を利用するために、HDD をフォーマットしてください。
 注意: NVR とバックアップサーバーの間に 30 分以上が切断された場合は、一部のビデオがバックアップされない可能性があります。

NVR の検索

適用

リスト

削除

No.	NVR 名	カメラ名	IP アドレス	ポート	メーカー	型番	全て
1				80			<input checked="" type="checkbox"/>
2				80			<input type="checkbox"/>
3				80			<input type="checkbox"/>
4				80			<input type="checkbox"/>
5				80			<input type="checkbox"/>
6				80			<input type="checkbox"/>
7				80			<input type="checkbox"/>
8				80			<input type="checkbox"/>
9				80			<input type="checkbox"/>

1. 「有効」にチェックを入れ、バックアップサーバーに変更後、バックアップを行いたい NVR の IP アドレス、ユーザー名、パスワードを入力して NVR を追加してください。
2. 録画スケジュールをクリックして、バックアップを行いたいカメラとその時間範囲を入力すると自動的にバックアップを行います。

※NVR とバックアップサーバーの時計を同期してください。

※万が一、親子間の通信が途切れた場合でも、720 分（12 時間）以内であれば、そのデータの補填を行います。

※ライブ映像の閲覧はできません。

5.5 ネットワーク設定

5.5.1 ネットワークのセットアップ

「ネットワーク」のメニューから「ネットワーク設定」を選択してください。

▼ ネットワーク

▶ ネットワーク設定

▶ ネットワークサービス

▶ DDNS

1. 情報

コンピュータ名、IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイ、プライマリ及びセカンダリ DNS 情報を表示します。

情報		設定	DHCP設定	HTTPサービス
コンピュータ名 Demo-04-2100UHD				
LAN IPv4 / IPv6				
IPアドレス	192.168.11.04			IPv4 IPv6
サブネット・マスク	255.255.255.0			
デフォルト・ゲートウェイ	192.168.11.1			
プライマリ・DNSサーバー	192.168.11.1			
セカンダリ・DNSサーバー	8.8.8.8			



2. 設定

DIGISTOR は 2 つの異なる IP アドレスを設定でき、お使いのネットワークに合わせて IP アドレスを使い分けることが可能です。

⚠ 注意：デュアル IP アドレスに対応しているのは DS-21(2)05 UHD、DS-4120 UHD、DS-16364-RM Pro+シリーズです。



共有 IP

ネットワーク設定

情報 **設定** DHCP設定 HTTPサービス

ネットワーク設定

ネットワーク・インターフェイス ☒ 共有のIP ☐ 個別のIP ☐ ロード/バランス

コンピュータ名 DS-10M48807100

インターネット・プロトコル ☐ DHCP ☒ 固定IP

IPv4 ☒ IPv6 ☐

LAN IPv4 / IPv6

IPアドレス	192.168.11.93	/	
サブネット・マスク	255.255.0.0	/	64 (prefix)
デフォルト・ゲートウェイ	192.168.11.1	/	
プライマリ・DNSサーバー	192.168.11.1	/	
セカンダリ・DNSサーバー	0.0.0.0	/	

適用 リセット

コンピュータ名の変更、DHCP または固定 IP の設定を行えます。

●**DHCP** : ネットワーク内の DHCP サーバーから自動的に IP アドレスが割り振られる設定です。

●**固定 IP** : DHCP サーバーが存在しない時、DIGISTOR の初期 IP アドレスは「192.168.1.245」になります。お使いになるネットワークの環境に合わせて IP アドレスを変更してください。同一ネットワーク内に複数の DIGISTOR が存在する時は、それぞれ異なる IP アドレスを持つように設定してください。

情報 **設定** DHCP設定 HTTPサービス

ネットワーク設定

ネットワーク・インターフェイス ☒ 共有のIP ☐ 個別のIP ☐ ロード/バランス

コンピュータ名 DS-10b1488cea69

インターネット・プロトコル ☒ DHCP ☐ 固定IP

デフォルト・ゲートウェイの選択 ☒ LAN 1/ ☐ LAN 2

IPv6 ☒ IPv4 ☐ IPv6

LAN IPv4 / IPv6

1 | 2 | 3

IPアドレス		/	
サブネット・マスク		/	64 (prefix)
デフォルト・ゲートウェイ		/	
プライマリ・DNSサーバー		/	
セカンダリ・DNSサーバー		/	

3.HTTP サービス

初期設定は「80」です。DIGISTOR にアクセスする際に使用する HTTP ポートを設定してください。

ネットワーク設定

情報 設定 DHCP設定 HTTPサービス

HTTP

有効 ☒

管理ポート番号 80

HTTPS

有効 ☐

管理ポート番号 843

注意: ポート 1 2 3 4 ~ 1 3 6 2、その他一部のポート番号はシステムが使用しています。
注意: HTTPSは設定画面向け機能です。

適用 リセット

5.5.2 ネットワーク・サービス

「ネットワーク」メニューから「ネットワーク・サービス」を選択してください。

- ▼ ネットワーク
 - > ネットワーク設定
 - > ネットワーク・サービス
 - > DDNS

1.ネットワークサービス

ネットワーク・サービス

ネットワーク・サービス 禁止/許可リスト リレーサーバー アイコン

ネットワーク・サービス

UPnP	<input checked="" type="checkbox"/> 有効	UPnP名	DS-2440b684029d
Telnet	<input checked="" type="checkbox"/> 有効	Telnetポート	23
IP Forward	<input checked="" type="checkbox"/> 有効		

適用 リセット

【UPnP】【Telnet】【IP Forward】機能を有効/無効にできます。

2.禁止/許可リスト

ネットワーク・サービス

ネットワーク・サービス 禁止/許可リスト リレーサーバー アイコン

禁止/許可リスト

オプション ☐ 許可リスト ☐ 禁止リスト

追加

No.	IPアドレス	アクセス	機能
-----	--------	------	----

適用 リセット

禁止リストまたは許可リストを有効にします。いずれの場合も、本当に有効にするかどうかを確認するウィンドウが表示されます。その後、禁止または許可する IP アドレスを入力してください。

禁止リストを有効にした場合、登録された IP アドレスから本製品へのアクセスが禁止されます。

許可リストを有効にした場合、登録された IP アドレスからのみ本製品へのアクセスが許可されます。

3. リレーサーバー

リレーサーバー機能を使用することで、複数のクライアントを使用し、同時に 4 台以上の複数の端末で監視ができます。

※カメラ 1 台（※単体）あたり最大 12 ストリーム・最大 144 ストリームの配信ができる機能です。

ネットワーク・サービス

ネットワーク・サービス 禁止/許可リスト **リレーサーバー** アイコン

リレーサーバー

有効 ☐

管理ポート番号

注意:

1. ポート 1 2 3 4 ~ 1 3 6 2、その他一部のポート番号はシステムが使用しています。
2. カメラ 1 台あたり同時接続数は 1 2 まで。（2 MPカメラ使用した場合）
3. 全体の最大配信数は 1 4 4 となります（2 MPカメラを使用した場合）
4. 負荷率が最大 70%-80%までの設計で適用をしてください。

リレーサーバー機能を使用するには、リレーサーバー機能を有効にし、管理ポートを設定してください。

＝リレーサーバー使用時の同時接続数の目安＝

カメラ 1 台（※単体）あたり最大 12 ストリーム・最大 144 ストリーム
1920*1080 5-10fps カメラ 16 台使用時（※録画） Dual-Eye 3rd 8-9 台まで接続可能

※ただし、接続においては、レコーダー側のシステム負荷の状態を確認してください。また、リレーサーバーは 20 台以下のレコーダーのみ、使用してください。それ以上は、ストリーミングサーバーの導入をお勧めします。

4. アイホン

NVR はアイホン製のドアホン（IX シリーズ）に対応しており、ドアホンのコールボタンを押すことでアラーム録画もできます。

アイホン製のカメラに接続して登録するには、Aiphone SIF 機能を有効にし、アイホン側の管理ポートを入力してください。

※別途、Aiphone IX 側にも設定が必要です。詳しくは販売店にお問い合わせください。

ネットワーク・サービス 禁止/許可リスト リレーサーバー **アイホン**

SIF

有効 ☐

管理ポート番号

注意: ポート 1 2 3 4 ~ 1 3 6 2, その他一部のポート番号はシステムが使用しています。

※カメラの登録には Onvif を使用し、ポート番号は 10080 を設定してください。

コールボタンによる録画を有効にする場合は、NVR メニューイベント&アクションの設定にて設定を行ってください。

5.5.3 DDNS

DDNS

サービス ☐ ipcam.jp ☐ nwcam.jp ☐ DynDNS ☐ no-ip

有効	<input checked="" type="checkbox"/>
更新サーバー	www.ipcam.jp (最大文字数: 64 文字)
ユーザ名	(最大文字数: 128 文字)
パスワード	(最大文字数: 64 文字)
Host Name	(最大文字数: 128 文字)

有効	<input type="checkbox"/>
更新サーバー	www.nwcam.jp (最大文字数: 64 文字)
ユーザ名	(最大文字数: 128 文字)
パスワード	(最大文字数: 64 文字)
Host Name	(最大文字数: 128 文字)

DDNS（Dynamic Domain Name Service）とは、固定 IP を使ってインターネット経由で NVR にアクセスする代わりに、動的 IP とドメイン名とをリンクさせ、そのドメイン名を使ってアクセスするサービスです。

DIGISTOR が対応している DDNS は、

①ipcam.jp ②nwcam.jp ③DynDNS ④No-IP ⑤ChangeIP です。
DDNS の設定を行う前に、必要な情報を DDNS プロバイダーから取得してください。

DDNS

サービス ☒ ipcam.jp ☐ nwcam.jp ☐ DynDNS ☐ no-ip ☐ ChangeIP

有効	<input checked="" type="checkbox"/>
更新サーバー	www.ipcam.jp (最大文字数: 64 文字)
ユーザ名	001 (最大文字数: 128 文字)
パスワード	abcdefgh (最大文字数: 64 文字)
Host Name	digistor (最大文字数: 128 文字)

例：ipcam.jp のサービスを利用している場合、「サービス」の ipcam と「有効」にチェックを入れ、プロバイダーから与えられた情報（例：ユーザ名：001、パスワード：ab cdefgh、Host Name：digiever）を入力してください。DIGISTOR は ipcam.jp の DDNS サーバーに動的 IP アドレスの情報を送り、「digiever.ipcam.jp」のドメイン名とリンクさせます。

ユーザーは IP アドレスに関係なく、「digiever.ipcam.jp」で NVR にアクセス可能になります。

5.5.4 YouTube ライブ

YouTube Live 機能は、YouTube と連携して配信できる機能です。
詳しくは、You tube をご参照ください。

配信を行いたいカメラ、ストリームを選択、取得したストリーム URL、ストリームキーを入力して「適用」ボタンを押してください。

YouTubeライブ

YouTubeライブ









YouTubeライブ設定

No.	カメラ	ストリーミング	圧縮方式	ストリームURL	ストリームキー	配信 すべて
1	3-カメラ3	stream 1	H264	rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2	XXXXXXXXXX	<input type="checkbox"/>
2				rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2		<input type="checkbox"/>
3				rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2		<input type="checkbox"/>
4				rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2		<input type="checkbox"/>

注意: H.264のみ対応しています。
注意: 音声対応カメラのみ対応しています。


適用



YouTubeライブリスト

No.	カメラ	ストリーミング	共有リンク	状態	メールを送る
1	3-カメラ3	stream 1	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 	<input checked="" type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/>
2			<input type="text"/> 	<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/>
3			<input type="text"/> 	<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/>
4			<input type="text"/> 	<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/>

適用

※注意：YouTube で本機能を使用するには、H.264 及び音声の配信ができるカメラの選定が必要になります。

また、YouTube ライブリストにて登録したカメラの共有リンクを入力し、 ボタンを押すと、配信状態の確認ができます。

また、状態ボタンのをいれて適用ボタンを押すと配信開始、を外して適用ボタンを押すと配信が停止します。

※配信仕様等の詳細内容は、YouTube サイトを参考ください。

5.5.5 SNMP サーバー

●SNMP 設定 ※SNMP エージェント機能

SNMP (simple network management protocol) を使用し、一般的な SNMP マネージャーソフトウェアを使用、ネットワーク経由で DIGISTOR を監視及び管理できる機能です。

※MIB 情報ファイルなど、詳しくは販売店にお問い合わせください。

SNMPサーバー

SNMP設定 詳細設定 ユーザー定義トラップ

SNMP設定

有効 ☒

バージョン v2c

ポート 161

Trap Port 162

適用

「ネットワーク」→「SNMP サーバー」→「SNMP 設定」にて、SNMP の設定を入力してください。

バージョン： ver 2 / Ver 2c を選択してください。

ポート：ポーリングで使用するポート番号を入力してください。

Trap ポート：トラップ時に使用するポート番号を入力してください。

SNMPサーバー

SNMP設定 詳細設定 ユーザー定義トラップ

コミュニティ設定

コミュニティ名称 追加

コミュニティリスト

コミュニティ名称	操作
ROD	<input checked="" type="checkbox"/>

Trap設定

Trapアドレス Community 追加

Trapリスト

Trapアドレス	Community	操作
192.168.100.14	ROD	<input checked="" type="checkbox"/>

詳細設定にて、コミュニティ名称を追加、SNMPTrap を使用する場合は、「Trap 設定」にて受信側 SNMP マネージャーの設定を入力し、追加を行ってください。

SNMPサーバー

SNMP設定

詳細設定

トラップ情報の配信選択

トラップ情報の配信選択

<input checked="" type="checkbox"/> システムトラップ <input checked="" type="checkbox"/> ハードウェアトラップ <input checked="" type="checkbox"/> カメライベントトラップ <input type="checkbox"/> HDDトラップ <input type="checkbox"/> RAIDトラップ	<input checked="" type="checkbox"/> 起動 <input checked="" type="checkbox"/> ネットワークの切断 <input checked="" type="checkbox"/> HTTPサーバ内部イベント <input checked="" type="checkbox"/> ファン異常イベント <input checked="" type="checkbox"/> カメラのIO入力 <input checked="" type="checkbox"/> FPS通知 <input type="checkbox"/> HDDオンライン <input type="checkbox"/> HDD不良セクターの検出 <input type="checkbox"/> RAIDリビルド完了 <input type="checkbox"/> RAIDリビルド失敗	<input checked="" type="checkbox"/> シャットダウン <input checked="" type="checkbox"/> IO入力 <input checked="" type="checkbox"/> NTPサーバ同期失敗 <input type="checkbox"/> 高度化電源イベント <input checked="" type="checkbox"/> カメラのモーション検知 <input type="checkbox"/> HDDオフライン <input type="checkbox"/> HDDリードライトエラー <input type="checkbox"/> RAIDエラー発生 <input type="checkbox"/> RAIDリブレイク	<input checked="" type="checkbox"/> 高度化シャットダウン <input checked="" type="checkbox"/> HDD容量不足通知 <input checked="" type="checkbox"/> ファイルサーバーサーバーへの移行 <input checked="" type="checkbox"/> USBデバイスの取り外し <input checked="" type="checkbox"/> カメラ接続不良 <input type="checkbox"/> HDD障害 <input type="checkbox"/> HDD故障 <input type="checkbox"/> RAID再フォーマット
--	--	--	--

適用

「トラップ情報の配信選択」を設定すると、必要のない SNMP トラップを停止することができます。

※HDD トラップ、RAID トラップに関しては、重要なトラップのため変更できません。

注意：ネットワーク切断のイベントは、LAN ケーブルが 2 本使用されている場合のみ SNMP トラップを行います。また、カメライベントトラップは、DIGISTOR のイベント設定の使用時のみ動作します。

■SNMPで使用、取得できる内容について

1. システム 2. ハードウェア 3. カメラ
等の状態

+++++

1. システム状態

システム情報“ポーリング”

■システム情報

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| サーバー名 | -- NVR 名を取得します。 |
| サーバーMAC | -- 接続されている NVR の MAC アドレスを取得します。 |
| NTP の IP | -- 内蔵 NTP サーバーのアドレスを表示します。 |
| 最後に起動した時間 | -- 最後に起動した日時を表示します。 |
| CPU 使用率 | -- CPU 使用率を表示します |

■ファームウェア情報

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 型名 | -- レコーダーの型名を表示します。 |
| シリアル | -- レコーダーのシリアル番号を表示します。 |
| ファームウェア Ver | -- レコーダーのファームウェアの情報を表示します。 |
| 最終のアップグレード時間 | -- 最後にアップグレードを行った日時を表示します。 |

■ハードウェア情報

- | | |
|--------------|------------------------|
| CPU 温度 | -- CPU の温度を表示します。 |
| CPU ファンのスピード | -- CPU ファンの速度を表示します。 |
| システム温度 | -- システムの温度を表示します。 |
| システムファン数 | -- システムファンの総数を表示します。 |
| =システムファンテーブル | |
| =ファンエントリー | |
| =ファンインデックス | |
| ファンのスピード | -- それぞれのファンの回転数を表示します。 |

■ユーザー情報

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| ユーザーの数 | -- 登録されているユーザーの数を表示します。 |
| =ユーザーテーブル | -- |
| ユーザー名 | -- 登録されているユーザー名を表示します。 |
| ユーザーパスワード | -- 登録されているユーザーパスワードを表示します。 |
| ユーザーアクセスレベル | -- 登録されているユーザーのアクセスレベルを表示します。 |

システム状態“トラップ

■システムトラップ

起動

シャットダウン

異常シャットダウン

ネットワークの切断

IO 入力

HDD 容量不足通知

HTTP-in 外部イベント

NTP サーバー同期失敗

フェイルオーバーサーバーへ移行

■ハードウェアトラップ

ファン状態イベント

冗長化電源イベント

USB デバイスの取り外し

2. カメラの状態

カメラ状態“ポーリング

■カメラ情報

最大カメラサポート数 -- 登録できるカメラの総数を表示します。

有効なカメラ数 -- 動作しているカメラの総数を表示します。

==カメラテーブル

==カメラエントリー

カメラインデックス

カメラ数 -- 登録されているカメラの総数を表示します。

カメラブランド -- 登録されているカメラのブランド名を表示します。

カメラの IP アドレス -- 登録されているカメラの IP アドレスを表示します。

カメラ状態 -- 登録されているカメラの状態を表示します。

カメラフォーカス -- 使用しません。

ビデオサーバーからのカメラ数 -- 登録されているビデオサーバーの数

カメライベント“トラップ

■カメライベントトラップ

カメラの IO 入力
カメラのモーション検知
カメラ接続不良
FPS 通知

3. ストレージの状態

HDD 状態“ポーリング”

HDD 数	--	挿入されている HDD の総数
==HDD テーブル	--	
==HDD エントリー		
==HDD インデックス		
HDD モデル名	--	接続されている HDD の型名を表示します。
HDD シリアル番号	--	接続されている HDD のシリアルを表示します。
HDD 容量	--	接続されているそれぞれの HDD の容量を表示します。
HDD 状態	--	HDD の状態を表示します。0 は正常
HDD スマート	--	HDD のスマート状態を表示します。0 は正常
HDD 温度	→	接続されているそれぞれの HDD の温度を表示します。

HDD“トラップ”

HDD オンライン
HDD オフライン
HDD 挿抜
HDD 不良セクターの検出
HDD リード/ライトエラー
HDD 故障

■RAID“トラップ”

RAID リビルドの状態
RAID 同期状態
RAID 非アクティブ
RAID リビルド失敗

※MIB 情報ファイルなど、詳しくは販売店にお問い合わせください。

5.6 管理

「管理」設定ページでは、ユーザーの追加や権限の編集、NVR に保存されているログの確認、バックアップや接続している外部機器の管理設定を行うことができます。

▼ 管理

- > ユーザー管理
- > フェイルオーバー機能
- > 定期通知

5.6.1 ユーザー管理

「管理」メニューから「ユーザー管理」を選択してください。DIGISTOR には複数のユーザーが同時にアクセスできます。工場出荷時は管理者である「admin」のみユーザーとして登録されています。

管理者はユーザーを新規作成できます。ユーザーには「Power User」と「User」の 2 グループがあり、「Power User」は一部の設定変更が可能です。「User」も設定ページへ移動できますが、自分のパスワードしか変更できません。

1. ユーザーの作成

● Power User

ユーザー名（半角英数字 15 文字以内）とパスワード（同）を入力し、「グループ」メニューから「Power User」を選択してください。ライブ映像と録画再生に関する権限は、自動的に全てのカメラに対して適用されます。

「適用」をクリックするとユーザーが作成され、「リスト」に表示されます。

● User

ユーザー名（半角英数字 15 文字以内）とパスワード（同）を入力し、「グループ」メニューから「User」を選択してください。ライブ画像と録画再生に関する権限を設定します。チェックの入ったカメラのみ、ライブ映像及び録画再生が可能になります。

「適用」をクリックするとユーザーが作成され、「リスト」に表示されます。

ユーザー設定

ユーザの作成					ユーザの管理					パスワードの変更					Active Directory				
詳細設定																			

ユーザー - リスト

No.	名前	グループ	AD Group	Eメール	右側欄	ライブ	PTT	マルチ・サーバ	KIS能力	録画再生	スナップショット	映像のアップロード	FTNG読み込み	FTNG書き込み	ディスク操作	ネットワーク設定	システムログ	システムのアップグレード	両脇欄とシャットダウン		
	ユーザー名											右側欄									
	パスワード											ランダムパスワード	<input type="checkbox"/>								
	グループ	(リムーブユーザー)										Eメール									
(必ず実行!) <input checked="" type="checkbox"/> すべて																					
ライブ検索	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ1 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ2 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ3 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ4 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ5 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ6 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ7 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ8 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ9																				
	<input checked="" type="checkbox"/> PTT使用 <input checked="" type="checkbox"/> マルチ・サーバ <input checked="" type="checkbox"/> KIS能力																				
	<input checked="" type="checkbox"/> すべて																				
録画再生	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ1 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ2 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ3 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ4 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ5 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ6 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ7 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ8 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ9																				
	<input checked="" type="checkbox"/> スナップショット <input checked="" type="checkbox"/> 映像のアップロード																				
	FTP <input checked="" type="checkbox"/> 書き込み <input checked="" type="checkbox"/> 読み取り																				
Advanced Package <input type="checkbox"/> ライティング管理 <input type="checkbox"/> ネットワーク設定 <input type="checkbox"/> システムログ <input type="checkbox"/> システムのアップグレード <input type="checkbox"/> 両脇欄とシャットダウン																					

[適用] [リセット]

2. ユーザーの変更

「ユーザーの変更」タブをクリックしてください。
User の権限変更を行う時は適宜変更して「適用」をクリックします。
登録しているユーザーを削除する時はリストで選択し、「削除」をクリックします。

ユーザー管理										
ユーザーの作成			ユーザーの変更			パスワードの変更			詳細設定	
ユーザー・リスト										
No.	名前	グループ	Eメール	Expiry day	タイムゾーン	時区	マルチユーザー	最終ログイン	スノッパット	操作のエクステンド
1	user	user			1	O	X	0	X	O
2	opp	user			1	X	X	0	X	X
3	testpower	power user			1,2,4,5	O	O	1,2,4,5	O	

3.パスワードの変更

「パスワードの変更」タブをクリックしてください。
「ユーザー名」で変更したいユーザー名を選択し、新しいパスワードを入力します。
※admin（管理者）ユーザーの作成は行えません。

ユーザーの作成	ユーザーの変更	パスワードの変更	詳細設定
パスワード設定			
ユーザー	admin		
新しいパスワード	<input type="password"/> (最大文字数: 15 文字)		
パスワードの再入力	<input type="password"/>		
ランダムパスワード	<input type="checkbox"/>		
Eメール	<input type="text"/>		

4. Active Directory

※検証中の機能です。

5. 詳細設定

ユーザーの作成	ユーザーの変更	パスワードの変更	Active Directory
詳細設定			
詳細設定			
ローカル匿名アクセス	<input type="checkbox"/> 有効		
再起動時の自動ログイン	<input checked="" type="checkbox"/> 有効		
最大ログイン数	6 (最大数: 128)		
ログアウトの時間	600 秒 (最大数: 3600)		
<input type="button" value="適用"/>			

5.6.2 フェイルオーバー

フェイルオーバーとは、稼働中の NVR に障害が発生した際、その機能を自動的に引き継ぎ、処理を実行する機能です。例えば、1 台の NVR に対し 1 台のフェイルオーバーサーバーを導入することで、万が一のレコーダー障害等に対しての大きな録画欠損を避けることができます。

※最大 4 台までの NVR を管理、監視します。

※カメラ台数の上限は、登録チャンネル数までとなります。64ch であれば 64 台のカメラとなります。

●フェイルオーバー設定

フェイルオーバー設定

フェイルオーバー設定

詳細設定

NVR No.	1		
NVR名	NVR1		
IPアドレス	192.168.0.	ポート	80
管理名	admin	パスワード	*****

NVRリスト

No.	NVR名	IPアドレス	ポート	削除
1			80	
2			80	
3			80	
4			80	

ヒント: NVRのフェイルオーバーサーバーは設定された時間に同期を行います。

- 本設定は、フェイルオーバーサーバーとなるレコーダーで設定を行います。レコーダーの設定を入力し、「適用」を押下することで、フェイルオーバー機能が有効となります。

※フェイルオーバー機能を有効にしたレコーダーのカメラ設定は消去されます。

●詳細設定

フェイルオーバーの切り替えタイミングの設定を行えます。

フェイルオーバー設定

詳細設定

監視設定	
監視間隔	NVR監視カメラの検度 (50 ~ 180 (30-180))
フェイルオーバーの呼び出し	設定されたNVR/カメラを確認を行う回数。(その回数を超えるとフェイルオーバーを動作します。) 3 (最大: 10, 最小: 1)

ヒント: フェイルオーバーサーバーは、設定されたサーバーに対し定期的に確認を行い、異常があった場合、フェイルオーバーの機能を動作します。

詳細設定より、監視先のレコーダーに対する確認回数を設定することが可能です。

フェイルオーバーサーバーは監視対象のレコーダーを定期的に監視し、異常なレスポンスが設定回数に達した場合、フェイルオーバーサーバーが動作して代替録画処理を行います。

※監視間隔 30-180 秒

※監視回数設定可能範囲：1-10 回

カメラ設定引き継ぎ後のカメラとの再接続の時間を考慮し、切り替えにかかる時間は最低 10 分程度とご想定ください。

5.6.3 定期通知機能

ライブ映像にて定期通知を行いたい場合に設定する機能です。

定期通知

定期通知

定期通知

No. 3

開始 2017 年 1 月 16 日

間隔 1 日 (このフィールドの範囲は、[1~2000])

件名 (最大数: 64 文字)

メッセージ (最大数: 127 文字)

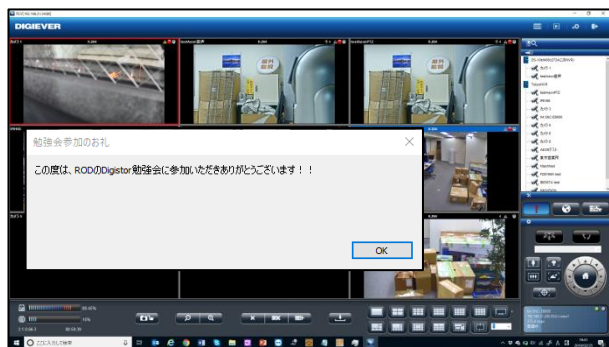
適用

リセット

削除

No.	開始	間隔	件名	通知されました (0/2)
1	2017-01-16	365	テスト	<input type="checkbox"/>
2	2017-01-16	1	旧のテスト	<input type="checkbox"/>
3				<input type="checkbox"/>
4				<input type="checkbox"/>
5				<input type="checkbox"/>

上記の設定を入力し、登録することで、ライブ画面上で定期的にメッセージの通知を行うことができます。



開始時間と間隔、メッセージ内容を入力し、「適用」ボタンを押してください。

5.7 外部デバイス

▼ 外部デバイス

- > PoEスイッチ管理
- > POS System
- > Webリンク
- > Modbus IO Device
- > AXIS IOデバイス
- > Access Control
- > UPS管理
- > バトライト
- > IP Controller

5.7.1 PoE スイッチ制御

(※専用の PoE 使用時の機能の為、使用しません)

5.7.2 POS System

(※専用の端末との連動機能の為、使用しません)

5.7.3 Web リンク機能

AI などの外部機器を登録し、PC からワンクリックでブラウザ接続できる機能です。

Webリンク

機能設定

機器設定

機器番号 2 ▼

デバイス名称 デバイス 2

IPアドレス http://

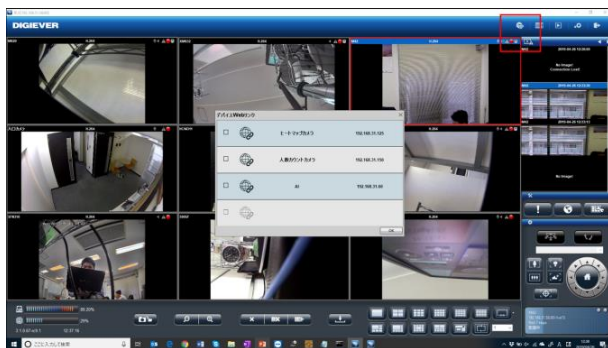
保存

機器リスト

削除

No.	デバイス名称	IPアドレス	リンク	カメラの画数(0/1) すべて ■
1	人数カウント	http://192.168.11.75/vm/index.html#/setup/peoplecounting_search	リンク	<input type="checkbox"/>
2				<input type="checkbox"/>
3				<input type="checkbox"/>
4				<input type="checkbox"/>
5				<input type="checkbox"/>
6				<input type="checkbox"/>
7				<input type="checkbox"/>
8				<input type="checkbox"/>
9				<input type="checkbox"/>

- ①使用したいVS-AI 等の IP アドレス、ポート番号を入力し、「適用」ボタンを押します。



- ②右上の地球儀のアイコンをクリックすると、登録したウェブリンク名が表示されます。アクセスしたいリンクをクリックしてください。

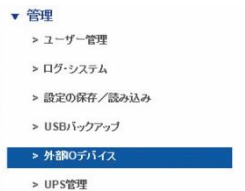
5.7.4 Modbus IO Device

(※専用の端末との連動機能の為、使用しません)

5.7.5 AXIS IO デバイス

AXIS 製 P8221 を NVR に登録して、その外部入出力を利用することができます。

「管理」メニューから「外部 IO デバイス」を選択してください。



機器名称、IP アドレス、ユーザー名、パスワードを入力して「検出」をクリックしてください。ネットワーク上に設定した機器があれば、登録されます。「メーカー」と「型番」は自動で表示されます。「適用」をクリックして保存します。

デバイス設定

イベント

デバイス設定

デバイス番号	Device 1				
デバイス名					
IPアドレス		ポート	80		
管理者名		パスワード			
メーカー		型番			

適用

リセット

検出

リスト

No.	デバイス名	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	削除
1			80			

リストには登録された機器の名称、IP アドレス、ポート番号、メーカー名、型番が表示されます。

登録された機器に応じて、「イベント」タブ内にイベント・リストが表示されます。

5.7.6 Access Control

（※専用の端末との連動機能の為、使用しません）

5.7.7 UPS 管理

UPS を用いて NVR の電源を管理できます。「管理」メニューから「UPS 管理」を選択してください。

UPS管理

UPS管理

UPSが見つかりません。

UPSの接続	
メーカー	
型番	
電源の経路	
バッテリー容量	
予部(バッテリー-接続状態)	

UPS管理の設定	
タイプ	<input checked="" type="checkbox"/> USBで接続 <input type="checkbox"/> SNMPで接続
設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 UPSの(バッテリー)容量が次の値に達すると50% NVRは自動的にシャットダウンを行います。 <input type="checkbox"/> 無効 UPSの(バッテリー)容量が次の値に達すると50% NVRがトリガーされます。 (イベントと動作の両方の設定を行ってください)

適用

●UPS 機器情報

メーカー名、型番、AC 電源の状態、バッテリーの容量、予想保護時間が表示されます。予想保護時間はモニタリングのみ行っている状態が基準です。

●UPS 管理設定：スマート・シャットダウンと復旧

タイプ：

USB で接続

⚠ 注意：USB で接続を行った際、DIGISTOR シリーズが対応している UPS はユタカ電機製作所の常時インバーター・モデル「UPS510SS-R」と「UPS1010SS-R」です。

UPS 管理

UPS が見つかりません。

UPS の情報	
メーカー	
型番	
電源の状態	
バッテリー容量	
予想(バッテリー)保護時間	

UPS 管理の設定	
タイプ	<input type="radio"/> USB で接続 <input type="radio"/> SNMP で接続
設定	UPS のバッテリー容量が次の値に達すると「0」%、NVR は自動的にシャットダウンを行います。 0 秒 UPS のバッテリー容量が次の値に達すると「0」%、イベントがトリガーされます。 (イベントと動作の両方 (設定を行ってください))

適用

※USB 接続で UPS との接続を行います。正常に接続が行われると、UPS の情報欄に機器の情報が表示されます。

設定: UPS のバッテリー容量が X% に達すると自動的にシャットダウンを行います。

SNMP で接続

⚠ 注意：SNMP で接続を行った際、DIGISTOR シリーズが対応している UPS は、オムロン ソーシアルソリューションズ株式会社製「BU150R + SC21 (ネットワークカード)」の組み合わせとなります。

UPS情報

UPSが見つかりません。

UPSの取得	
メーカー	
型番	
製造日/仕番	
バッテリー情報	
予備/バッテリー残量	

UPS情報の設定

タイプ ☐ USBで接続 ☒ ネットワークで接続

IPアドレス

ポート

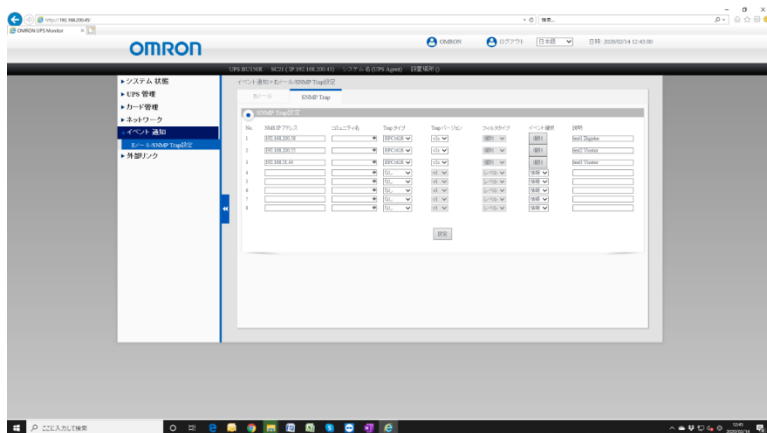
※電圧が検出された場合は、サーバーは自動的にシャットダウンを行います。

適用

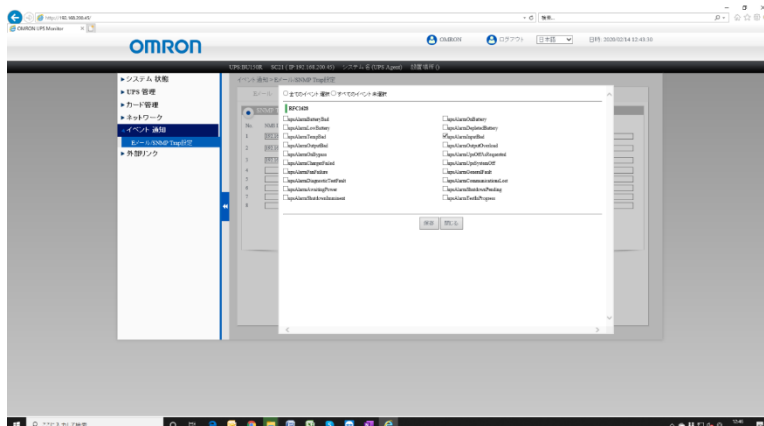
UPS の IP アドレスを指定して接続を行います。正常に接続が行われると、UPS の情報欄に機器の情報が表示されます。

設定：UPS の IP アドレス、またシャットダウン時間を指定し、UPS 側の AC が遮断されると、指定時間の経過後、自動的にシャットダウンを行います。

※LAN のみの仕様要件となります。



イベント通知→E メール/SNMP Trap 設定にて
NVR の“IP アドレス、Trap タイプ “RFC1628、Trap バージョン
“v2c 、 イベント選択にて、上画面の内容を入力してください。



“upsAlarmInputBad”でのシャットダウンの設定例です。

※他、詳細設定が必要な場合、詳しくは UPS の取扱説明書をご参考ください。

5.7.8 パトライト

パトライト製ネットワークパトライトを使用することで、HDD エラーなどのイベントが発生した際に、いち早く状況を知ることができます。

参考図：



サポート機種：NHx-3FB1-RYG

接続パトライト数：4 台まで

※パトライト点灯時のイベントの解除は、手動で行ってください。

機能設定

機器設定

機器番号

1

機器名称

Device 1

IPアドレス

rodweb.dip.

ポート

80

パスワード

適用

機器リスト

Delete

No.	機器名称	IPアドレス	ポート	全て <input type="checkbox"/>
1			80	<input type="checkbox"/>
2			80	<input type="checkbox"/>
3			80	<input type="checkbox"/>
4			80	<input type="checkbox"/>

デバイス名、IP アドレス等の情報を入力し、「適用」を押すことで登録できます。動作に関しては、イベント&アクションの設定にて動作設定を行ってください。

5.7.9 IP Controller

(※専用の端末との連動機能の為、使用しません)

5.8 システム

▼ システム

- > Device Information
- > システムログ
- > 設定の保存／読み込み
- > ブザー
- > システムのアップグレード
- > 日付と時間
- > 言語
- > 再起動とシャットダウン

5.8.1 機器情報

「システム」メニューから「機器情報」を選択します。

●システム情報：

オペレーティング・システム、OS バージョン、NVR バージョン、CPU、ネットワーク・アダプター、MAC アドレス、ネットワーク・フロー情報を表示します。

●位置確認：

ボタンをクリックすると 3 秒間、NVR 本体からブザーが鳴ります。複数の DIGISTOR を運用している時など、位置を特定するのに便利です。

情報	
型番	NVR-4116
ファームウェアバージョン	2.1.1.50-1
MACアドレス	20:10:7a:ae:76:7c, 20:10:7a:ae:76:7d
OS	Embedded Linux
OSバージョン	Linux version 3.2.29
CPU	Intel(R) family
ネットワークアダプター	Gigabit Ethernet Card 10/100/1000 Mbps
位置確認	位置確認

●エンクロージャー情報：

CPU の温度、ファンの状態などが表示されます。

注意： NVR の動作環境は 0～40 度です。

Temperatures	
CPUの温度	49 °C
VRMの温度	48 °C
システムの温度	38 °C

ファンの回転速度	
CPUのファン	1708 RPM
システムのファン 1	852 RPM
システムのファン 2	1814 RPM

5.8.2 ログ・システム

「管理」メニューから「ログ・システム」を選択してください。必ずディスク・ボリュームを作成してから本機能をお使いください。

DIGISTOR が保存するログには次の 6 種類があります：

ハードウェア・ログ、NVR ログ、イベント・ログ、現在のユーザー、ユーザー履歴、アクセス履歴

●ハードウェア・ログ

RAID の作成、RAID の削除、RAID の修正、CPU、ブザー、ファン、システム、センサー、USB に関する情報が記録されます。

ハードウェアログ	NVRログ	イベントログ
現在のユーザー	ユーザー履歴	アクセス履歴

ハードウェア・ログ・リスト		
日付 All	レベル All	ページ 1
<<	>	>>
表示件数 20	Save	
日付と時間	レベル	メッセージ
2014/03/19 21:47:53	notice	[HW] enable buzzer notice.
2014/03/19 21:47:53	notice	[HW] enable fan control.
2014/03/19 21:47:53	info	[HW] System is starting to work.

●NVR ログ

タイム・ゾーン、夏時間、システム、ファームウェアのアップグレード、IP 設定、録画ファイルのエクスポート、ストレージに関する情報が記録されます。

ハードウェアログ **NVR ログ** イベントログ

現在のユーザー ユーザー履歴 アクセス履歴

NVR ログ

日付: All レベル: All ページ: 1 << > >> 表示件数: 20 Save

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	メッセージ
2014/03/21 14:09:27	notice	admin	58.191.231.68	[NVR] Remote Playback Export to file.
2014/03/21 14:09:27	notice	admin	58.191.231.68	[NVR] Remote Playback Export during 2014-03-21 15:00 to 2014-03-21 16:00.

●イベント・ログ

カメラの接続、カメラの接続不良、デジタル入力、モーション検知、ストレージ使用制限超過などの情報が記録されます。

ハードウェアログ NVR ログ **イベントログ**

現在のユーザー ユーザー履歴 アクセス履歴

イベントログ

日付: All レベル: All カメラ: All ページ: 1 << > >> 表示件数: 20 Save

日付と時間	レベル	番号	メッセージ
2014/03/25 12:48:59	notice	1	[Event] Motion detected.
2014/03/25 12:45:26	notice	1	[Event] Motion detected.

●現在のユーザー

現在、NVR にログインしているユーザーの情報を表示します。

ハードウェアログ NVR ログ イベントログ

現在のユーザー ユーザー履歴 アクセス履歴

現在のユーザー

日付と時間	アカウント	IPアドレス	メッセージ
2014/03/25 12:51:40	admin	192.168.0.51	[CurUSER] Access /cfg_management_log_currentuser.htm

●ユーザー履歴

NVR にログインしたユーザー情報が記録されます。

ハードウェアログ	NVRログ	イベントログ
現在のユーザー	ユーザー履歴	アクセス履歴

ユーザー履歴					
日付	レベル	ページ			表示件数
All	All	1	<< < > >>		20 Save
日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ
2014/03/25 12:51:40	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login
2014/03/25 12:51:39	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login
2014/03/25 11:59:32	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login

●アクセス履歴

SAMBA や FTP を使って NVR にアクセスした情報が記録されます。

現在のユーザー	ユーザー履歴	アクセス履歴
---------	--------	--------

接続ログ						
日付	レベル	ページ			表示件数	
All	All	1	<< < > >>		20	Save
日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ	状態
2014/03/24 18:35:02	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 18:05:07	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 17:55:40	info	admin	192.168.0.51	FTP	[SYSCON] Login	Pass

ログ・ファイルのエクスポート

ログ・ファイルをエクスポートして保存することができます。ログごとにファイルが作成されます。

現在のユーザー	ユーザー履歴	アクセス履歴
---------	--------	--------

接続ログ						
日付	レベル	ページ			表示件数	
All	All	1	<< < > >>		20	Save
日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ	状態
2014/03/24 18:35:02	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 18:05:07	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 17:55:40	info	admin	192.168.0.51	FTP	[SYSCON] Login	Pass

5.8.3 設定の保存と読み込み

「管理」メニューから「設定の保存／読み込み」を選択してください。

●設定の保存

設定の保存／読み込み

設定を保存		設定の読み込み	
設定を保存			
ボリューム	/dev/vmd0 ▼		
フォルダ	Public ▼		
ファイル名	<input type="text" value="cfg"/>		
タイプ	<input checked="" type="radio"/> 基本設定保存。カメラ設定、録画設定、イベントと動作の設定、コンピュータ名、ネットワーク設定、タイムゾーン設定が保存されます。 <input type="radio"/> 詳細な設定の保存 説明		
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="リセット"/>			

保存先を、ボリュームとフォルダのメニューから選択し、ファイル名（拡張子は cfg）を決定して「適用」ボタンを押してください。

デフォルトのタイプ（カメラ設定～）の場合、設定ファイルにはカメラ設定、録画設定、イベントと動作設定、Eメール設定、サーバー設定が含まれます。設定ファイルは NVR 内の共有フォルダに保存されます。Windows ネットワークまたは FTP サービスを使い、PC から設定ファイルにアクセスできます。

●設定の読み込み

設定の読み込みを行うことで、設定ファイルの適用ができます。

設定を保存		設定の読み込み	
設定の読み込み			
初期化	<input checked="" type="radio"/> 初期設定に戻す <input type="radio"/> 設定を読み込み		
ボリューム	/dev/vmd0 ▼		
フォルダ	Public ▼		
ファイル名	<input type="text" value="cfg"/>		

※「初期設定に戻す」を選択すると、カメラ設定、録画設定、イベントと動作、Eメール設定、サーバー設定が初期値に戻ります。

「設定の読み込み」を選択し、保存した「cfg ファイル」を選択して「適用」をクリックしてください。

5.8.4 ブザー/IO 出力

「システム」のメニューから「ブザー/IO 出力」を選択してください。

警告時に使用するブザーのオン/オフを選択できます。オフにすると、デジタル出力時の動作である「ブザー」が実行されなくなります。

注意：「USB バックアップ」ボタンの長押しでブザーを停止することができません。

※IO 設定は対応機種のみ表示されます。

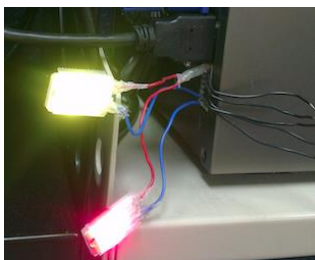
ブザー/地点出力

ブザー/地点出力			
設定			
ブザー警報 <input checked="" type="radio"/> 警報 <input type="radio"/> 補助			
Digital Output1	Low (V) ▼ 初期状態	<input type="checkbox"/> 動作モジュールになる	リセット
Digital Output2	Low (V) ▼ 初期状態	<input type="checkbox"/> 動作モジュールになる	リセット
ヒント： 「動作をグループになる」を有効にする後に、一度再起動してください。			
適用		リセット	

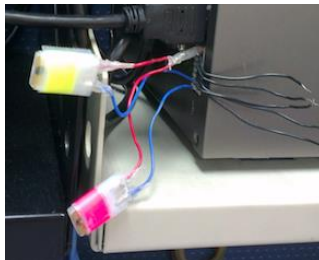
外部デバイスとの接続用に、IO 出力の初期状態（※電源起動中）の設定ができます。

※電源が入っていない場合は Low voltage になります（※対応機種のための機能となります）。

High voltage 時



Low voltage 時



5.8.5 システムのアップグレード

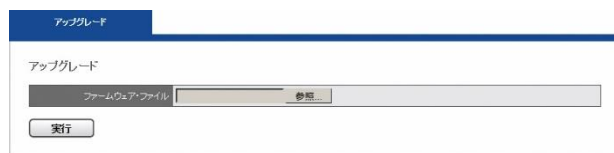
ブラウザを用いて、またはローカル・ディスプレイを操作して、NVR のファームウェアをバージョン・アップできます。

注意：お使いの NVR のシリーズに応じたファームウェア・ファイルをご用意ください。

注意：アップグレード実施前に必ず再起動していただき、再起動後にファームウェアのアップグレードを実施してください。

1. ブラウザを用いたアップグレード

- (1) 新しいバージョンのファームウェアを、弊社 HP または販売店より取得し、PC に保存してください。
- (2) ダウンロードしたファイルを解凍します。
- (3) 「設定」ページへ移動し、「システム」メニューから「システムのアップグレード」を選択します。
- (4) 「参照」をクリックして保存したファームウェア・ファイルを指定します。



- (5) 「アップグレード」をクリックしてファームウェアの更新を行います。システムのアップグレードが完了したら NVR は自動的に再起動します。「機器情報」メニューの「システム」から、NVR のファームウェア・バージョンを確認することができます。

※念のため、アップグレード前に録画装置の再起動をお願いします

2. ローカル・ディスプレイを操作してのアップグレード

注意：ローカル・ディスプレイでのアップグレードは DS-21(2)05 UHD、DS-41(2)20 UHD、DS-1102 での対応となります。

- (1) 新しいバージョンのファームウェアを弊社 HP または、販売店より取得し、PC に保存してください。
- (2) ダウンロードしたファイルを解凍して、USB ストレージに保存します。

注意：アップグレード実施前に必ず再起動していただき、再起動後にファームウェアのアップグレードを実施してください。

注意：USB ストレージは FAT32 ファイル形式でフォーマットしてください。また作業を円滑にするため、「update.bin」ファイルのみ保存した状態にしてください。

FAT32 ファイル形式のフォーマット方法：

- I. 「マイコンピュータ」を開きます。
 - II. USB ストレージ（フラッシュ・メモリー）を選択、右クリックして「フォーマット」を選択します。
 - III. 「ファイル・システム」の「FAT32」を選択します。
 - IV. 「開始」ボタンをクリックしてフォーマットを実行します。
-
- (3) NVR にローカル・ディスプレイと USB ストレージを接続します。
 - (4) NVR とローカル・ディスプレイに電源を入れて NVR にログインします。
 - (5) 「設定」ページに移動し、「システムのアップグレード」を選択します。接続した USB ストレージの「状態」が「準備完了」の表示ならアップグレードを実行できます。
 - (6) システムのアップグレードが完了したら NVR は自動的に再起動します。「機器情報」メニューの「システム」から、NVR のファームウェア・バージョンを確認してください。

3.ソフトウェアを使用してのアップグレード ※ver 69 から



上記のソフトウェアをインストールすることで、複数台のレコーダーのアップグレードを同時に行うことができます。※ローカルネットワークのみ

1. アップロードするファイルを選択してください。
2. アップグレードを行いたいレコーダーを選択してください。
3. アップグレードのボタンを押してください。

※ネットワーク上の何らかの理由により、機器の IP アドレスが検出できない場合は、このソフトウェアでのアップグレードはできません。手動でアップグレードを行ってください。

5.8.6 日付と時間

「システム」のメニューから「日付と時間」を選択してください。

●セッティングアップ

手動で設定する時は年月日と時刻を選択して「適用」をクリックしてください。

※パソコンから時刻を取得しての補正も可能です。

日付と時間

手動設定	タイム・ゾーン	電源同期機能
日付の表示形式		
日付の表示形式: YYYY / MM / DD ▼		
日付と時間		
パソコンから時刻を取得する 日付: 2022-1-6 時間: 13:13:37 更新		
年: 2022 ▼		
月: 1 ▼		
日: 6 ▼		
時間: 13 ▼ 13 ▼ 10 ▼		
適用 リセット		

●タイム・ゾーン

使用している地域のタイム・ゾーンを選択します。また夏時間（サマータイム）が導入されている時は、同オプションを有効にします。

NTP サーバーと同期を取る場合は NTP サーバーの IP アドレスを設定します。

設定	タイム・ゾーン
タイムゾーン設定	
タイム・ゾーン: (GMT+09:00)Osaka, Sapporo, Tokyo ▼	
<input type="checkbox"/> 夏時間自動調整	
外部のNTPサーバーと同期	time.stdtime.gov.tw
NTPにビルトインされたNTPサーバー	192.168.0.39
適用 リセット	

NVR にビルトインされた NTP サーバー :

NVR を NTP サーバーとして利用することができます。システム内の全ての機器で時刻同期を行う場合に役立ちます。

同メニューに表示された IP アドレスを NTP サーバーのアドレスとして、同期させたい機器を設定してください。

5.8.7 言語

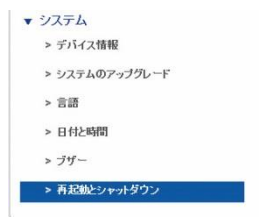
「システム」のメニューから「言語」を選択します。UI で表示する言語を選択して「適用」をクリックしてください。「AUTO」を選択すると、アクセスしている PC の情報に基づいて表示言語を自動選択します。

5.8.8 再起動とシャットダウン

「システム」のメニューから「再起動とシャットダウン」を選択してください。

「再起動」を選んで「適用」をクリックすると本体が再起動します。

「シャットダウン」を選んで「適用」をクリックするとシャットダウンします。



※電源を落とす場合は、必ず「シャットダウン」を選択するか、もしくは前面ボタンを長押し（2 秒程度押すと 1 度ピープ音が鳴ります。ピープ音が鳴った後、電源ボタンから指を離してください。シャットダウンには、しばらく時間がかかります。）し、電源を切ってください。

電源ボタン

再起動とシャットダウン

電源ボタン

電源ボタンのシャットダウン設定

パスワードによる保護設定 ☐ 有効

ヒント: パスワードによる保護設定を行うとシステムのシャットダウンを行う際ユーザー名とパスワードの入力が必要になります。

適用

リセット

また、パスワードによる保護設定を行うと、電源ボタンを押した後、パスワードの入力を行い、シャットダウンを行うことができます。

+++++

《補足 1》

=カメラ追加アップグレード=

カメラを追加アップグレードしたいレコーダーの情報を取得してください。

※型番及び、“MAC アドレス”もしくは、本体記載のシリアル番号の情報が必須です。

※カメラ追加アップグレードは PC を使用して行います。

※以前の録画データを削除する必要はありません。

機器にログイン後、「設定」→「機器情報」より、その情報の確認ができます。

機器情報

システム情報

エンコーダー情報

情報

型番	DS-1105 Pro
ファームウェアバージョン	2.1.0.64-2
MACアドレス	d0:50:99:4c:bfc:c
OSバージョン	Linux version 3.13.6
CPU	Intel(R) family
ネットワークアダプター	Gigabit Ethernet Card 10/100/1000 Mbps
位置確認	位置確認

上記の情報を元に、アップグレードキーのファイルを発行します。

アップグレードのキーファイルを受け取ったら下記アドレスを入力し、アップグレードキーの画面に移行してください。

http://レコーダーのIPアドレス/cfg_management_licensecheck.htm

Camera number upgrade

Upgrade		Upgrade log	
Camera number upgrade			
アップロードするファイル		参照...	
状態	準備完了		
情報	Maximum 5 IP Camera connections are permitted		
ヒント: System must be restarted when you finished this checking proceeding, no matter the camera number upgrade or not			
<input type="button" value="Checking"/>			

上記メニューでファイルの「参照」ボタンを押し、お送りしたキーファイルを選択した後、「Checking」ボタンを押してください。

Camera number upgrade

Upgrade		Upgrade log	
Upgrade			
License to Upload	0ba56583279e5af650000b19ebf1441c202b1b75e1e3b7b29e31941cf8cac68eb892a0		
Information	channel upgrade to 35		
<input type="button" value="Upgrade"/>			

ファイルをアップロードすると下記の画面が表示されます。

「Upgrade」ボタンを押し、カメラ追加アップグレードを開始してください。

※ファイルに不備があった場合、下記の画面が表示されます。

Checking

File to upload	<input type="text"/> 参照...		
Status	Error!!		
Information	error		

1. 「カメラ」→「カメラ設定」内のリストにチャンネルが追加されます。
 2. 念のため機器ログイン後、「設定」→「機器情報」より内容の確認をお願いします。
- ※確認後、念のためレコーダーの再起動をお願い致します。

《補足2》

■DS-21(2)05 UHD/41(2)20 UHD

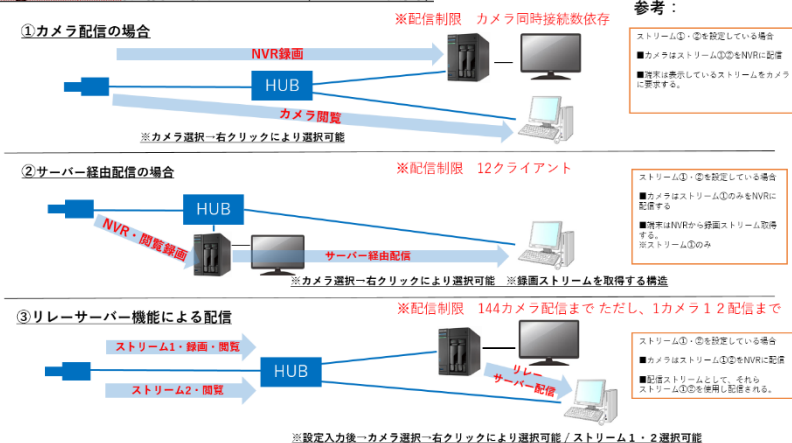
※ローカル・ディスプレイ使用時の最大コマ数

「1920*1080」の場合、最大 360 コマ 「1280*720」 の場合、最大 480 コマ
「640*480」の場合、最大 800 コマ 「320*240」の場合 最大 900 コマ

※システム負荷 約 60%

※レコーダー使用時に時折、瞬間的に 100%程度になることはありますが、上書き処理をしている間のため全体の負荷への影響はありません。

Digistorでの配信選択について(Ver.74以降)



こんな時は？

正常に動作しない場合、まずは以下の表でお確かめください。

以下の表にて内容をご確認いただき、該当する項目があればご確認をお願い致します。その他不明な点がございましたら、販売店へご確認ください。

現象	確認事項
カメラのライブ映像が表示されない	カメラの電源／HUB の電源が入っているかを確認してください。
	DIGISTOR の LAN ケーブルが抜けていないか／ネットワークポートの LED が光っているかを確認してください。
	ログインしているユーザーがカメラ映像表示可能なユーザーかを確認してください。
	レイアウトにカメラが割り当たっているかを確認してください。
	PC 使用時、DG デコードの機能が有効になっている場合は、無効にして確認してください。 ※DG デコード非対応の PC は項目がグレーアウトしています。
録画再生ができない	ログインしているユーザーが録画再生可能なユーザーかを確認してください。
	録画モード／スケジュール設定を確認し、録画設定が行われているかを確認してください。
	HDD が認識されているかを確認してください。
PTZ 操作ができない	弊社ホームページに掲載しているカメラ対応リストを確認し、操作可能なカメラかを確認してください。
	ライブ画面にて一度別のカメラを選択した後、再度該当カメラを選択し、操作できるかを確認してください。
PC から DIGISTOR へアクセスできない	DIGISTOR の電源が入っていることを確認してください。
	PC／DIGISTOR の LAN ケーブルが抜けていないか、DIGISTOR のネットワークポートの LED が光っているかを確認してください。
	接続する DIGISTOR の IP アドレス／ポート番号が正しいかを確認してください。
	PC のネットワーク設定が DIGISTOR へアクセス可能な設定になっているかを確認してください。
	PC から PING コマンドを使用し、DIGISTOR との疎通確認を行ってください。